

II 分析結果

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

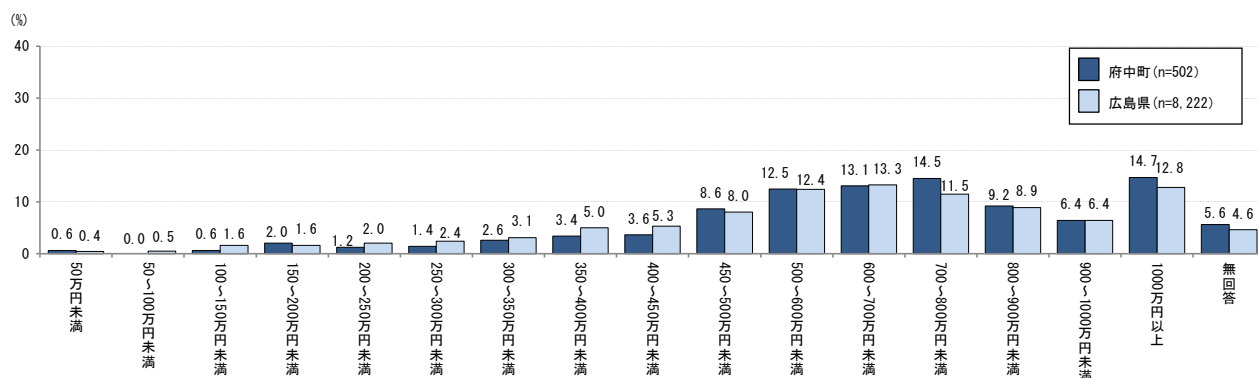
保護者票問 20. 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(SA)

※2022 年の年間収入についてお答えください。

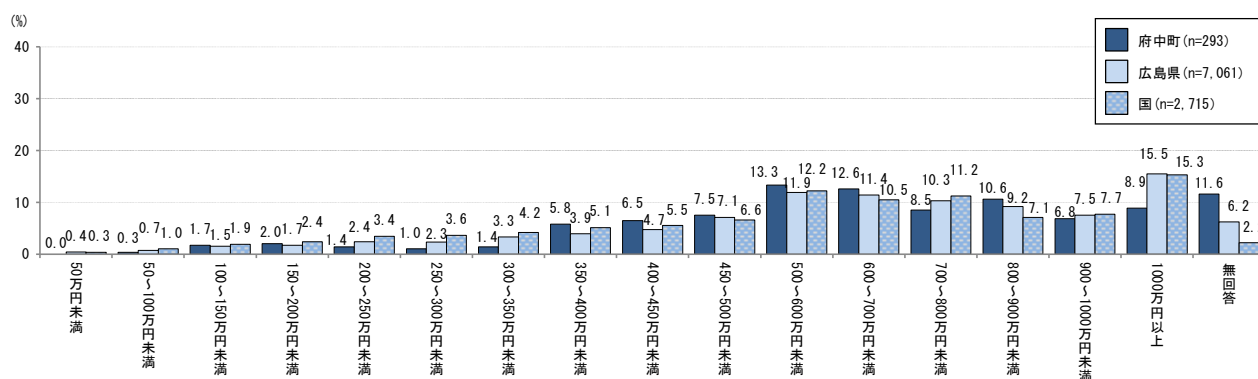
※収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。

- ・勤め先収入（定期収入、賞与等）
- ・事業収入（原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く）、内職収入（材料費等を除く）
- ・公的年金・恩給、その他の社会保障給付金（生活保護、児童手当、児童扶養手当等）
- ・農林漁業収入（農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く）
- ・資産収入（預貯金利子、家賃収入等。家・土地などの資産売却代金や生命保険・損害保険からの受取金等は除く。）
- ・その他の収入（仕送り、養育費、個人年金、各種祝い金等）

【小学5年生の保護者】



【中学2年生の保護者】



世帯全体の年間収入について、小学5年生の保護者では、「1000 万円以上」が 14.7%と最も高く、次いで、「700～800 万円未満」（14.5%）、「600～700 万円未満」（13.1%）などの順となっている。

中学2年生の保護者では、「500～600 万円未満」が 13.3%と最も高く、次いで、「600～700 万円未満」（12.6%）、「800～900 万円未満」（10.6%）などの順となっている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

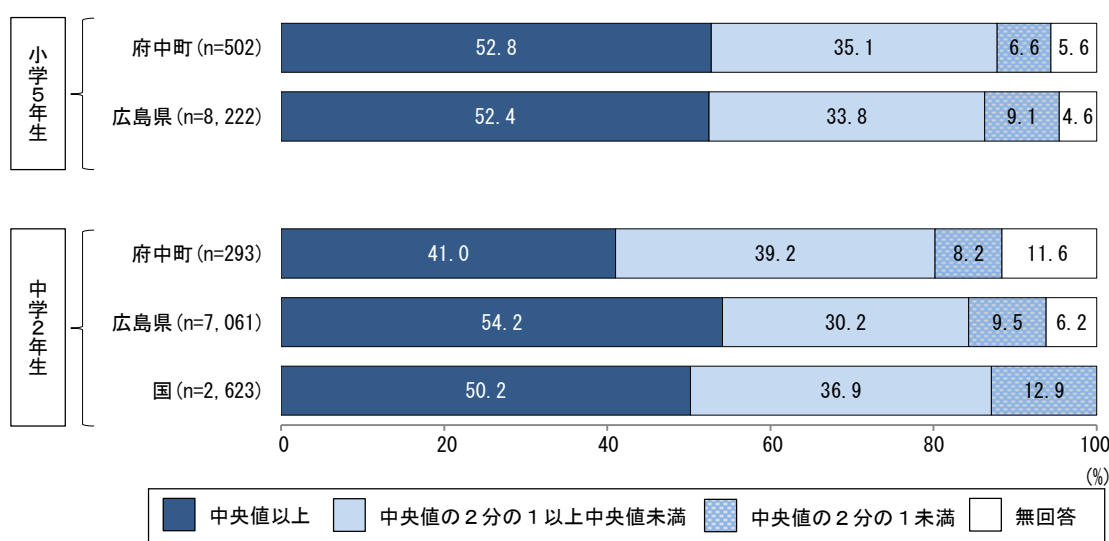
本資料においては、世帯の年間収入の水準について、「子どもと同居し、生計を同一にしている家族の人数」の情報も踏まえて下記のような処理をし、「等価世帯収入」による分類を行う。

○年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする（例えば、「50万円未満」であれば25万円、「50～100万円未満」であれば75万円とする。なお、「1,000万円以上」は1,050万円とする）。

○上記の値を、保護者票問3で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除す。

○上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、さらに、その2分の1未満であるか否かで分類する。

【全体】

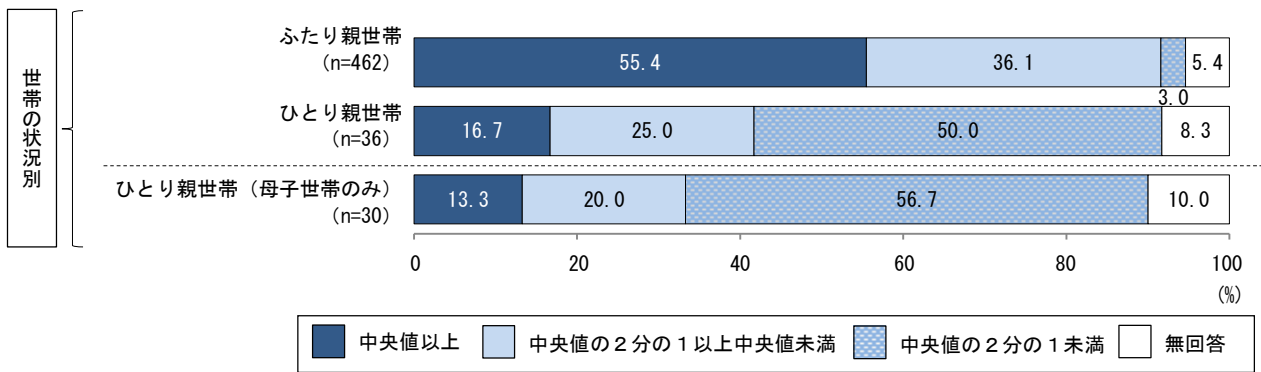


※国調査は単身赴任が含まれていない。また無回答を除いて集計している。

等価世帯収入の水準について、小学5年生の保護者では、「中央値の2分の1未満」が6.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」が35.1%、「中央値以上」が52.8%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

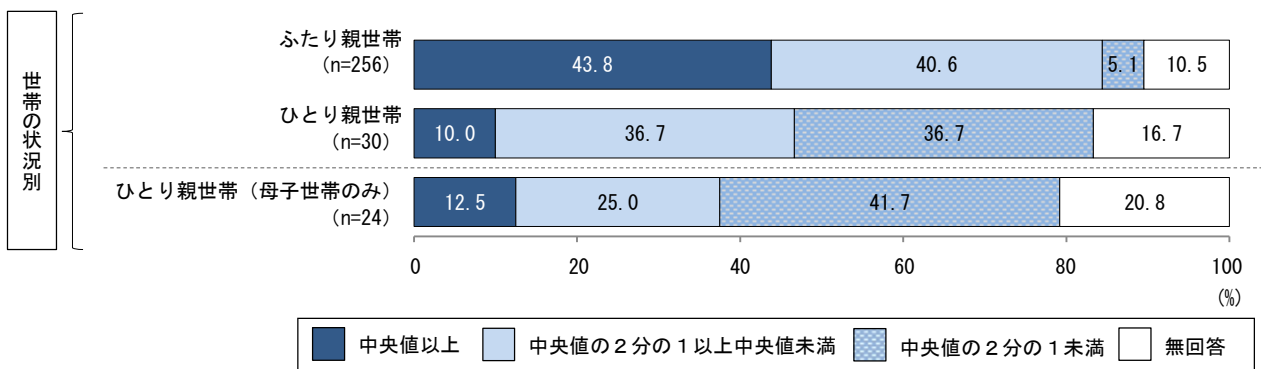
中学2年生の保護者では、「中央値の2分の1未満」が8.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」が39.2%、「中央値以上」が41.0%となっている。広島県と比較すると、「中央値の2分の1以上中央値未満」は、府中町（39.2%）が広島県（30.2%）を9.0ポイント上回っており、「中央値以上」は、府中町（41.0%）が広島県（54.2%）を13.2ポイント下回っている。国と比較すると、「中央値以上」は府中町（41.0%）が国（50.2%）を9.2ポイント下回っている。

【世帯の状況別_小学5年生の保護者】



世帯の状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、「ふたり親世帯」では3.0%、「ひとり親世帯全体」では50.0%、「母子世帯のみ」では56.7%となっている。

【世帯の状況別_中学2年生の保護者】

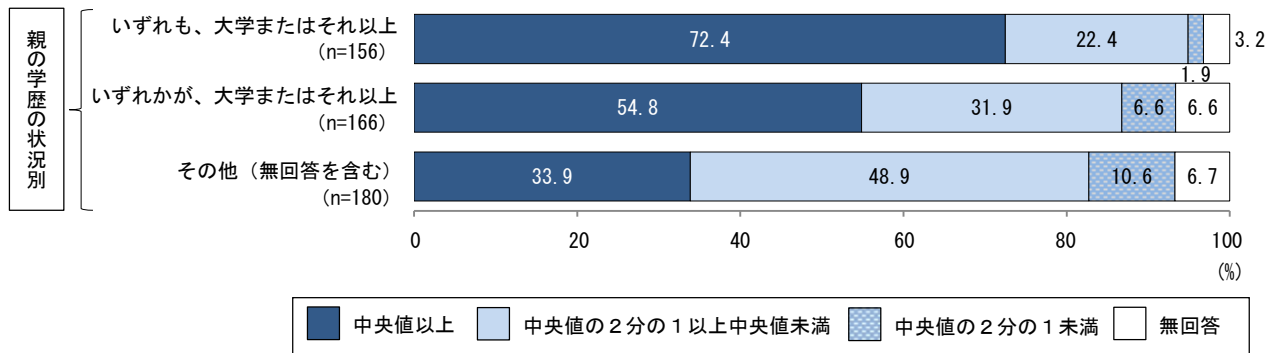


世帯の状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、「ふたり親世帯」では5.1%、「ひとり親世帯全体」では36.7%、「母子世帯のみ」では41.7%となっている。

1 保護者の生活状況

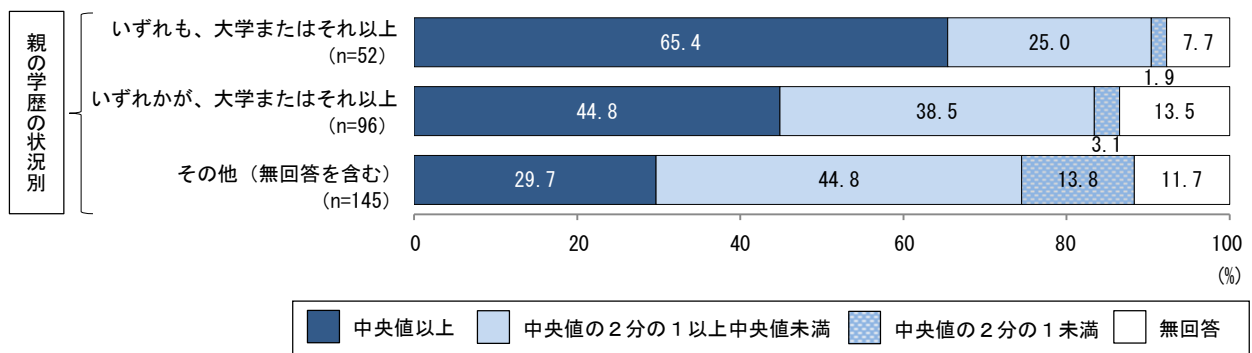
(1) 経済的な状況、暮らしの状況

【親の学歴状況別_小学5年生の保護者】



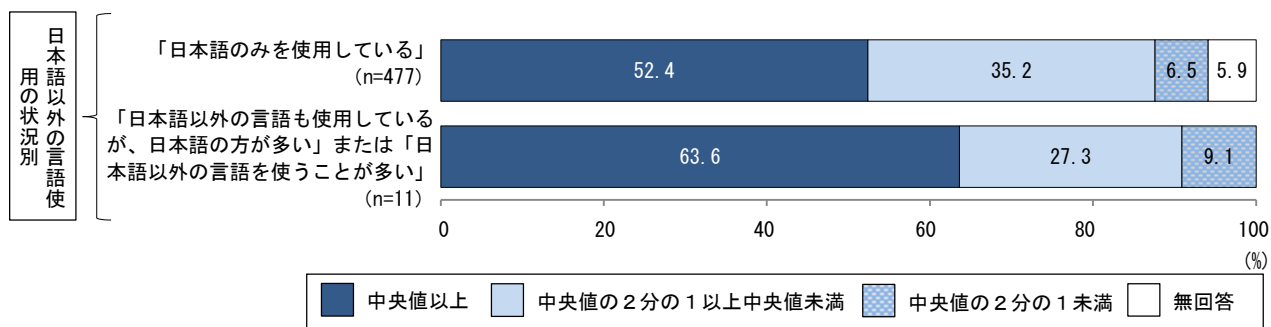
親の学歴状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、「いずれも、大学またはそれ以上」では1.9%、「いずれかが、大学またはそれ以上」では6.6%となっている。

【親の学歴状況別_中学2年生の保護者】



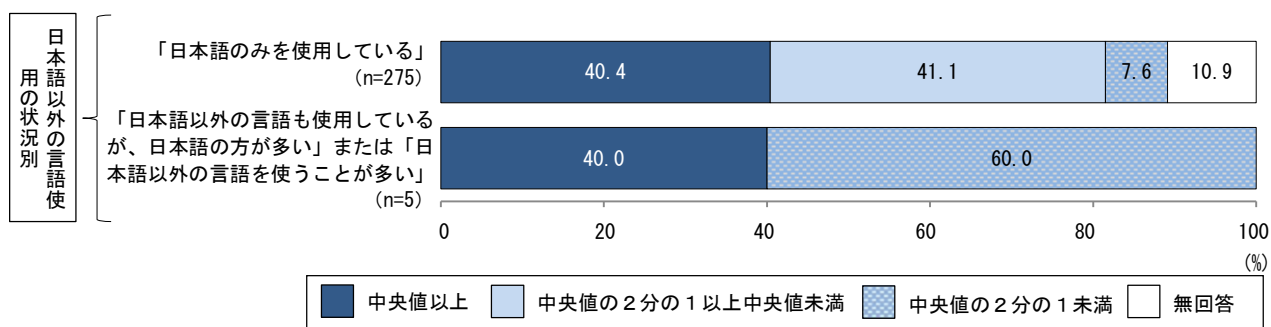
親の学歴状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、「いずれも、大学またはそれ以上」では1.9%、「いずれかが、大学またはそれ以上」では3.1%となっている。

【日本語以外の言語使用状況別_小学5年生の保護者】



日本語以外の言語使用状況別にみると、「日本語のみを使用している」では6.5%、『日本語以外も使用している』では9.1%となっている。

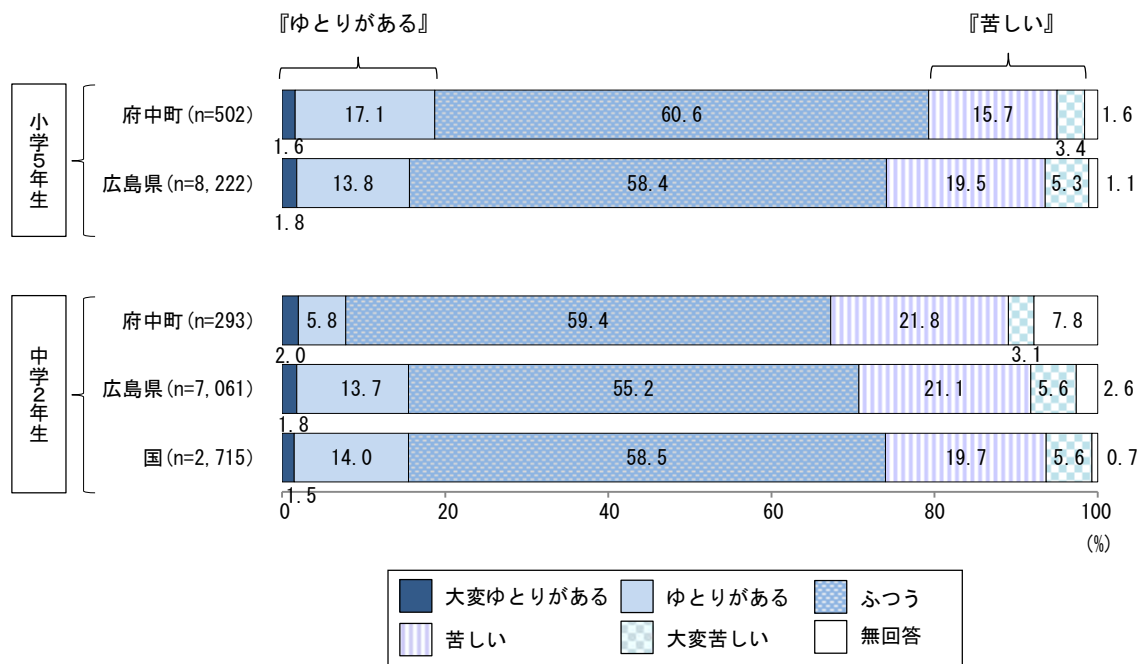
【日本語以外の言語使用状況別_中学2年生の保護者】



日本語以外の言語使用状況別にみると、「中央値の2分の1未満」は、『日本語以外も使用している』(60.0%)が「日本語のみを使用している」(7.6%)を52.4ポイント上回っている。

保護者票問 19. あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(SA)

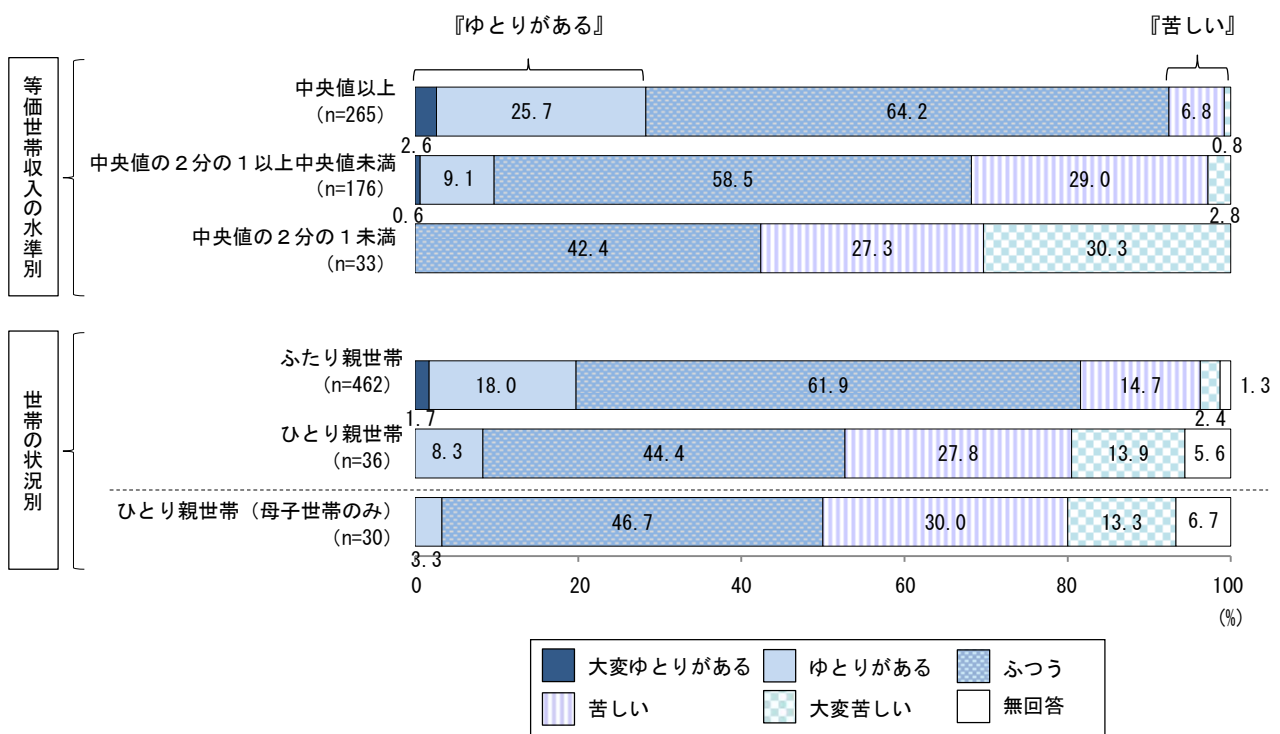
【全体】



暮らしの状況について、小学5年生の保護者では、『ゆとりがある（「大変ゆとりがある」と「ゆとりがある」を合わせた割合）』が18.7%、「ふつう」が60.6%、『苦しい（「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合）』が19.1%となっている。広島県と比較すると、『苦しい』は府中町（19.1%）が広島県（24.8%）を5.7ポイント下回っている。

中学2年生の保護者では、『ゆとりがある』が7.8%、「ふつう」が59.4%、『苦しい』が24.9%となっている。広島県と比較すると、『ゆとりがある』は府中町（7.8%）が広島県（15.5%）を7.7ポイント下回っている。国と比較すると、『ゆとりがある』は府中町（7.8%）が国（15.5%）を7.7ポイント下回っている。

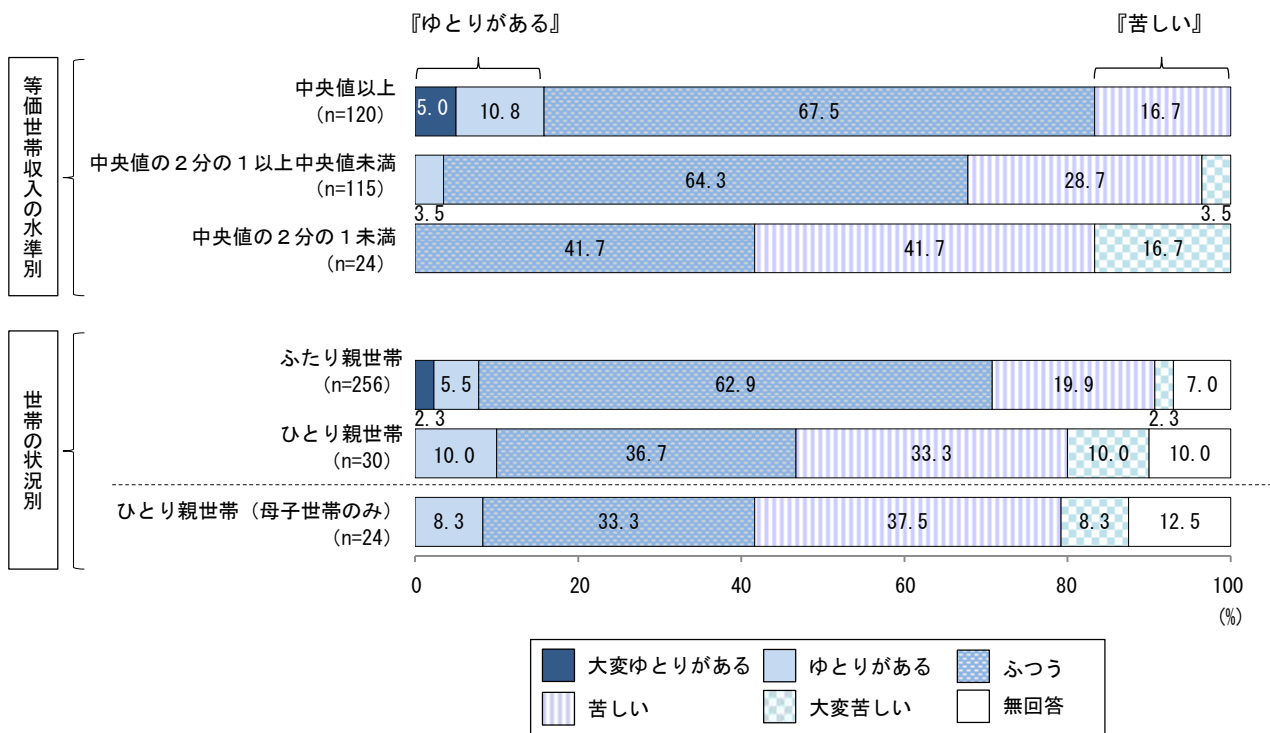
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『苦しい』は、「中央値以上」では7.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では31.8%、「中央値の2分の1未満」では57.6%となっている。

世帯の状況別にみると、『苦しい』は、「ふたり親世帯」では17.1%、「ひとり親世帯全体」では41.7%、「母子世帯のみ」では43.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

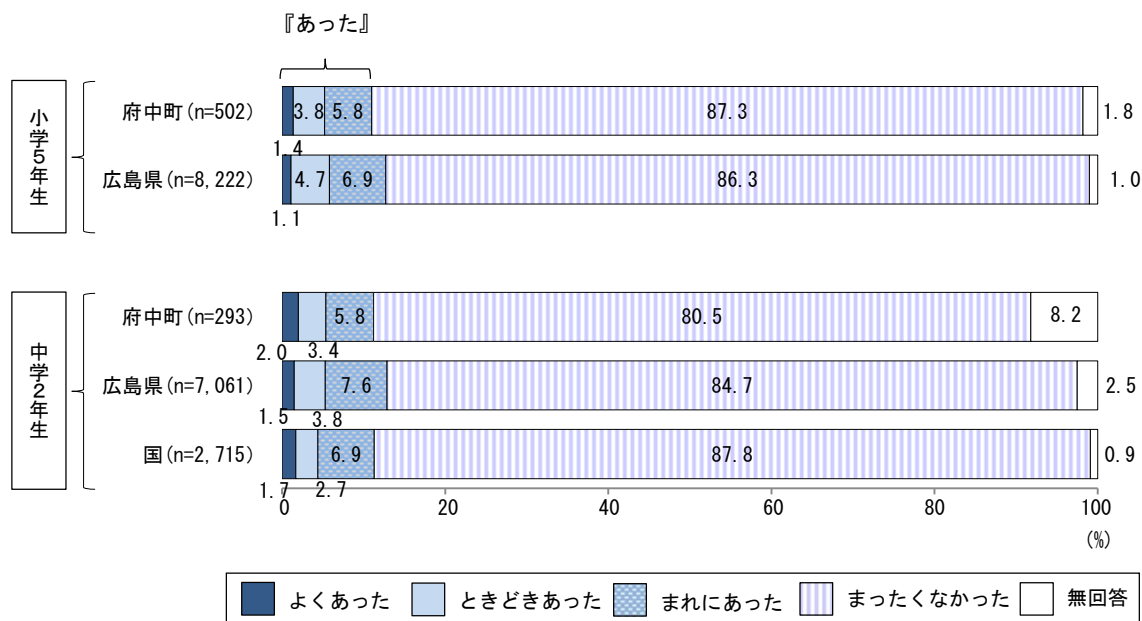


等価世帯収入の水準別にみると、『苦しい』は、「中央値以上」では16.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では32.2%、「中央値の2分の1未満」では58.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『苦しい』は、「ふたり親世帯」では22.2%、「ひとり親世帯全体」では43.3%、「母子世帯のみ」では45.8%となっている。

保護者票問 21. あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(SA)

【全体】



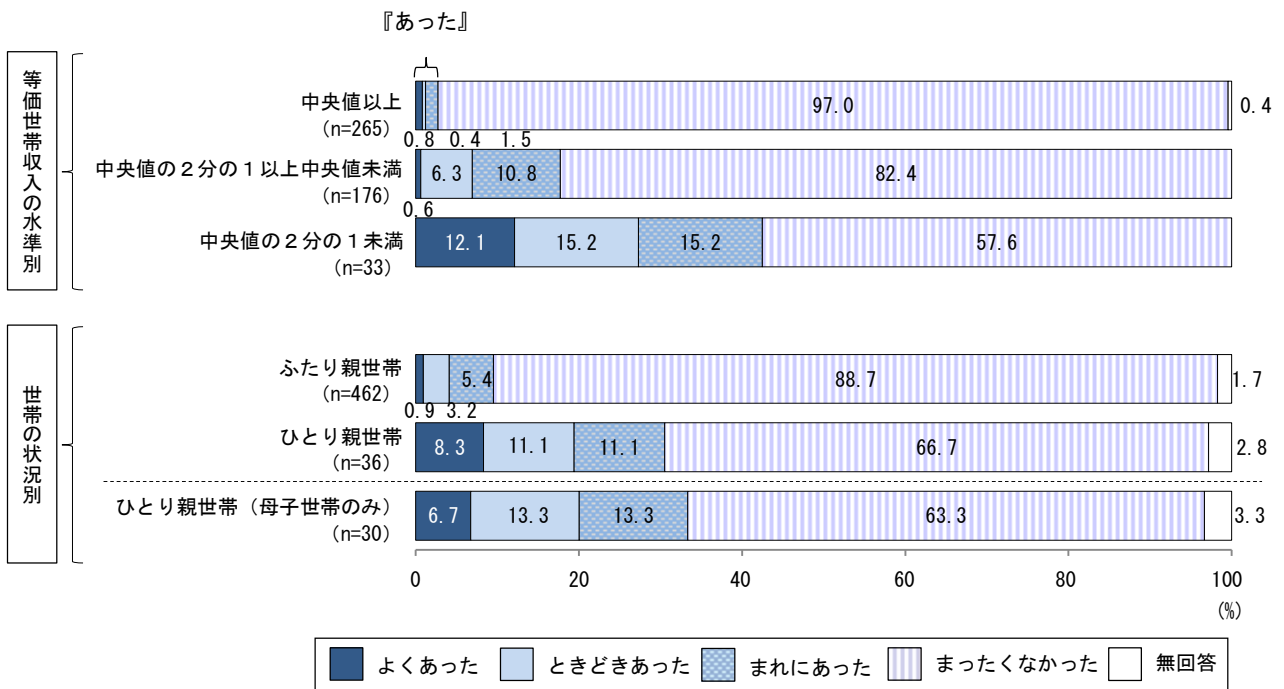
食料が買えなかった経験について、小学5年生の保護者では、『あった（「よくあった」と「ときどきあった」と「まれにあった」を合わせた割合）』が 11.0%、「まったくなかった」が 87.3%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、『あった』が 11.2%、「まったくなかった」が 80.5%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「まったくなかった」は、府中町(80.5%)が国(87.8%)を 7.3 ポイント下回っている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

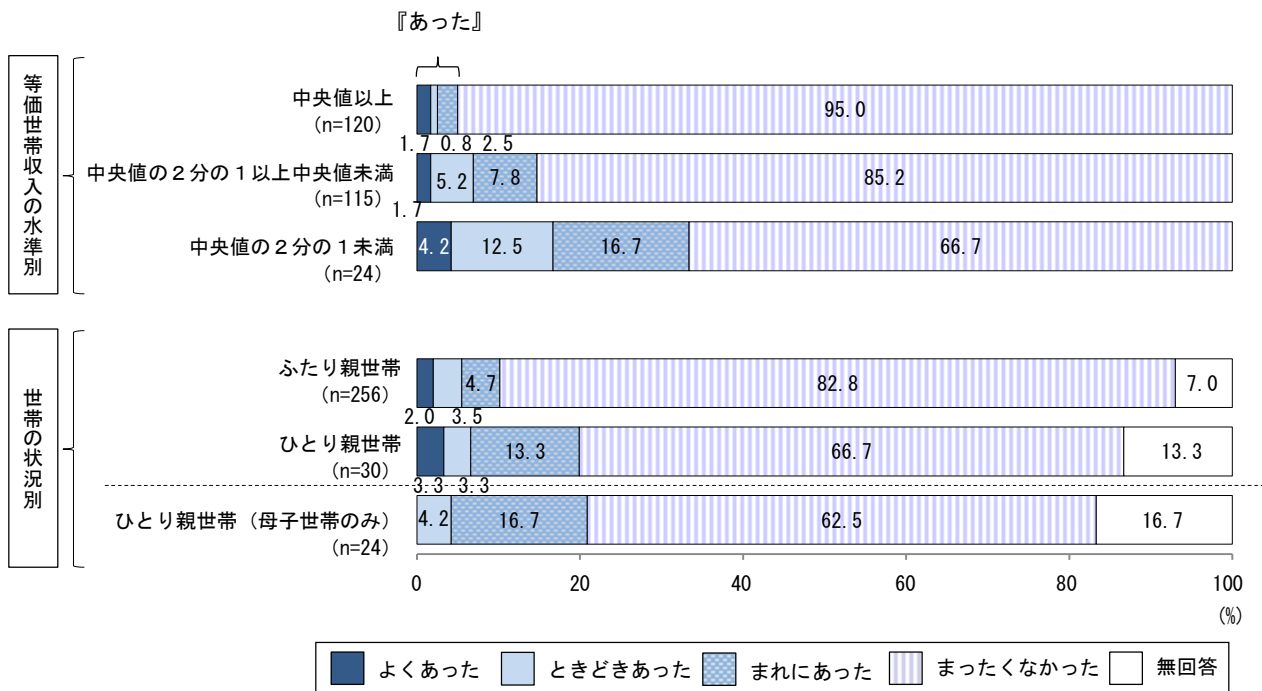
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では2.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では17.7%、「中央値の2分の1未満」では42.5%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では9.5%、「ひとり親世帯全体」では30.5%、「母子世帯のみ」では33.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

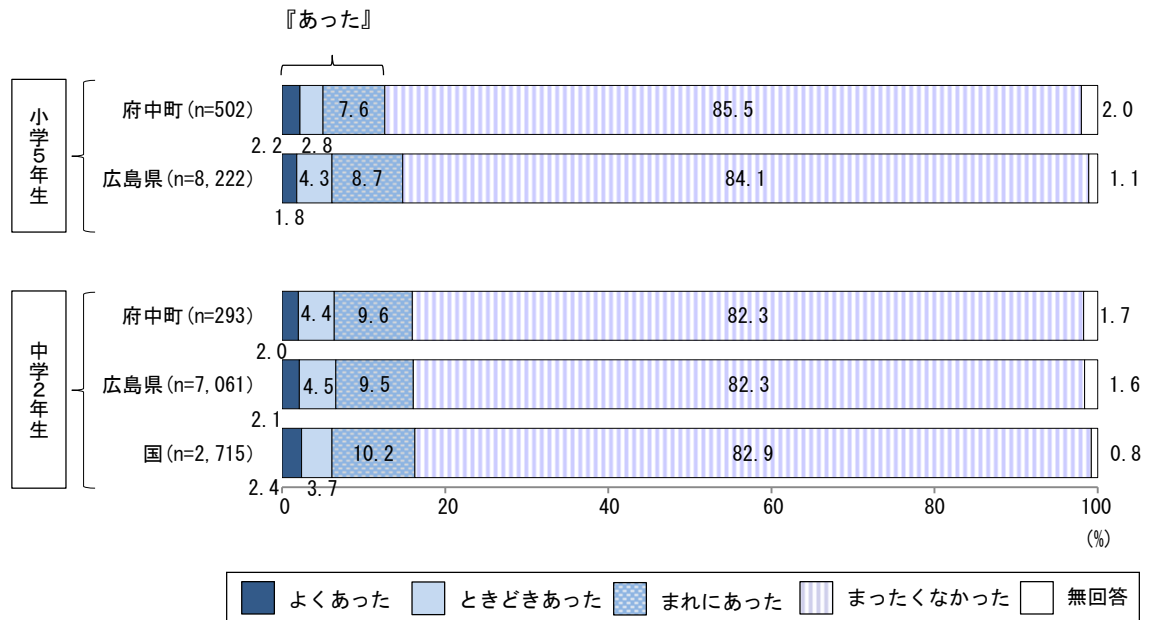


等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では5.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では14.7%、「中央値の2分の1未満」では33.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では10.2%、「ひとり親世帯全体」では19.9%、「母子世帯のみ」では20.9%となっている。

保護者票問 22. あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。
(SA)

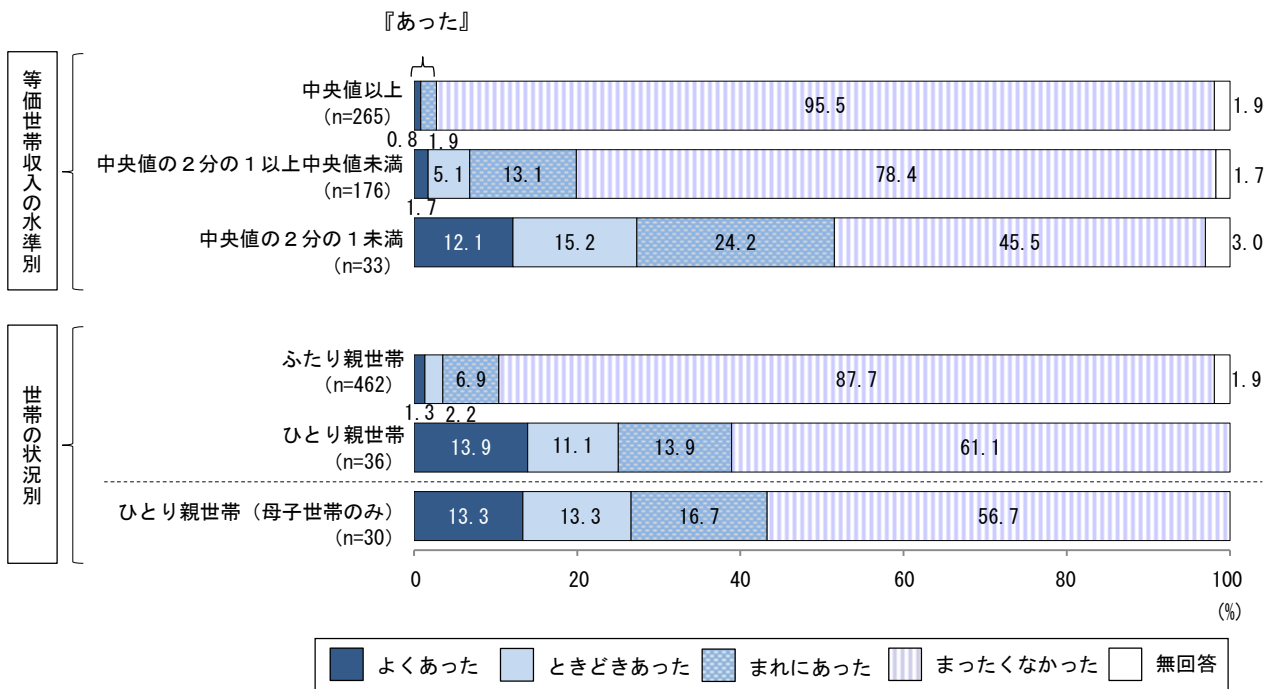
【全体】



衣服が買えなかった経験について、小学5年生の保護者では、『あった（「よくあった」と「ときどきあった」と「まれにあった」を合わせた割合）』が 12.6%、「まったくなかった」が 85.5%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、『あった』が 16.0%、「まったくなかった」が 82.3%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



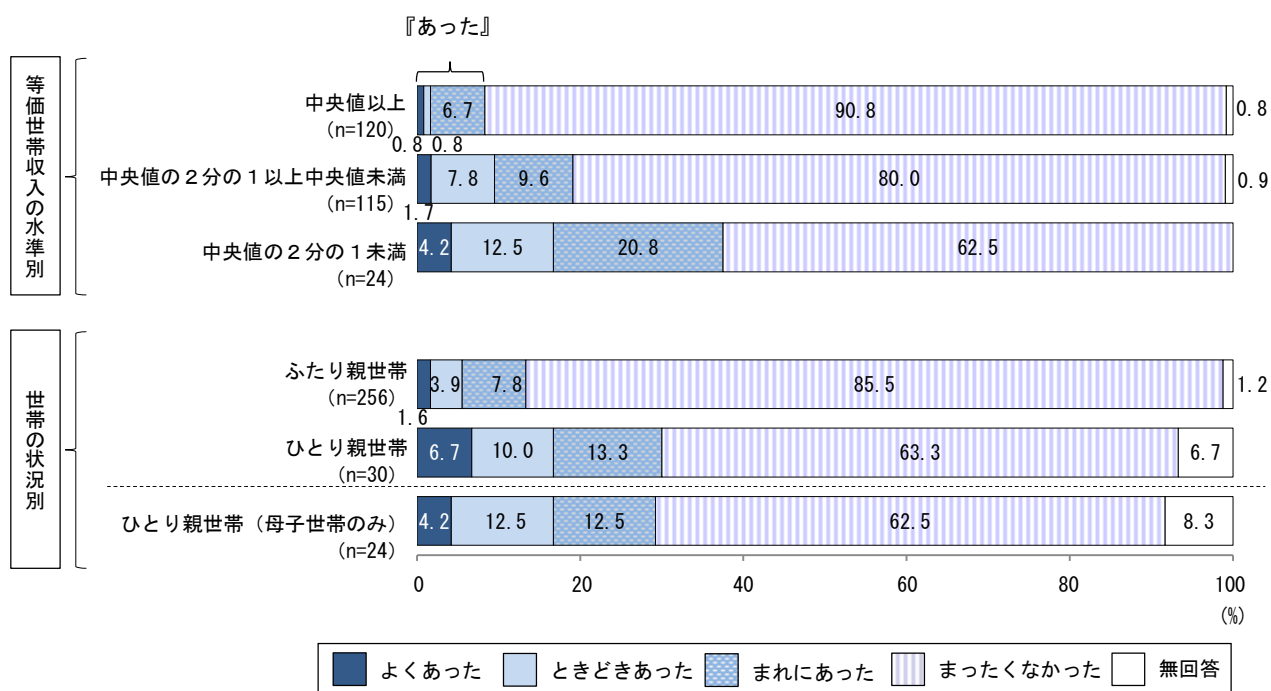
等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では2.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では19.9%、「中央値の2分の1未満」では51.5%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では10.4%、「ひとり親世帯全体」では38.9%、「母子世帯のみ」では43.3%となっている。

1 保護者の生活状況

(1) 経済的な状況、暮らしの状況

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

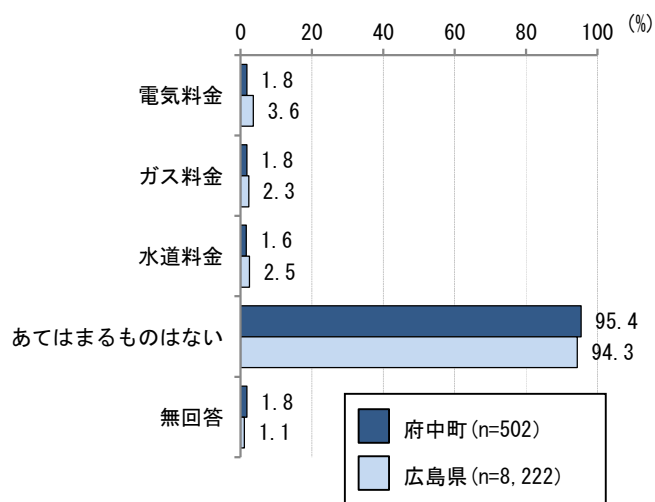


等価世帯収入の水準別にみると、『あった』は、「中央値以上」では8.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では19.1%、「中央値の2分の1未満」では37.5%となっている。

世帯の状況別にみると、『あった』は、「ふたり親世帯」では13.3%、「ひとり親世帯全体」では30.0%、「母子世帯のみ」では29.2%となっている。

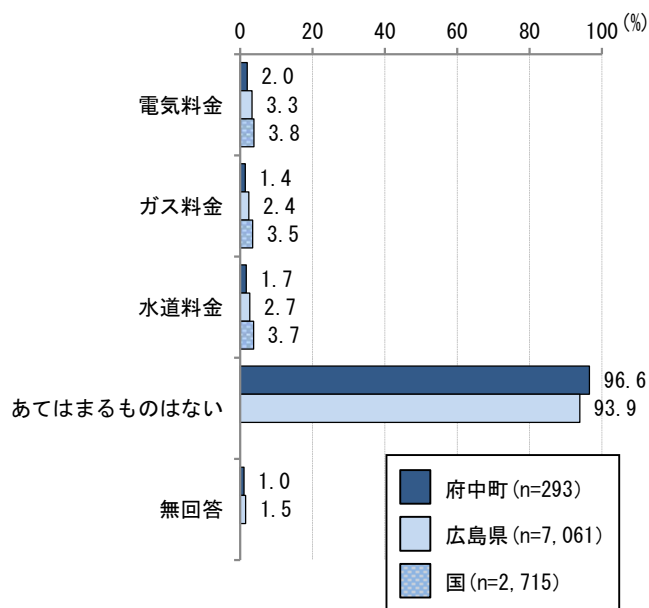
保護者票問 23. あなたの世帯では、過去 1 年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありますか。(MA)

【小学 5 年生の保護者】



公共料金における未払いの経験について、小学 5 年生の保護者では、「電気料金」が 1.8%、「ガス料金」が 1.8%、「水道料金」が 1.6%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【中学 2 年生の保護者】

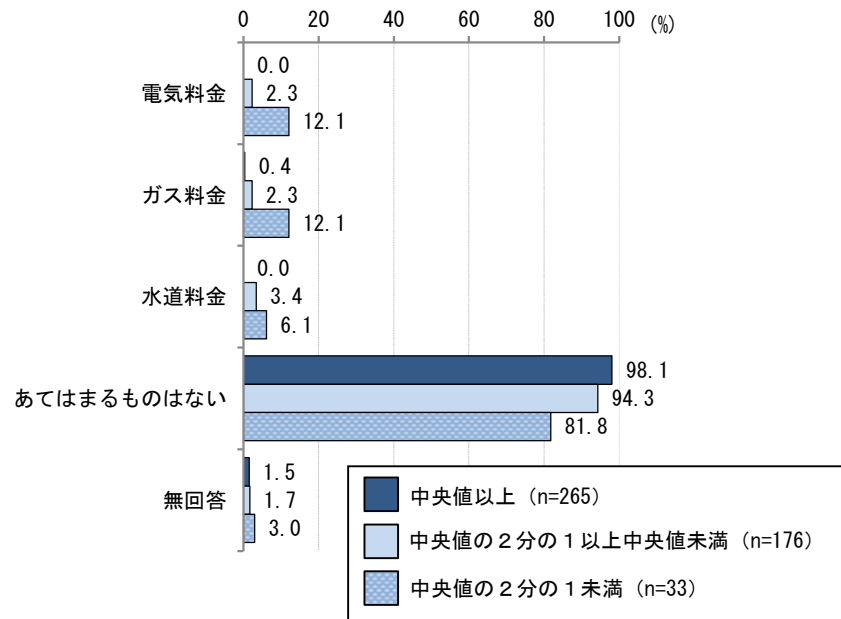


中学 2 年生の保護者では、「電気料金」が 2.0%、「ガス料金」が 1.4%、「水道料金」が 1.7%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

1 保護者の生活状況

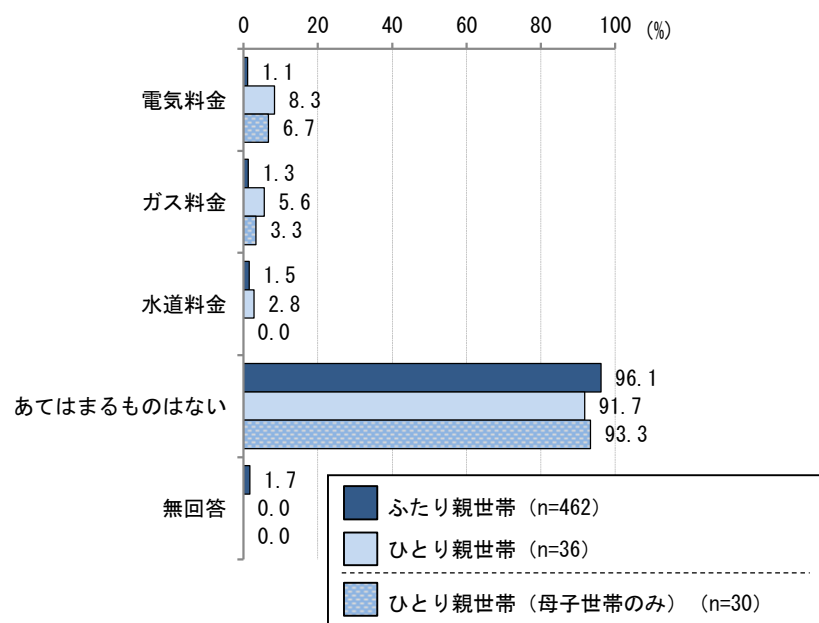
(1) 経済的な状況、暮らしの状況

【等価世帯収入の水準別_小学5年生の保護者】



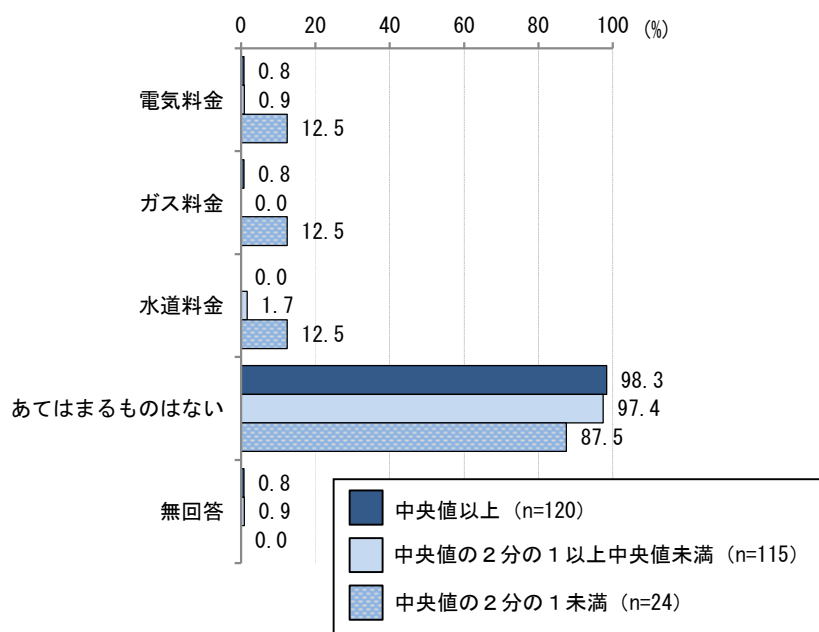
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「電気料金」は12.1%、「ガス料金」は12.1%、「水道料金」は6.1%が「あった」（該当）となっている。

【世帯の状況別_小学5年生の保護者】



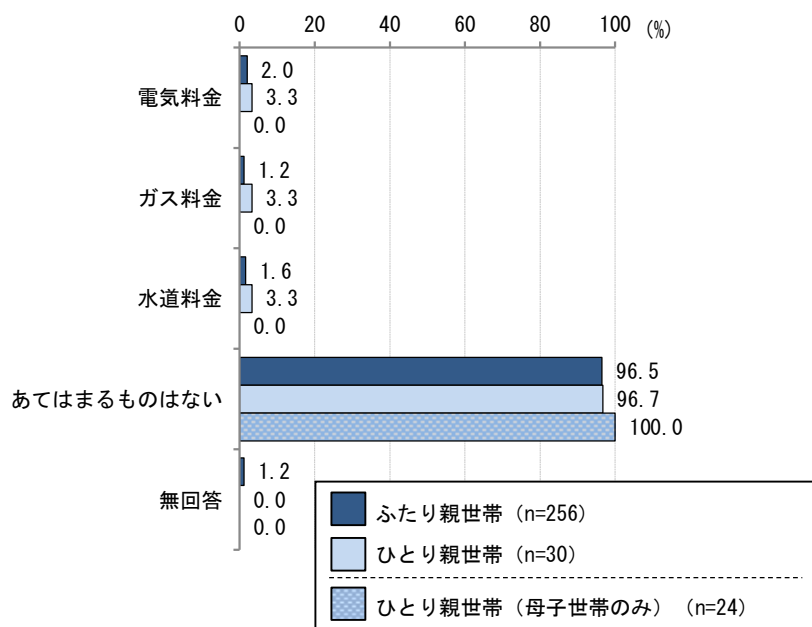
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」では、「電気料金」は8.3%、「ガス料金」は5.6%、「水道料金」は2.8%が「あった」（該当）となっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「電気料金」は12.5%、「ガス料金」は12.5%、「水道料金」は12.5%が「あった」(該当)となっている。

【世帯の状況別_中学2年生の保護者】

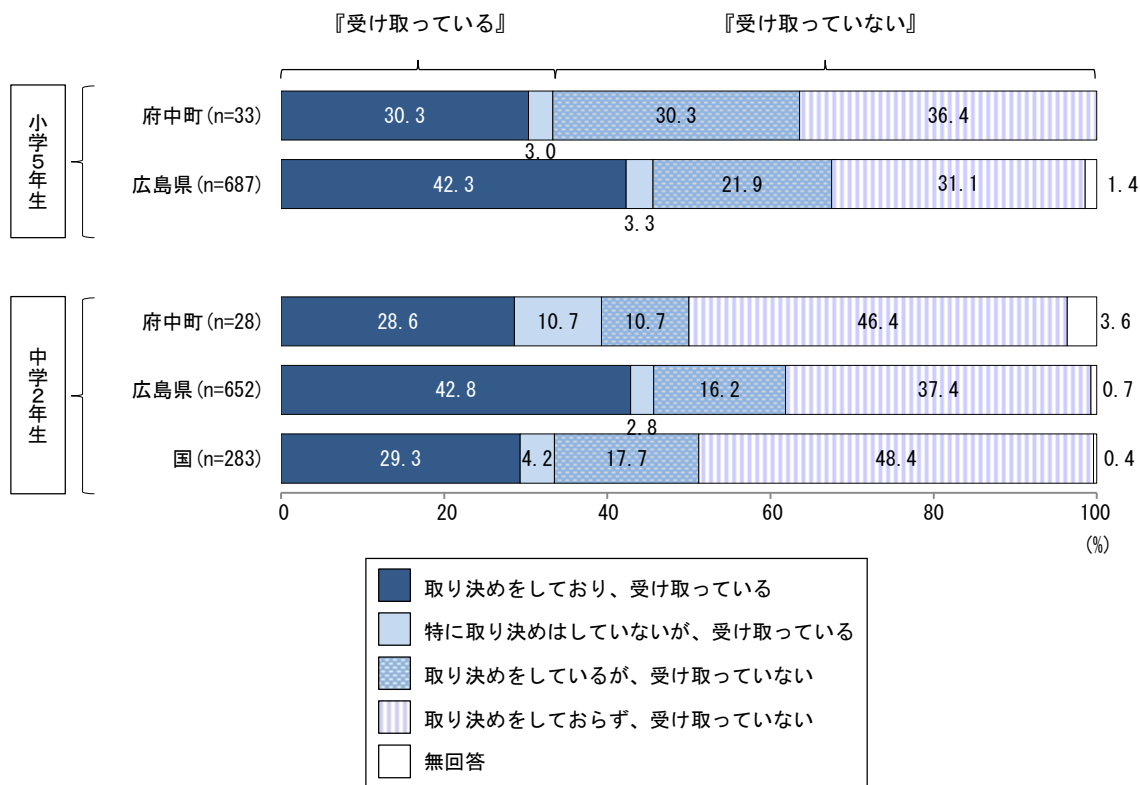


世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯全体」では、「電気料金」は3.3%、「ガス料金」は3.3%、「水道料金」は3.3%が「あった」(該当)となっている。

※問6で「2 離婚」を選んだ方に

保護者票問7. 離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(SA)

【全体】



養育費の取り決めについて、小学5年生の保護者「離婚」該当者では、『受け取っている（「取り決めをしており、養育費を受け取っている」と「特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている」を合わせた割合）』が33.3%、『受け取っていない（「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」と「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」を合わせた割合）』が66.7%となっている。広島県と比較すると、『受け取っていない』は、府中町（66.7%）が広島県（53.0%）を13.7ポイント上回っている。

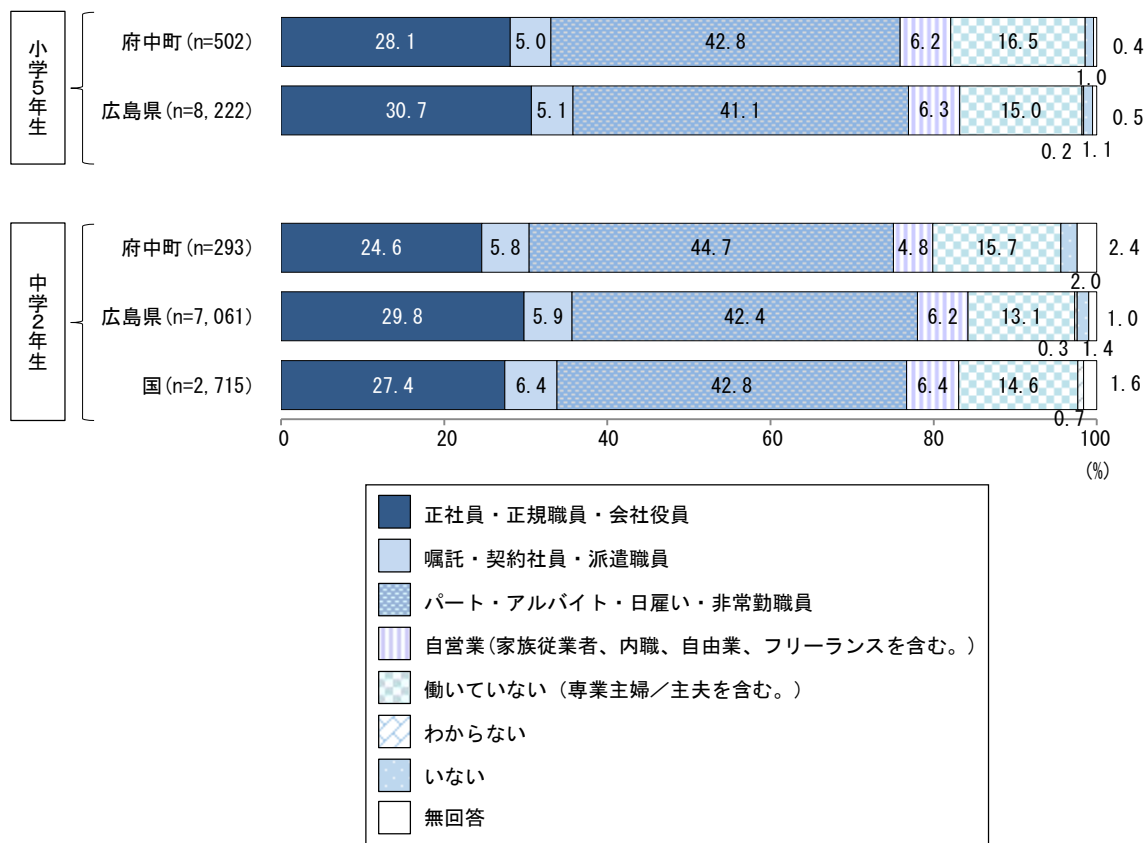
中学2年生の保護者「離婚」該当者では、『受け取っている』が39.3%、『受け取っていない』が57.1%となっている。広島県と比較すると、『受け取っている』は、府中町（39.3%）が広島県（45.6%）を6.3ポイント下回っている。国と比較すると、『受け取っていない』は、府中町（57.1%）が国（66.1%）を9.0ポイント下回っている。

(2) 就労の状況

保護者票問 10. お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。(SA)

＝ 母親の就労状況 ＝

【全体】

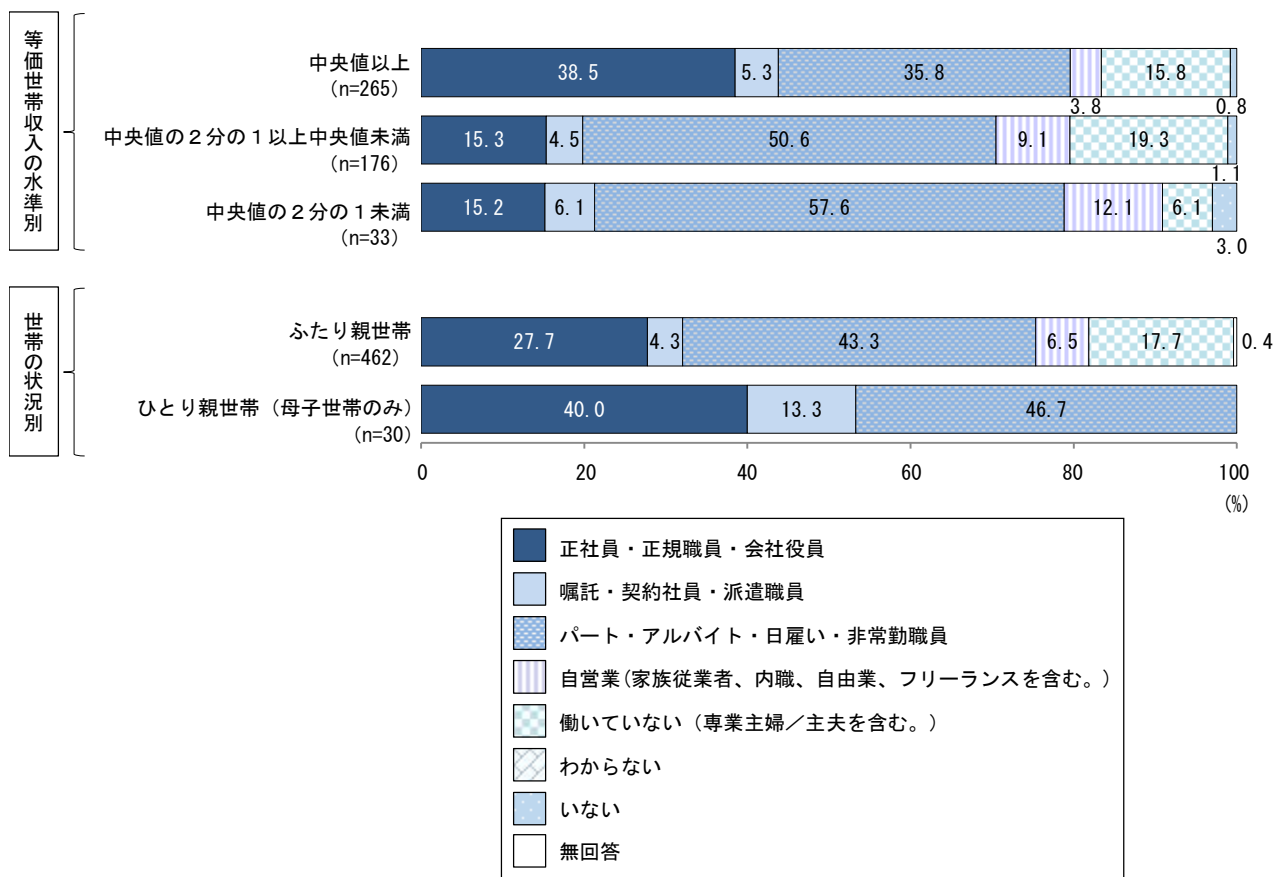


※国調査では「いない、わからない」という選択肢になっている

母親の就労状況について、小学5年生の保護者では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が42.8%と最も高く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が28.1%、「働いていない（専業主婦／主夫を含む。）」が16.5%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が44.7%と最も高く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が24.6%、「働いていない（専業主婦／主夫を含む。）」が15.7%などの順となっている。広島県と比較すると、「正社員・正規職員・会社役員」は、府中町（24.6%）が広島県（29.8%）を5.2ポイント下回っている。国と比較すると、大きな差はみられない。

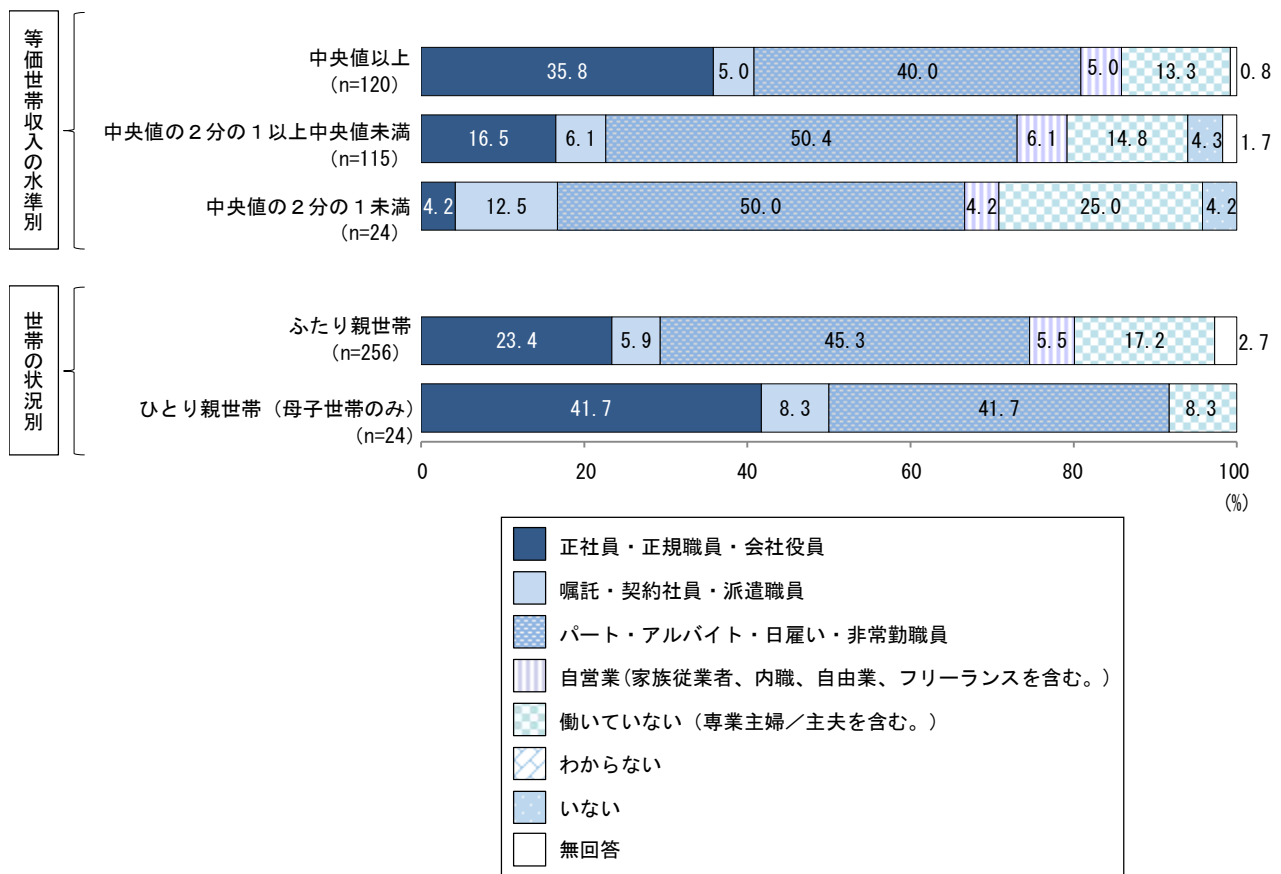
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が57.6%となっている。また、「正社員・正規職員・会社役員」は、等価世帯収入の水準が下がるにつれて、低くなる傾向がみられる。

世帯の状況別にみると、「ふたり親世帯」では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が43.3%と最も高くなっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

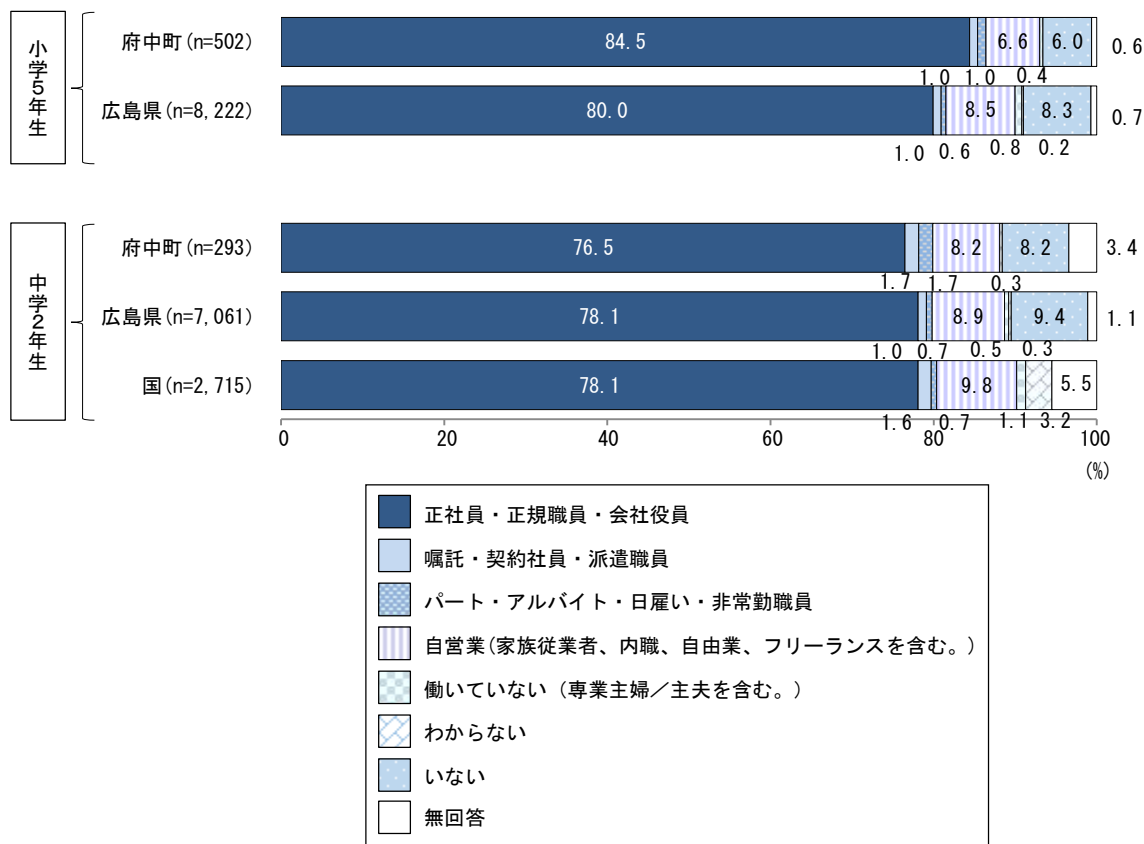


等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が50.0%となっている。また、「正社員・正規職員・会社役員」は、等価世帯収入の水準が下がるにつれて、低くなる傾向がみられる。

世帯の状況別にみると、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」は、「ふたり親世帯」では45.3%、「ひとり親世帯」では41.7%となっている。

= 父親の就労状況 =

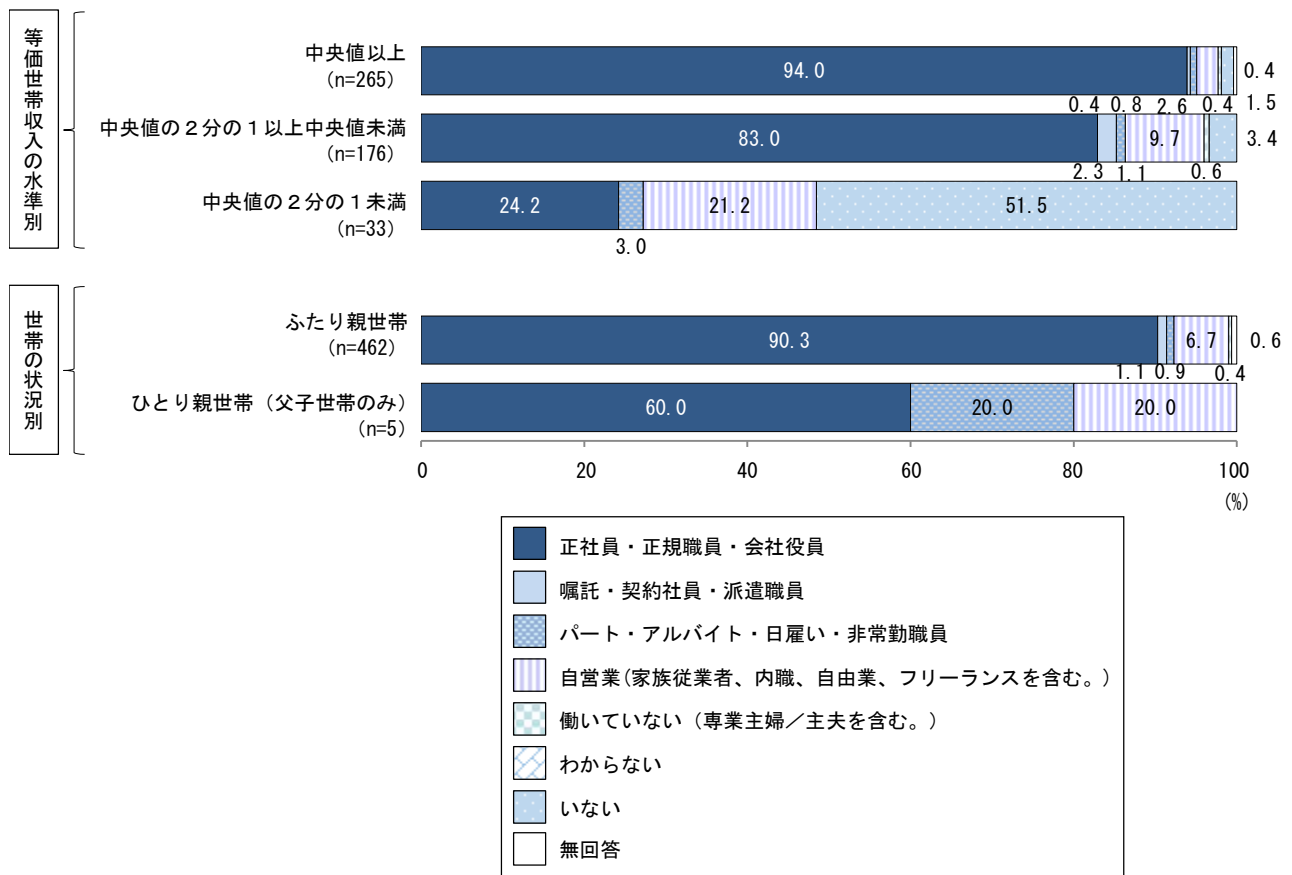
【全体】



父親の就労状況について、小学5年生の保護者では、「正社員・正規職員・会社役員」が84.5%と最も高く、次いで「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」が6.6%、「いない」が6.0%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「正社員・正規職員・会社役員」が76.5%と最も高く、次いで「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」と「いない」がともに8.2%などの順となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

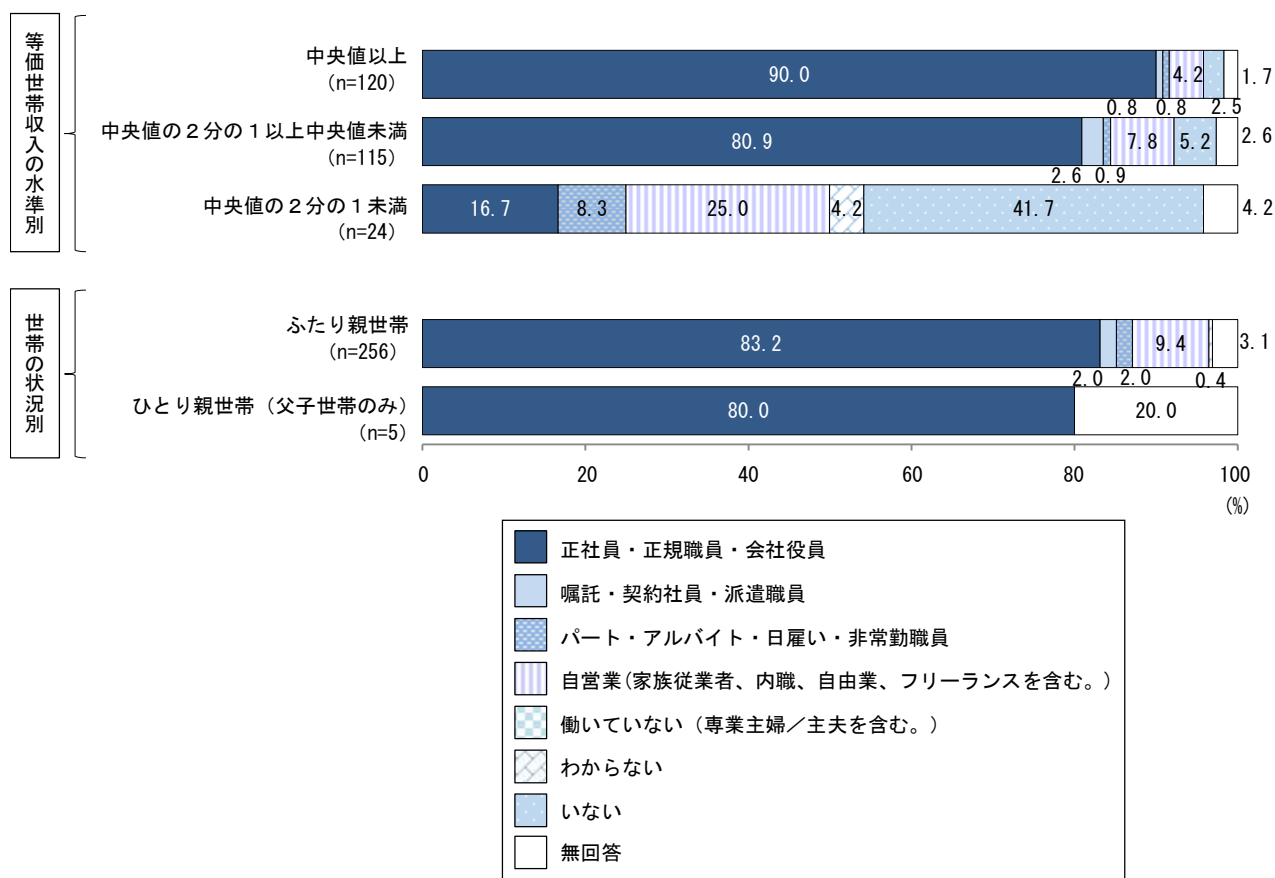
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「正社員・正規職員・会社役員」が24.2%と他の世帯に比べて低くなっている。

世帯の状況別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」は、「ふたり親世帯」では90.3%、「ひとり親世帯」では60.0%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「正社員・正規職員・会社役員」が16.7%と他の世帯に比べて低くなっている。

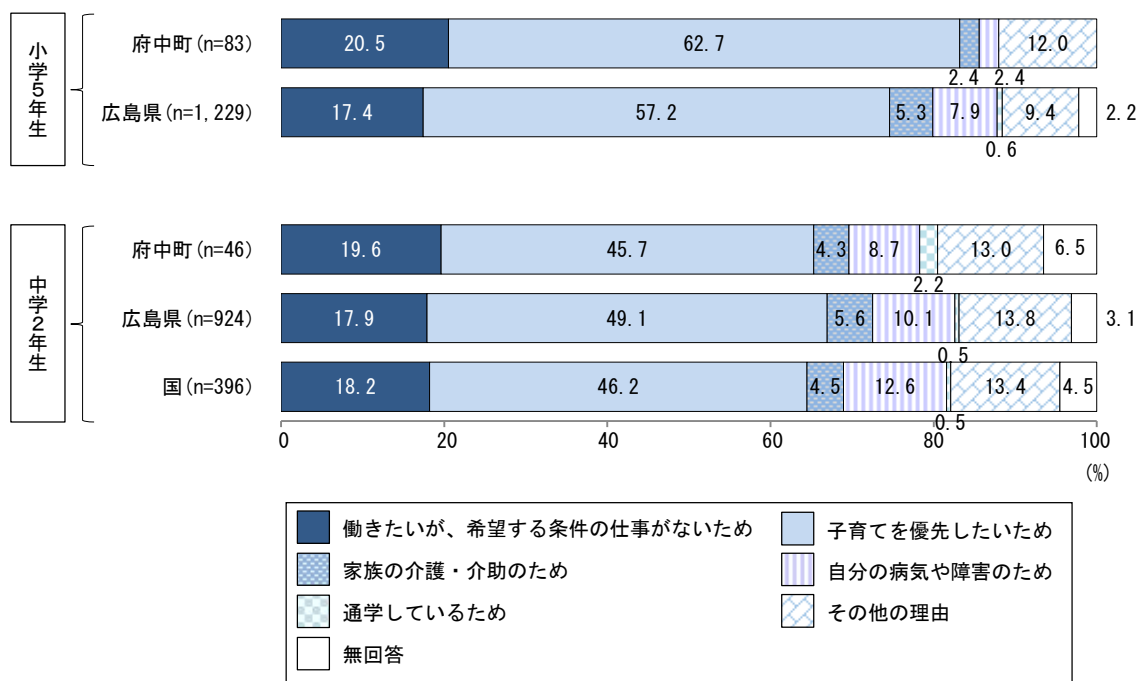
世帯の状況別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」は、「ふたり親世帯」では83.2%、「ひとり親世帯」では80.0%となっている。

※問 10 で「5 働いていない」と答えた方に

保護者票問 11. 働いていない最も主な理由を教えてください。(SA)

＝ 母親が働いていない理由 ＝

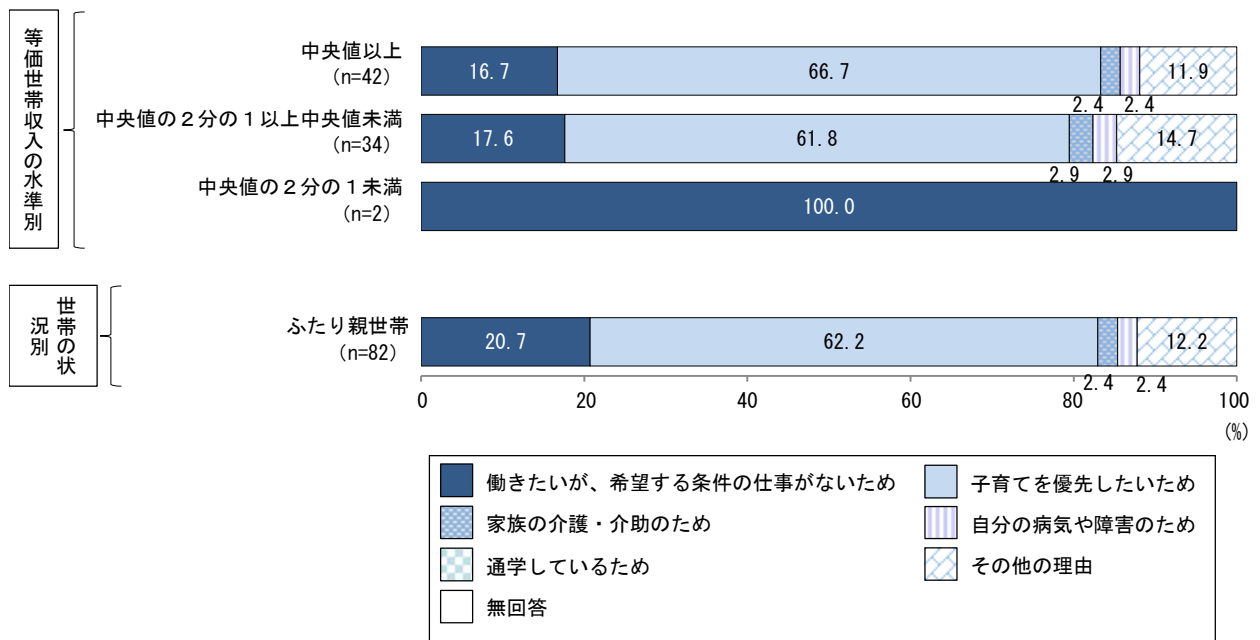
【全体】



母親が働いていない理由について、小学5年生の保護者では、「子育てを優先したいため」が62.7%と最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が20.5%、「その他の理由」が12.0%などの順となっている。広島県と比較すると、「子育てを優先したいため」は、府中町（62.7%）が広島県（57.2%）を5.5ポイント上回っており、「自分の病気や障害のため」は、府中町（2.4%）が広島県（7.9%）を5.5ポイント下回っている。

中学2年生の保護者では、「子育てを優先したいため」が45.7%と最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が19.6%、「その他の理由」が13.0%などの順となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

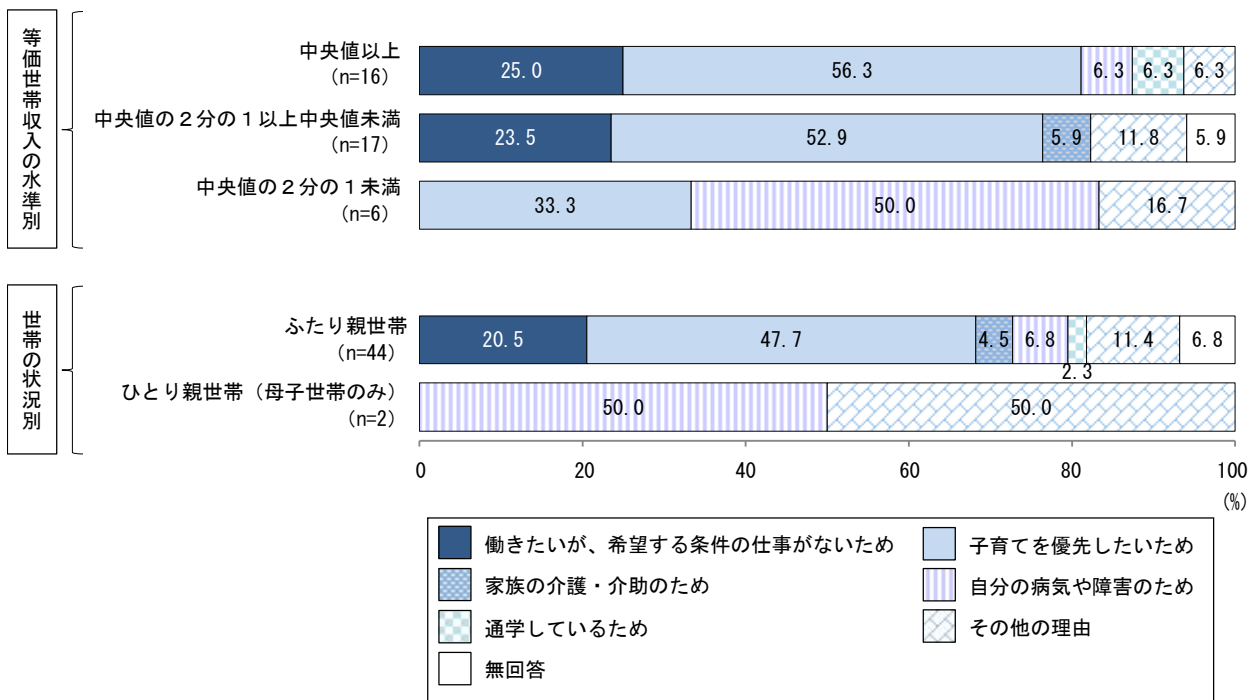
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「子育てを優先したいため」は、「中央値以上」では66.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では61.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「子育てを優先したいため」は、「ふたり親世帯」では62.2%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

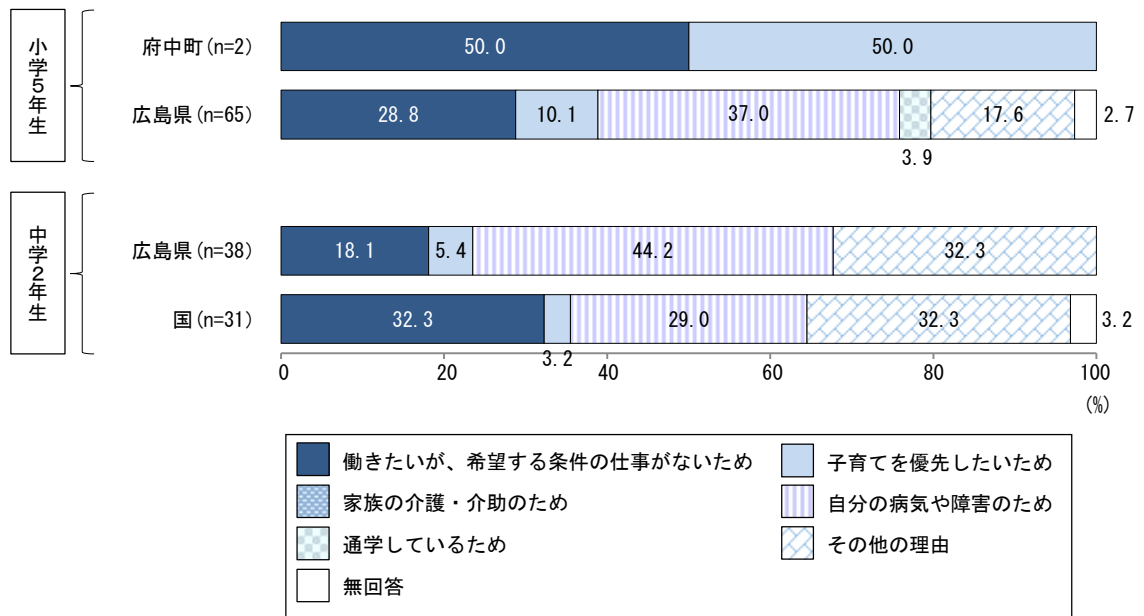


等価世帯収入の水準別にみると、「子育てを優先したいため」は、「中央値以上」では56.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では52.9%、「中央値の2分の1未満」では33.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「子育てを優先したいため」は、「ふたり親世帯」では47.7%となっている。

= 父親が働いていない理由 =

【全体】



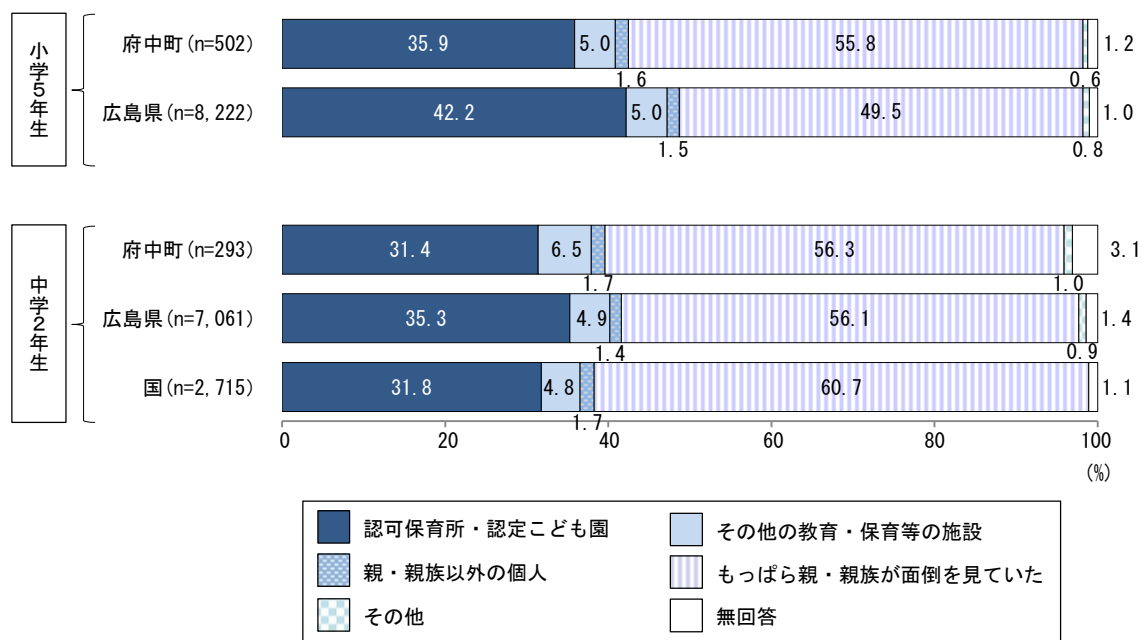
※府中町の中学校世帯では該当者なし

父親が働いていない理由について、小学5年生の保護者では、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」、「子育てを優先したいため」がともに50.0%となっている。

(3) 保育の状況

保護者票問 12. お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（SA）

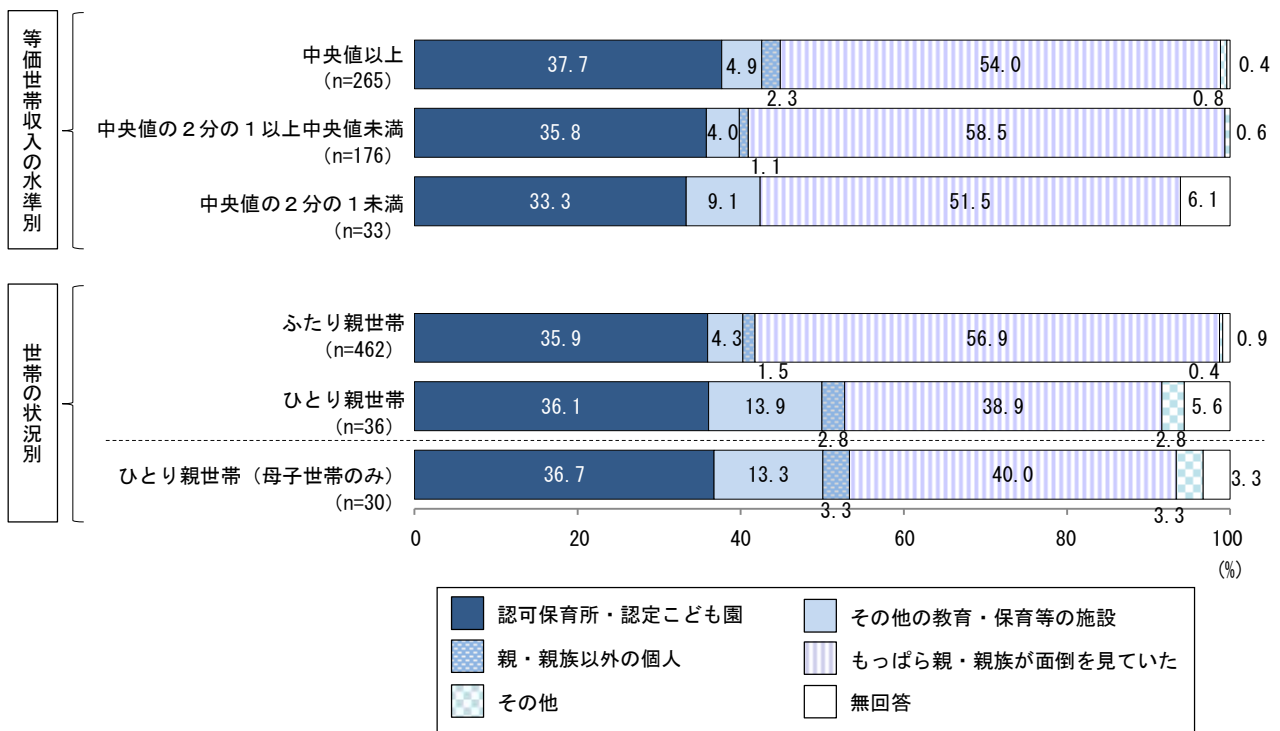
【全体】



子どもが0～2歳の時に通っていた教育・保育施設等について、小学5年生の保護者では、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が55.8%と最も高く、次いで「認可保育所・認定こども園」が35.9%などの順となっている。広島県と比較すると、「認可保育所・認定こども園」は、府中町（35.9%）が広島県（42.2%）を6.3ポイント下回っており、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」は、府中町（55.8%）が広島県（49.5%）を6.3ポイント上回っている。

中学2年生の保護者では、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が56.3%と最も高く、次いで「認可保育所・認定こども園」が31.4%などの順となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

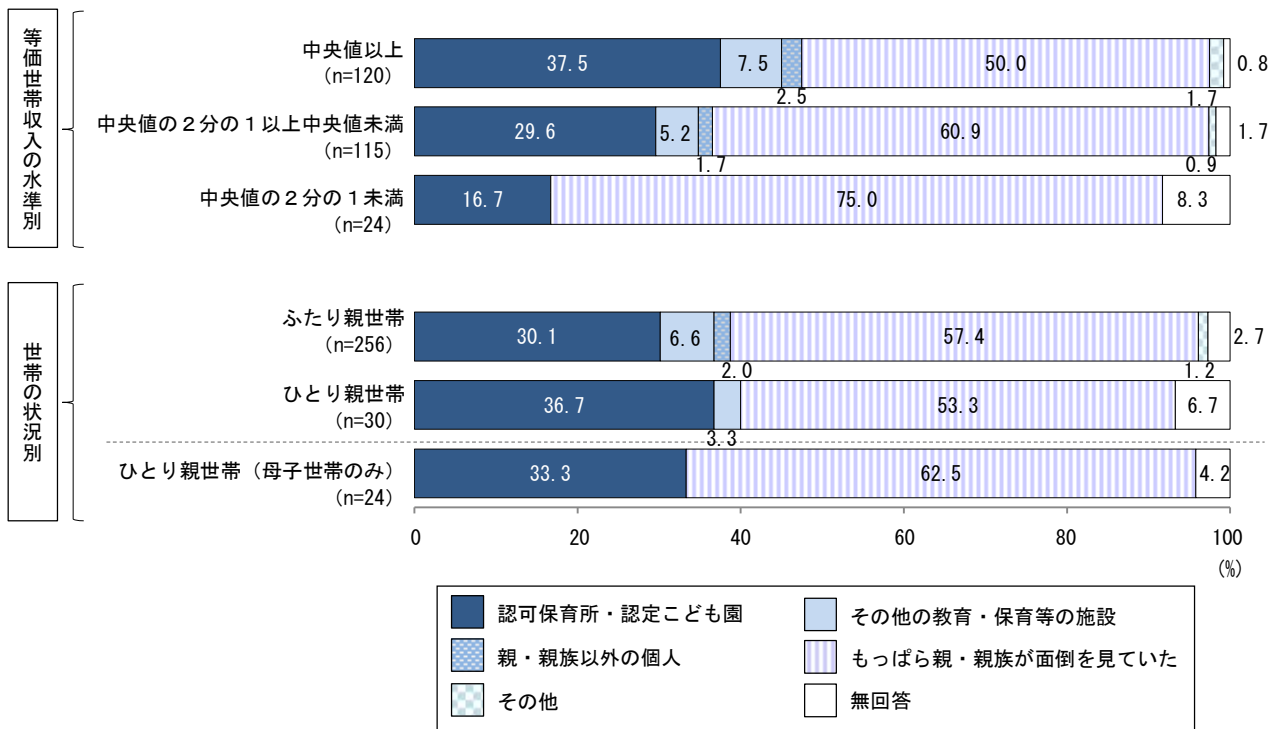
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が51.5%と他の世帯に比べて低く、「その他の教育・保育等の施設」は9.1%と高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「ふたり親世帯」に比べて、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が38.9%と低く、「その他の教育・保育等の施設」は13.9%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

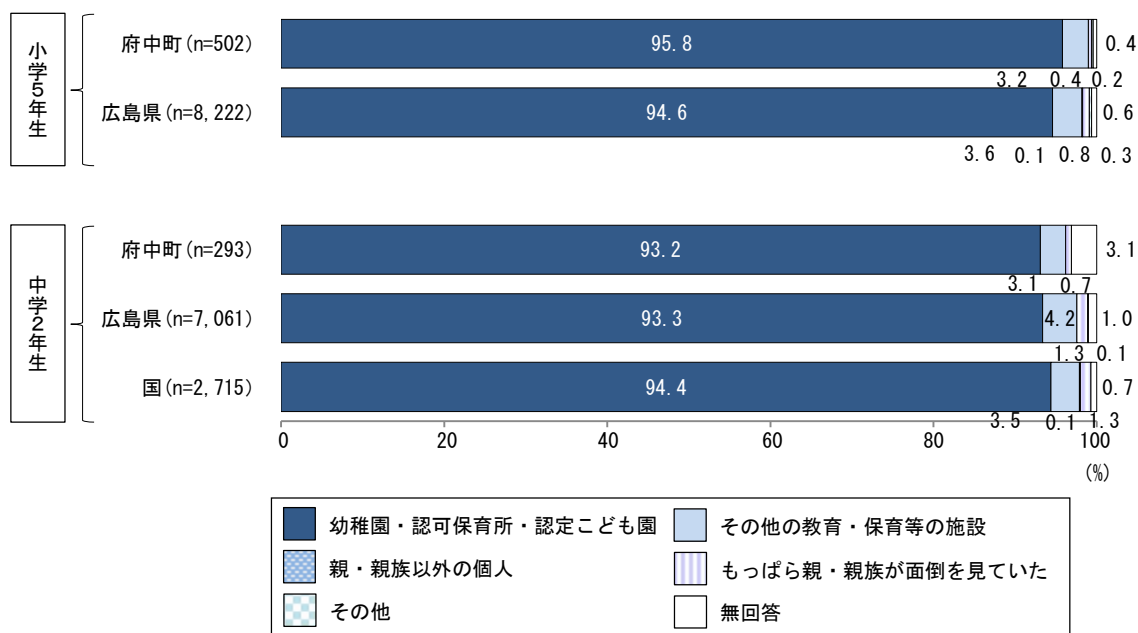


等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「認可保育所・認定こども園」が16.7%と他の世帯に比べて低く、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」は75.0%と高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「ふたり親世帯」に比べて、「認可保育所・認定こども園」は36.7%と高くなっている。

保護者票問 13. お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（SA）

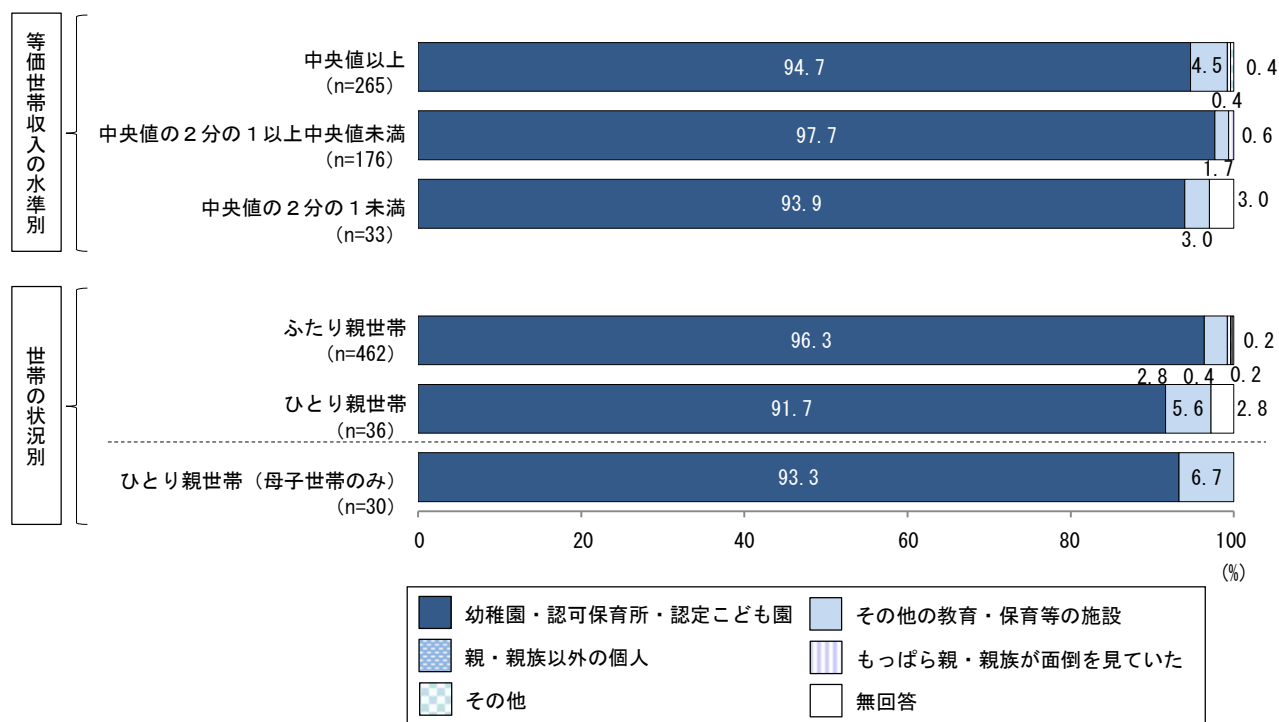
【全体】



子どもが3～5歳の時に通っていた教育・保育施設等について、小学5年生の保護者では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が95.8%と最も高く、次いで「その他の教育・保育等の施設」が3.2%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が93.2%と最も高く、次いで「その他の教育・保育等の施設」が3.1%などの順となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

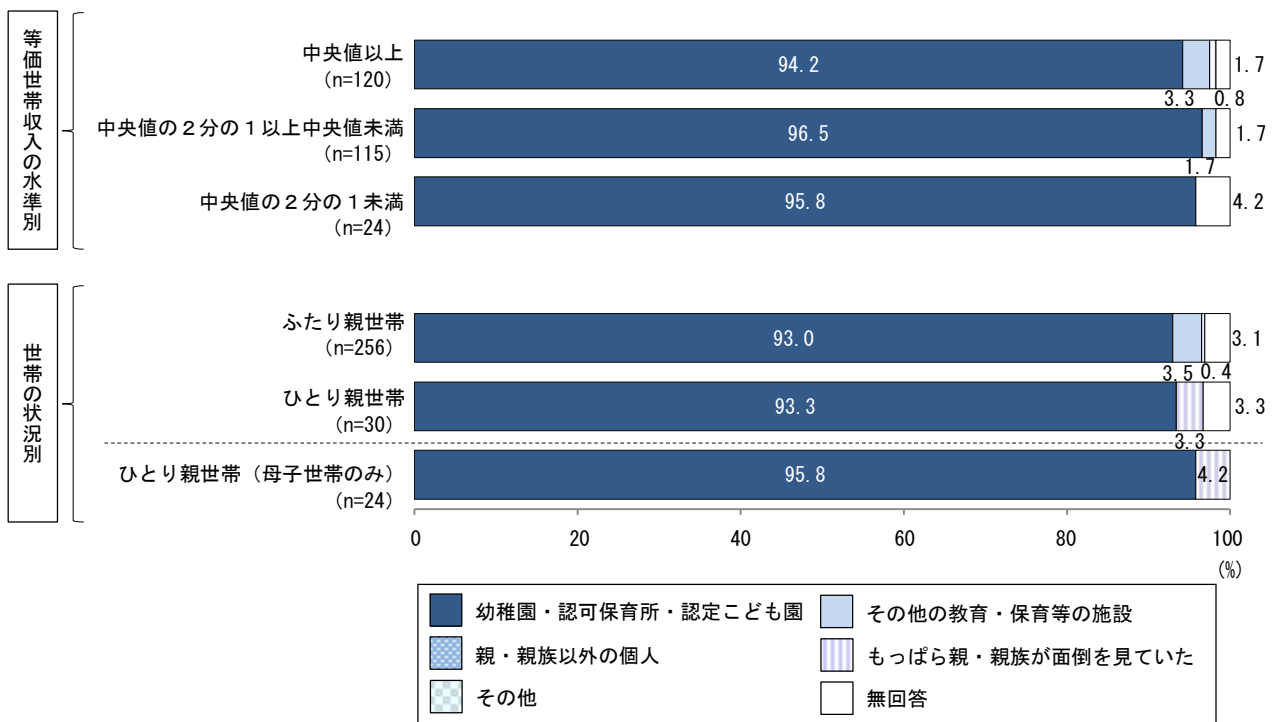
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」は、「中央値以上」では94.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では97.7%、「中央値の2分の1未満」では93.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」は、「ふたり親世帯」では96.3%、「ひとり親世帯全体」では91.7%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」は、「中央値以上」では94.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では96.5%、「中央値の2分の1未満」では95.8%となっている。

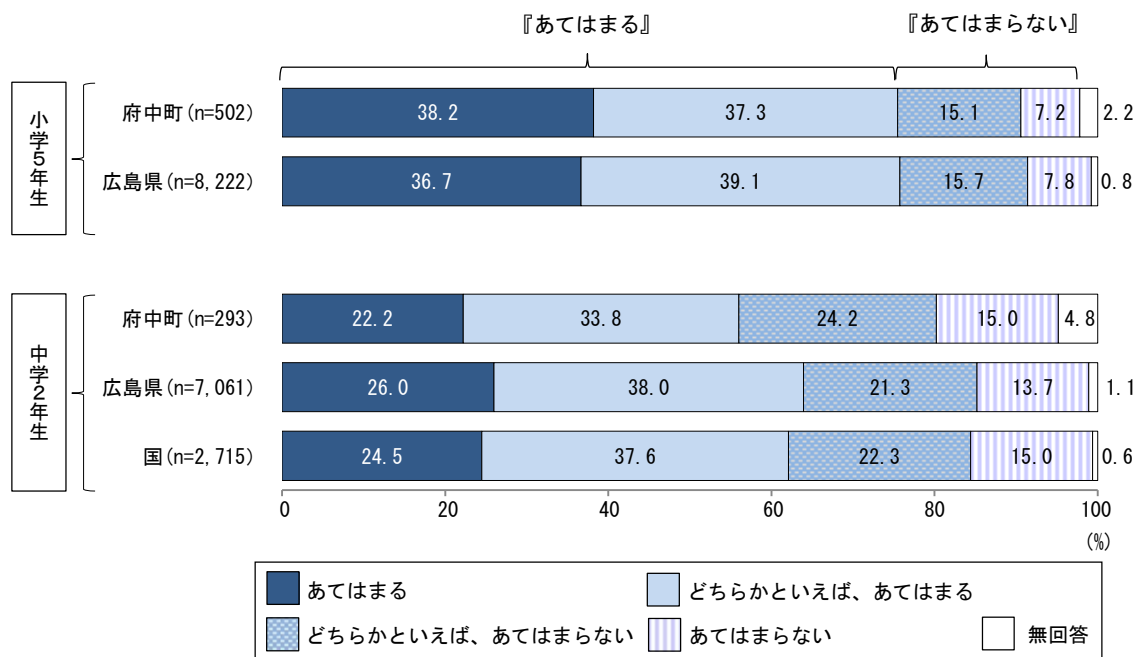
世帯の状況別にみると、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」は、「ふたり親世帯」では93.0%、「ひとり親世帯全体」では93.3%となっている。

(4) 子どもとの関わり方

保護者票問 14. あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(SA)

= テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている =

【全体】

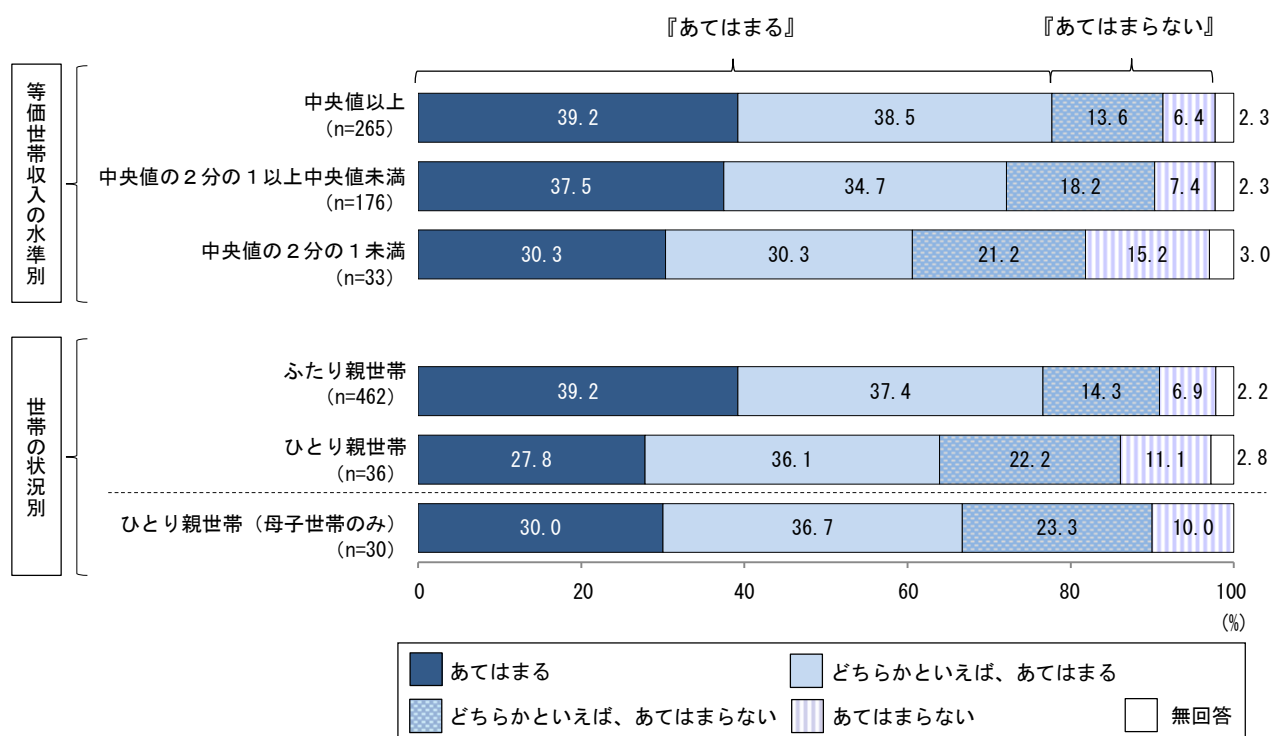


テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めているかについて、小学5年生の保護者では、『あてはまる（「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」を合わせた割合）』が75.5%、『あてはまらない（「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合）』が22.3%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、『あてはまる』が56.0%、『あてはまらない』が39.2%となっている。広島県と比較すると、『あてはまる』は、府中町（56.0%）が広島県（64.0%）を8.0ポイント下回っている。

国と比較すると、『あてはまる』は、府中町（56.0%）が国（62.1%）を6.1ポイント下回っている。

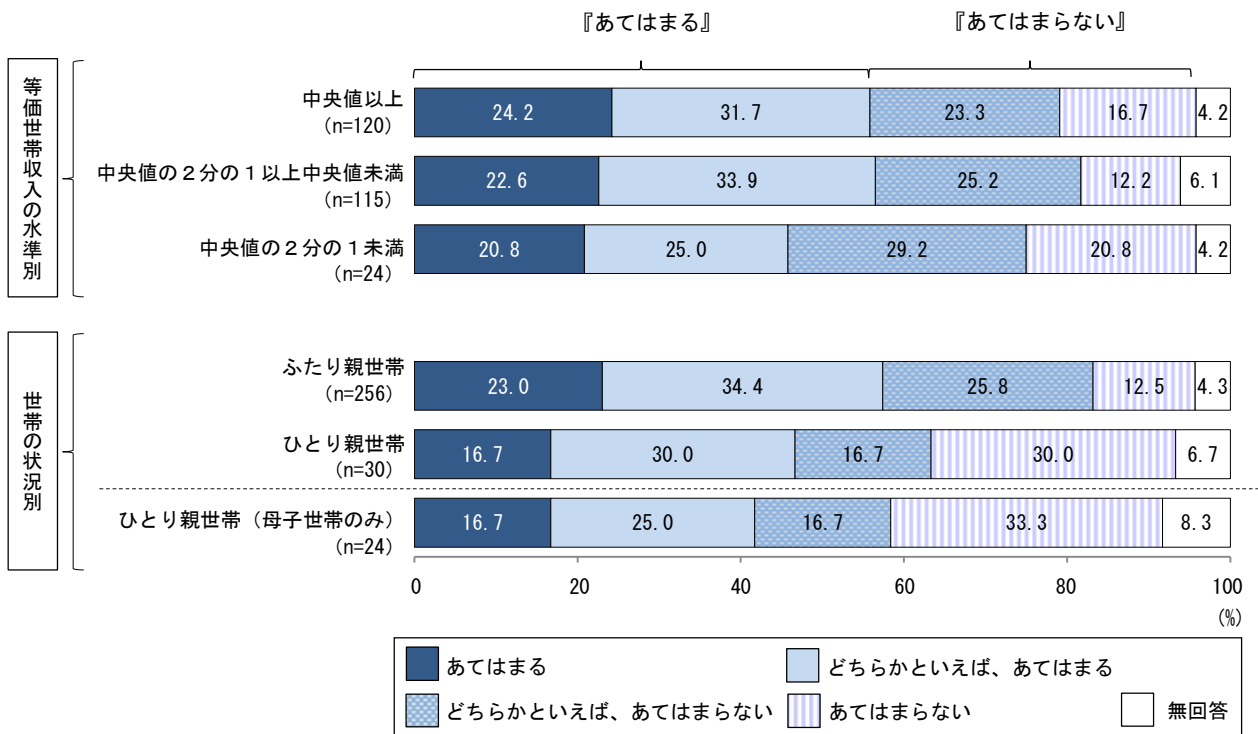
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では20.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では25.6%、「中央値の2分の1未満」では36.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では21.2%、「ひとり親世帯全体」では33.3%、「母子世帯のみ」では33.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

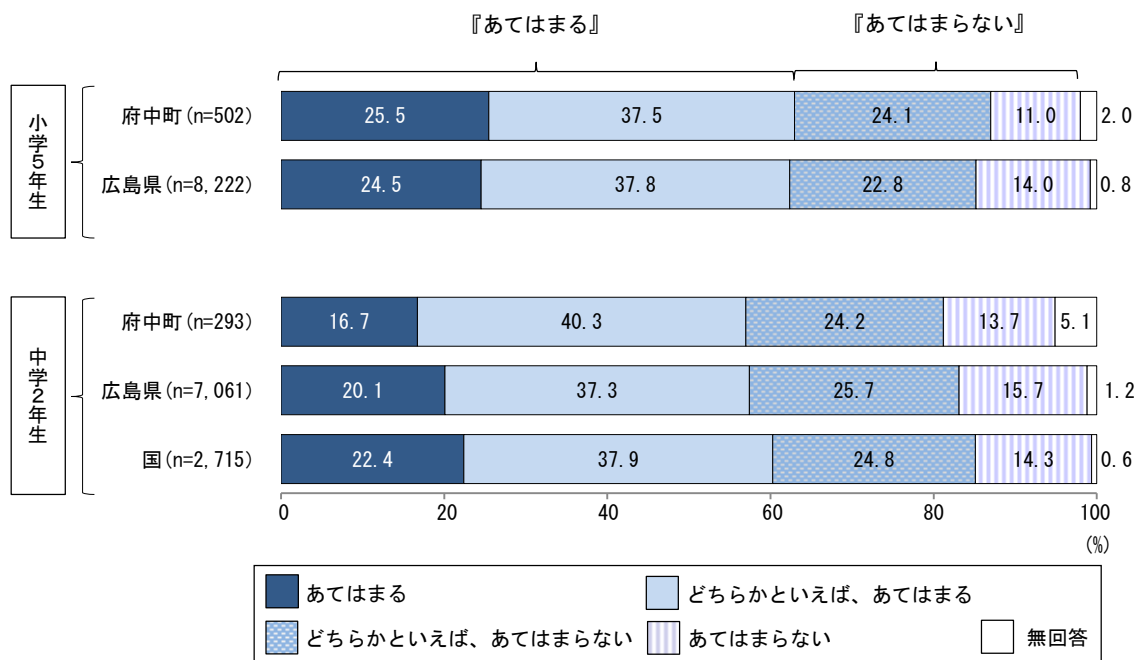


等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では40.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では37.4%、「中央値の2分の1未満」では50.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では38.3%、「ひとり親世帯全体」では46.7%、「母子世帯のみ」では50.0%となっている。

= お子さんに本や新聞を読むように勧めている =

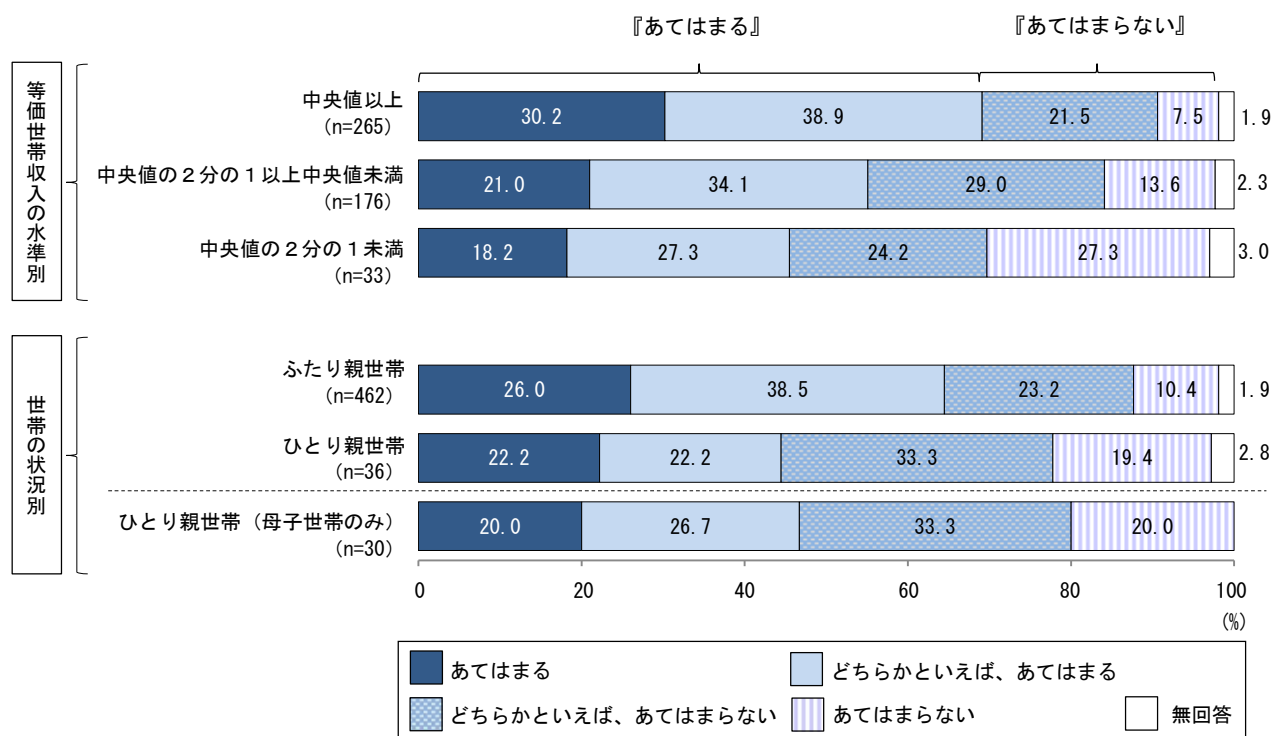
【全体】



子どもに本や新聞を読むように勧めているかについて、小学5年生の保護者では、『あてはまる』が63.0%、『あてはまらない』が35.1%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、『あてはまる』が57.0%、『あてはまらない』が37.9%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

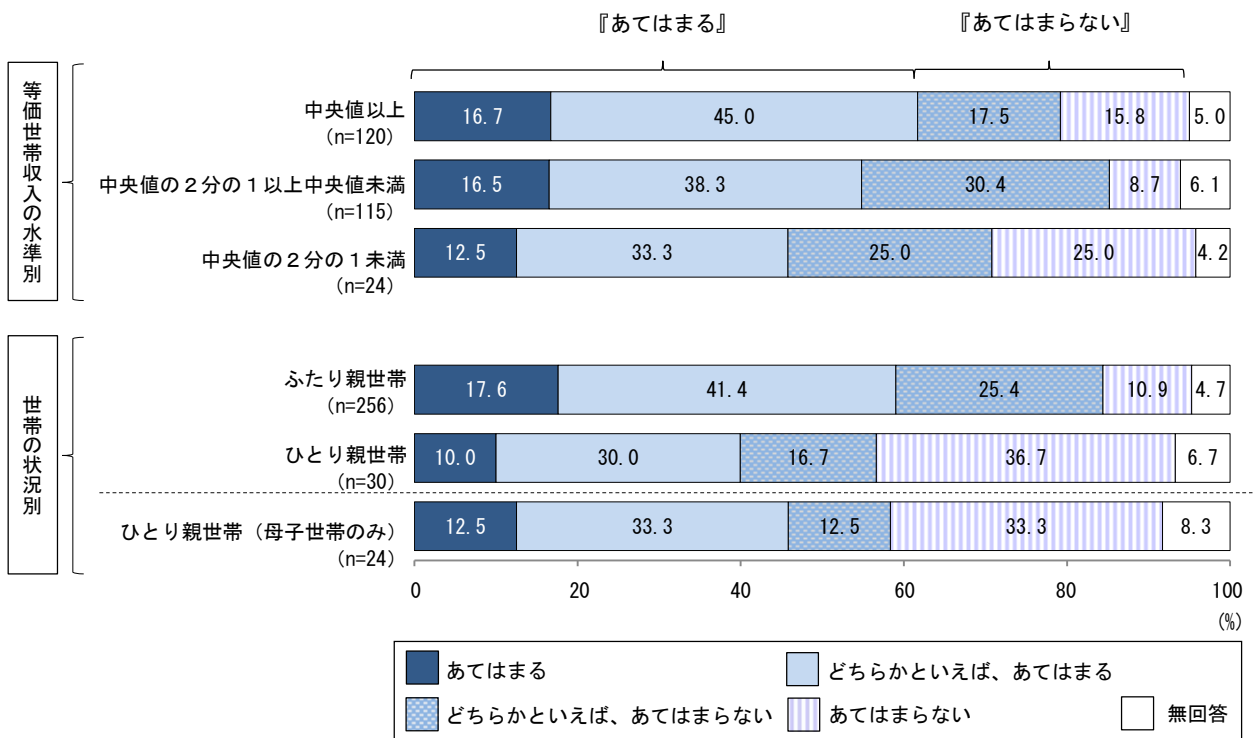
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では29.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では42.6%、「中央値の2分の1未満」では51.5%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では33.6%、「ひとり親世帯全体」では52.7%、「母子世帯のみ」では53.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

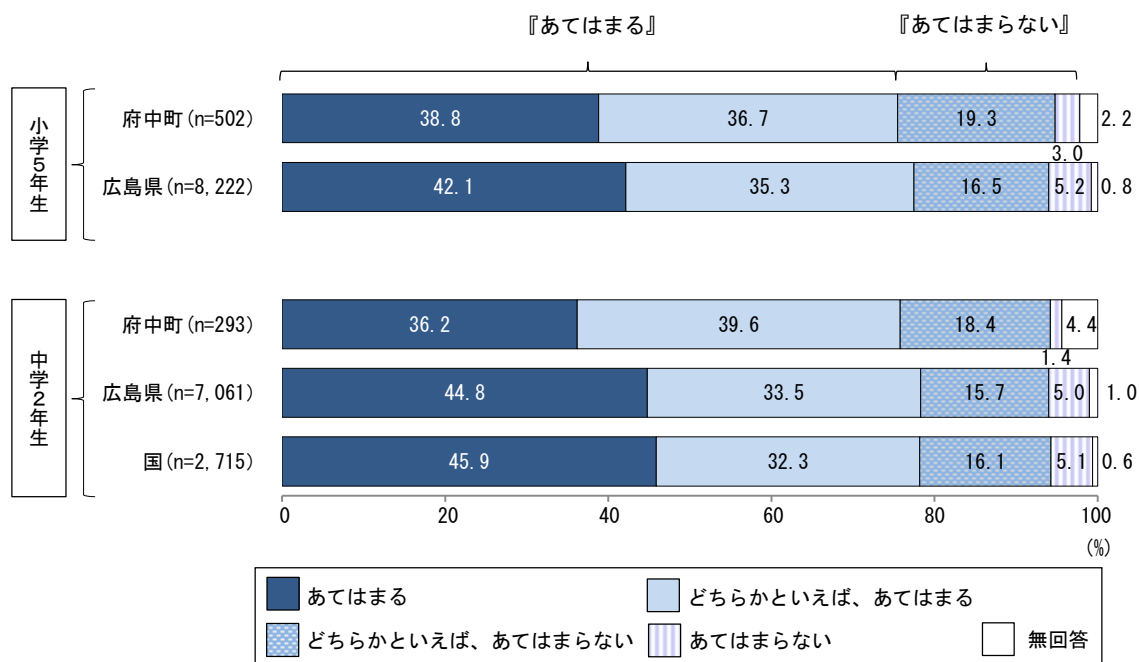


等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では33.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では39.1%、「中央値の2分の1未満」では50.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では36.3%、「ひとり親世帯全体」では53.4%、「母子世帯のみ」では45.8%となっている。

= お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた =

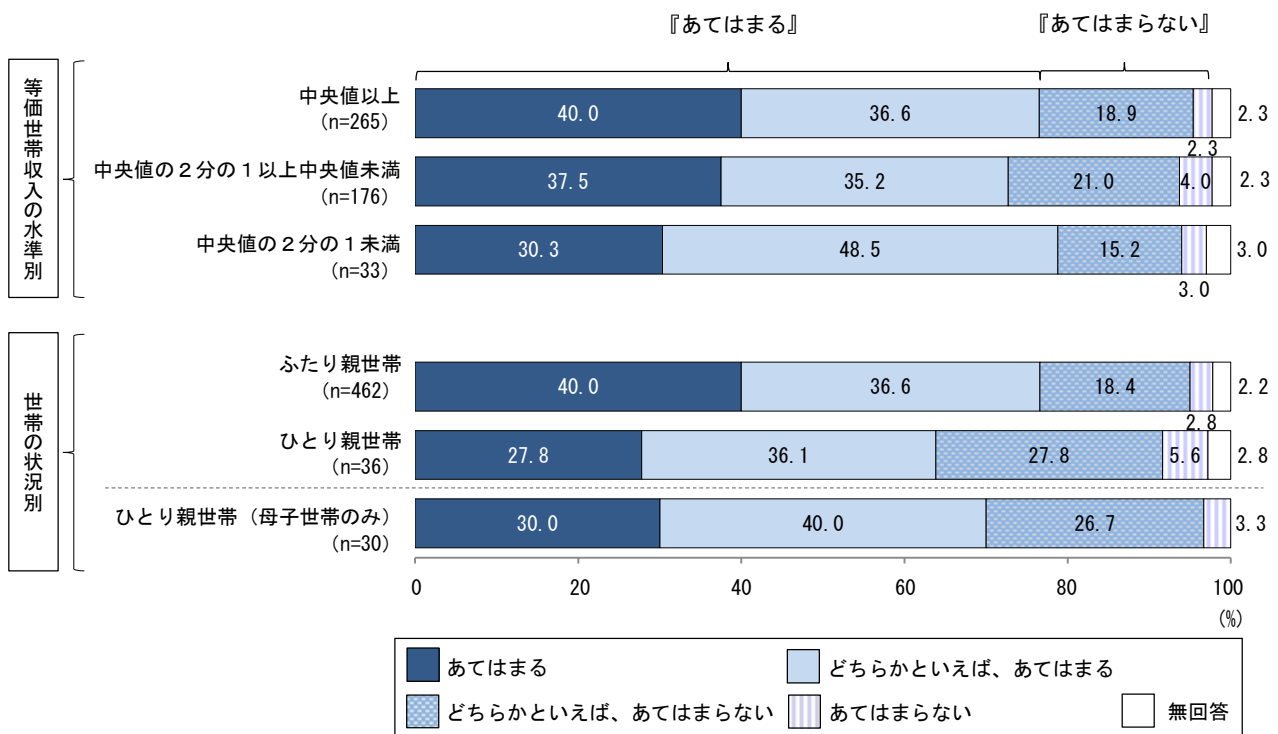
【全体】



子どもが小さいころに絵本の読み聞かせをしていたかについて、小学5年生の保護者では、『あてはまる』が75.5%、『あてはまらない』が22.3%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、『あてはまる』が75.8%、『あてはまらない』が19.8%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

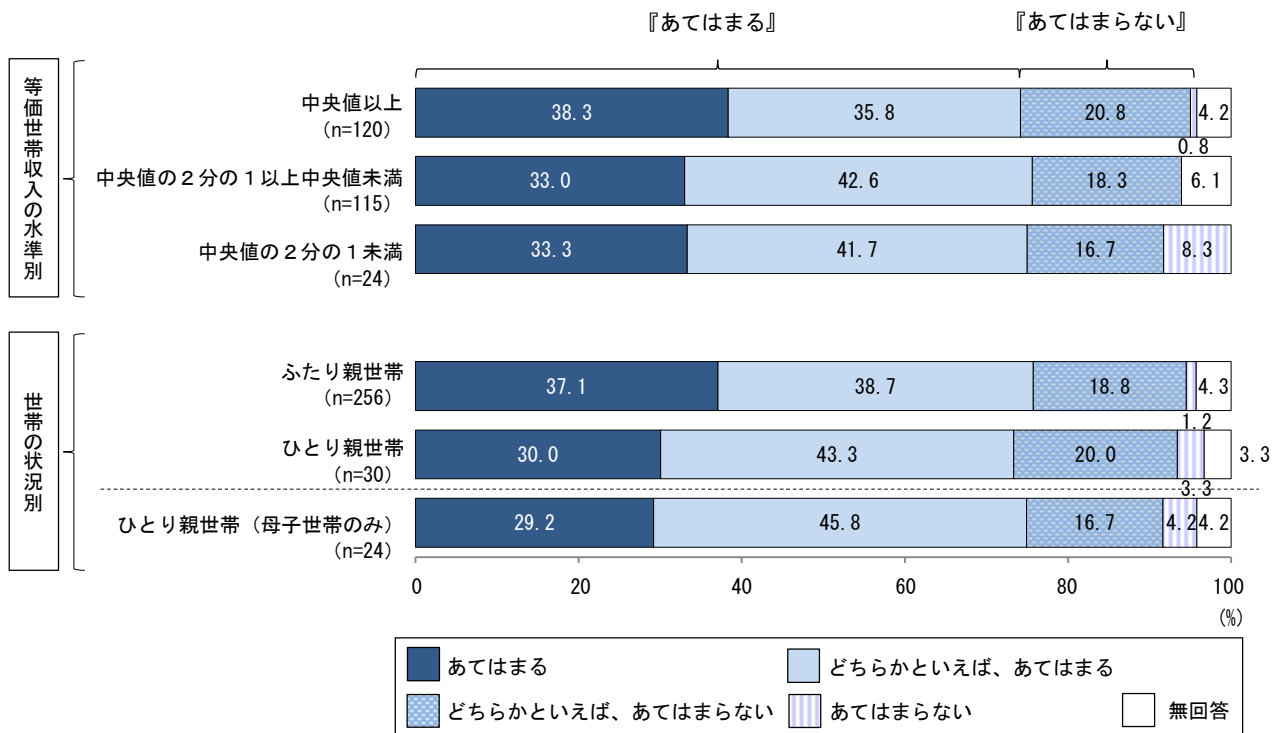
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では21.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では25.0%、「中央値の2分の1未満」では18.2%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では21.2%、「ひとり親世帯全体」では33.4%、「母子世帯のみ」では30.0%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

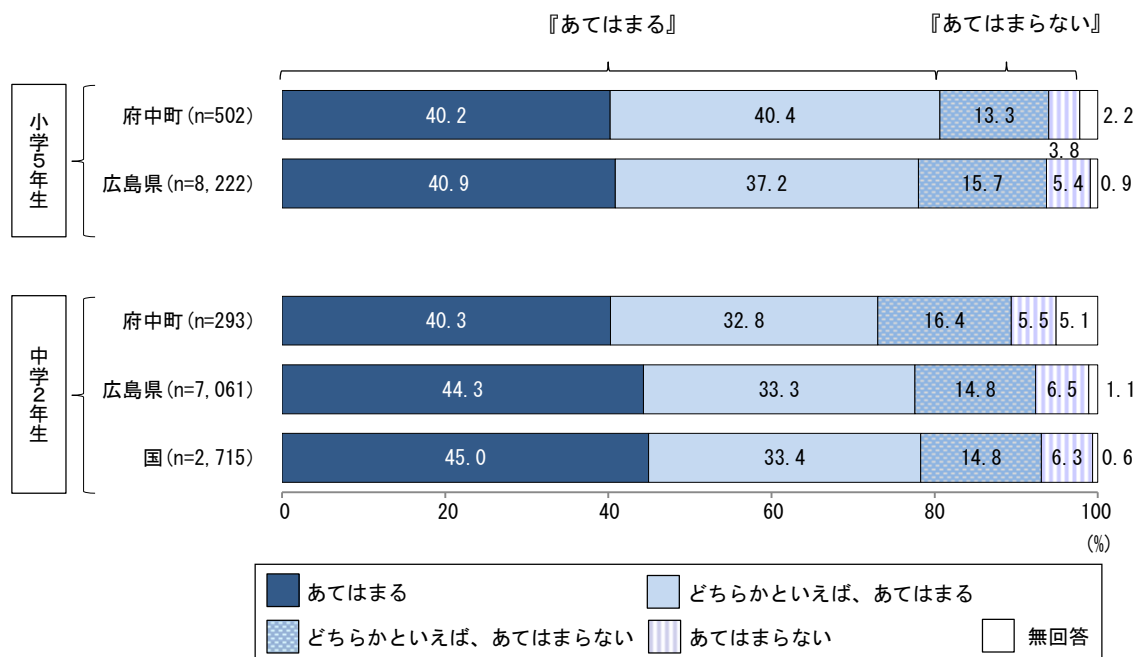


等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では21.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では18.3%、「中央値の2分の1未満」では25.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では20.0%、「ひとり親世帯全体」では23.3%、「母子世帯のみ」では20.9%となっている。

= お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる =

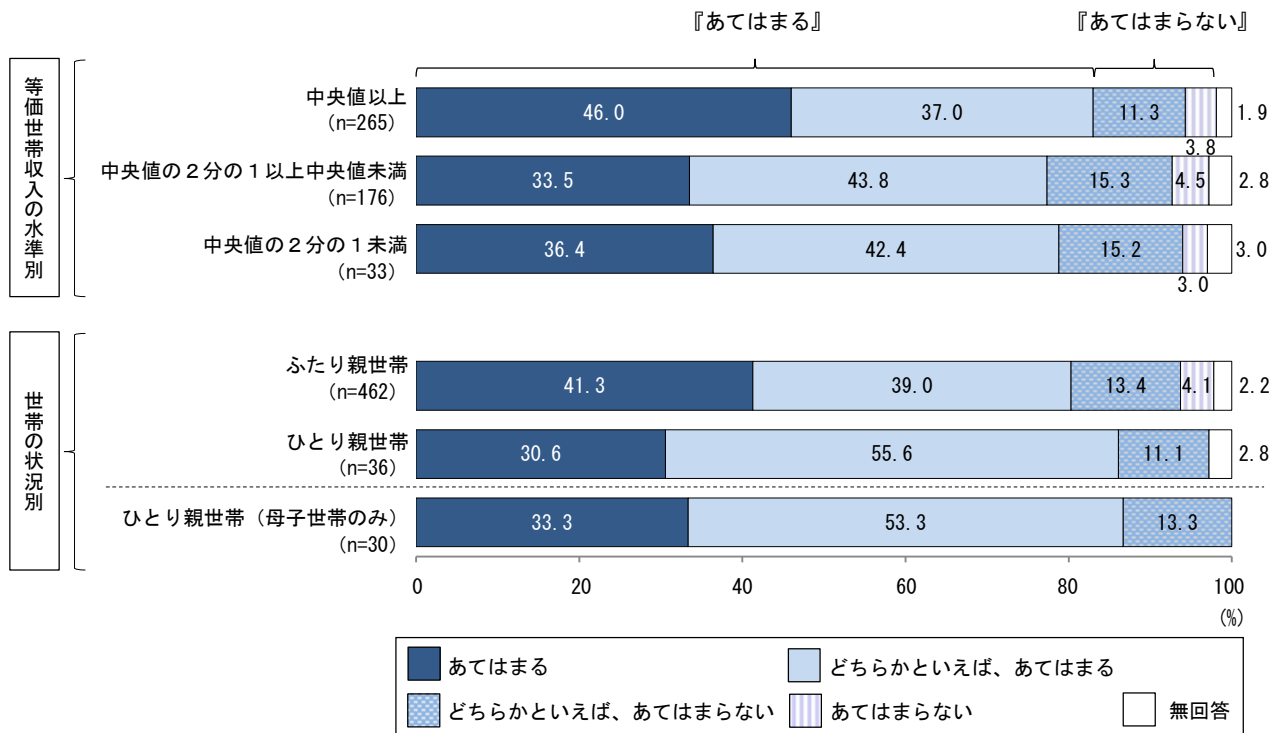
【全体】



子どもから勉強や成績のことについて話をしてくれるかについて、小学5年生の保護者では、『あてはまる』が80.6%、『あてはまらない』が17.1%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、『あてはまる』が73.1%、『あてはまらない』が21.9%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、『あてはまる』は、府中町（73.1%）が国（78.4%）を5.3ポイント下回っている。

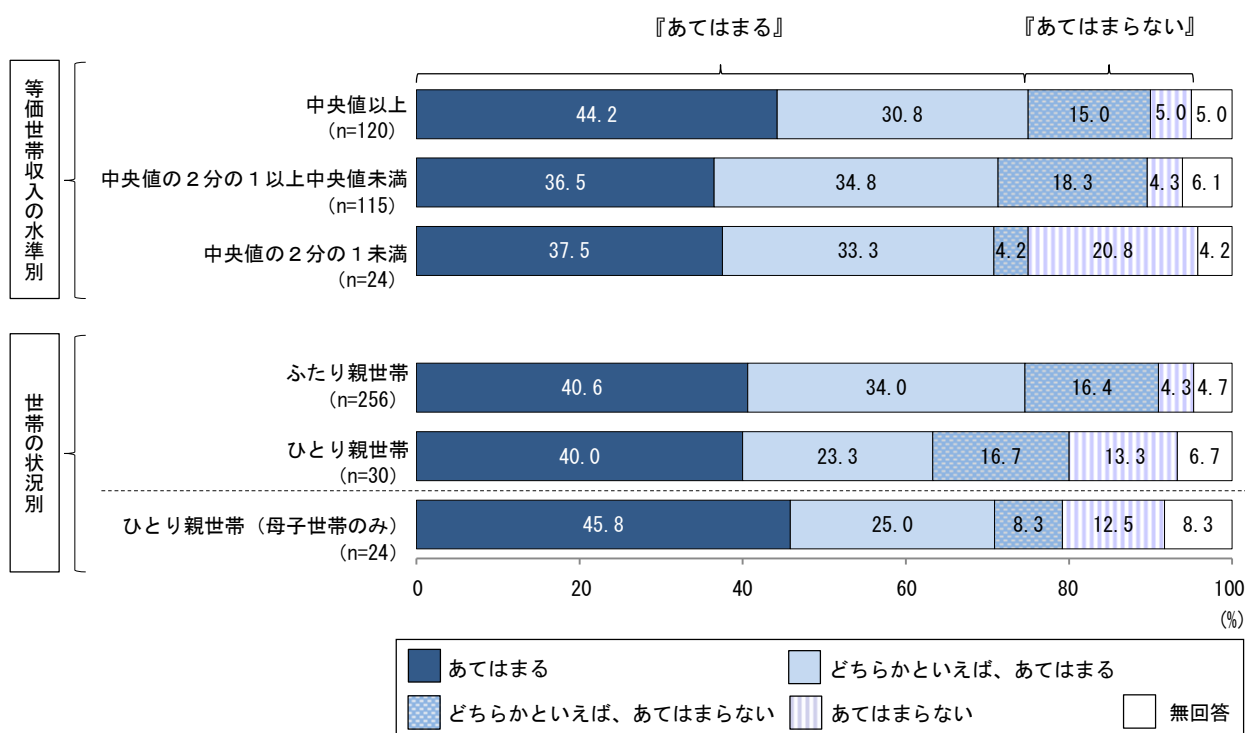
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では15.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では19.8%、「中央値の2分の1未満」では18.2%となっている。

世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では17.5%、「ひとり親世帯全体」では11.1%、「母子世帯のみ」では13.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『あてはまらない』は、「中央値以上」では20.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では22.6%、「中央値の2分の1未満」では25.0%となっている。

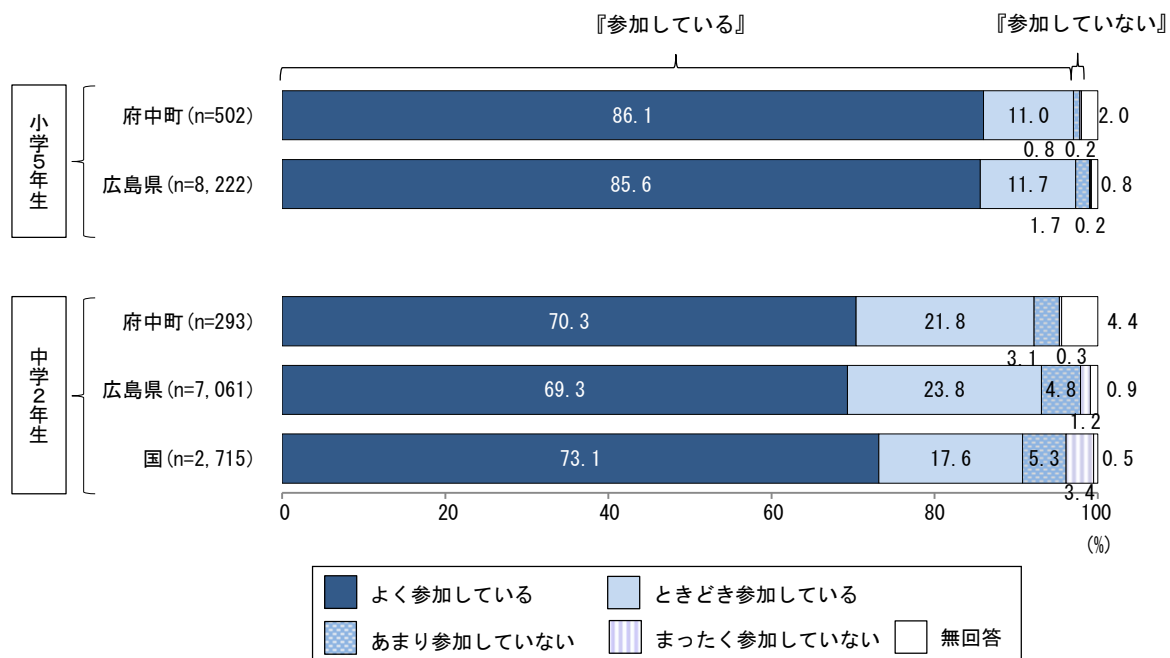
世帯の状況別にみると、『あてはまらない』は、「ふたり親世帯」では20.7%、「ひとり親世帯全体」では30.0%、「母子世帯のみ」では20.8%となっている。

(5) 学校との関わり・参加

保護者票問 15. あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(SA)

= 授業参観や運動会などの学校行事への参加 =

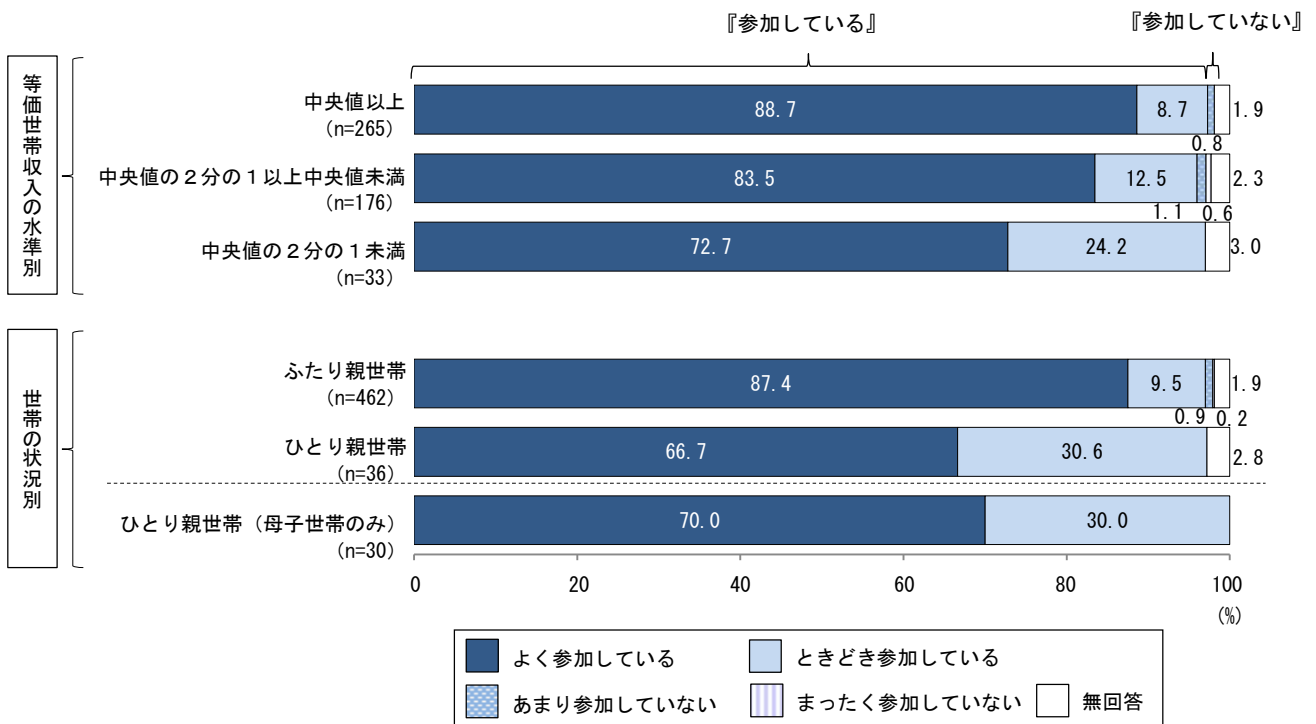
【全体】



授業参観や運動会などの学校行事について、小学5年生の保護者では、『参加している（「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合）』が97.1%、『参加していない（「あまり参加していない」と「まったく参加していない」を合わせた割合）』が1.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、『参加している』が92.1%、『参加していない』が3.4%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、『参加していない』は、府中町（3.4%）が国（8.7%）を5.3ポイント下回っている。

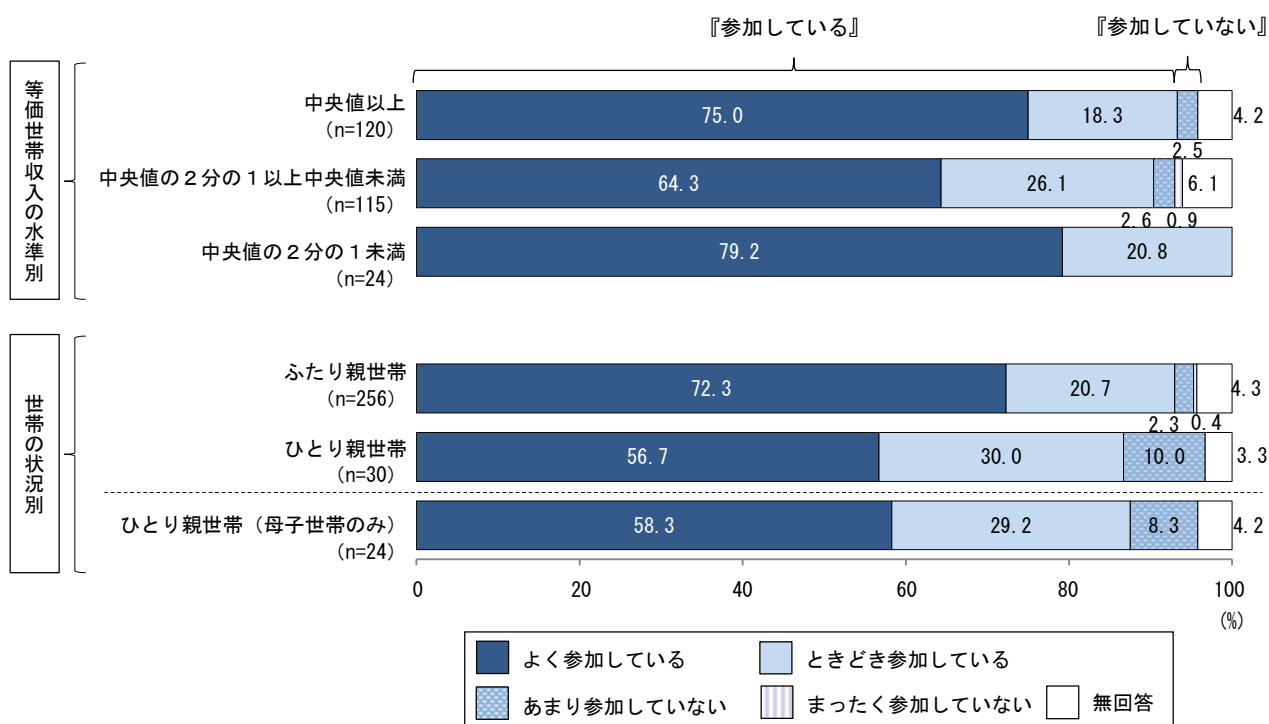
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では97.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では96.0%、「中央値の2分の1未満」では96.9%となっている。

世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では96.9%、「ひとり親世帯全体」では97.3%、「母子世帯のみ」では100%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

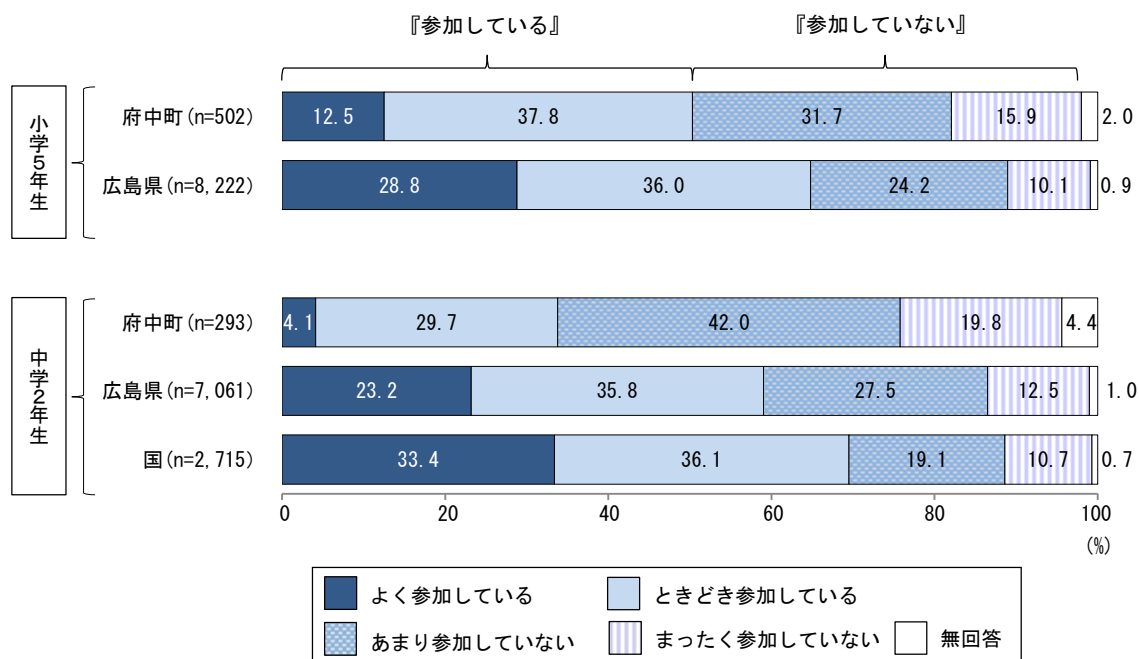


等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では93.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では90.4%、「中央値の2分の1未満」では100%となっている。

世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では93.0%、「ひとり親世帯全体」では86.7%、「母子世帯のみ」では87.5%となっている。

= P T A活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加 =

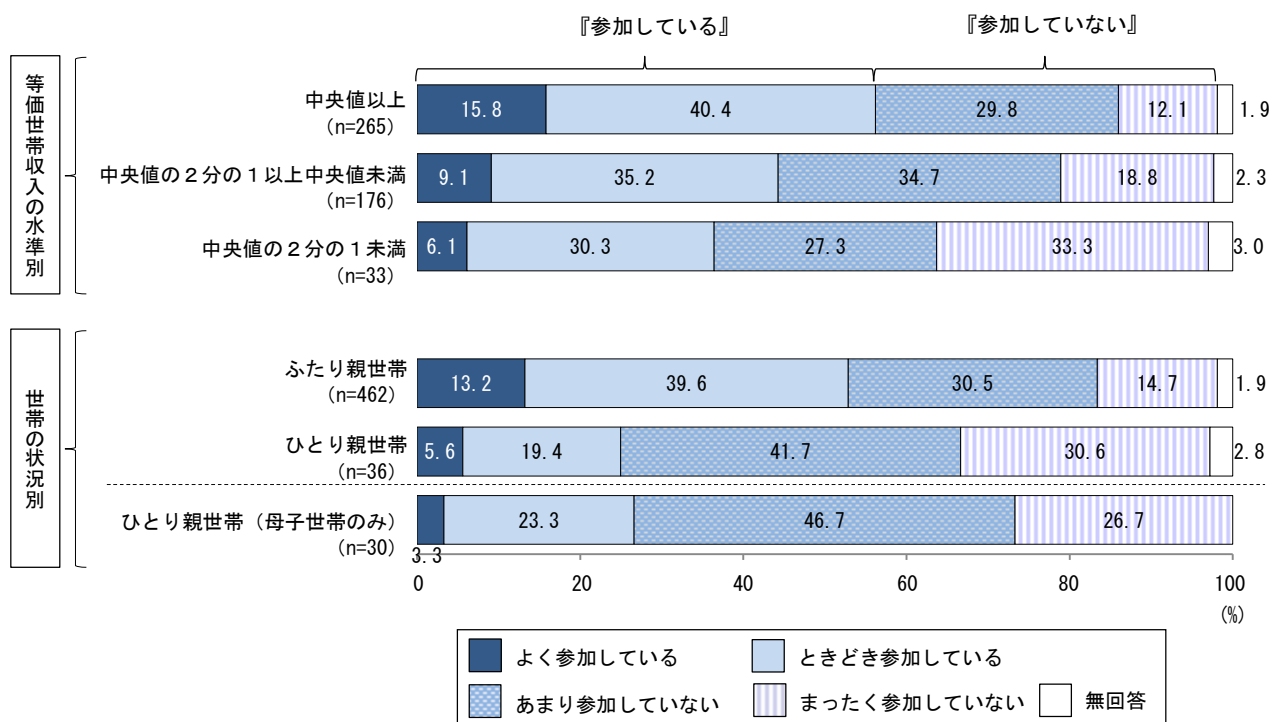
【全体】



P T A活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどについて、小学5年生の保護者では、『参加している』が50.3%、『参加していない』が47.6%となっている。広島県と比較すると、『参加している』は、府中町(50.3%)が広島県(64.8%)を14.5ポイント下回っている。

中学2年生の保護者では、『参加している』が33.8%、『参加していない』が61.8%となっている。広島県と比較すると、『参加している』は、府中町(33.8%)が広島県(59.0%)を25.2ポイント下回っている。国と比較すると、『参加している』は、府中町(33.8%)が国(69.5%)を35.7ポイント下回っている。

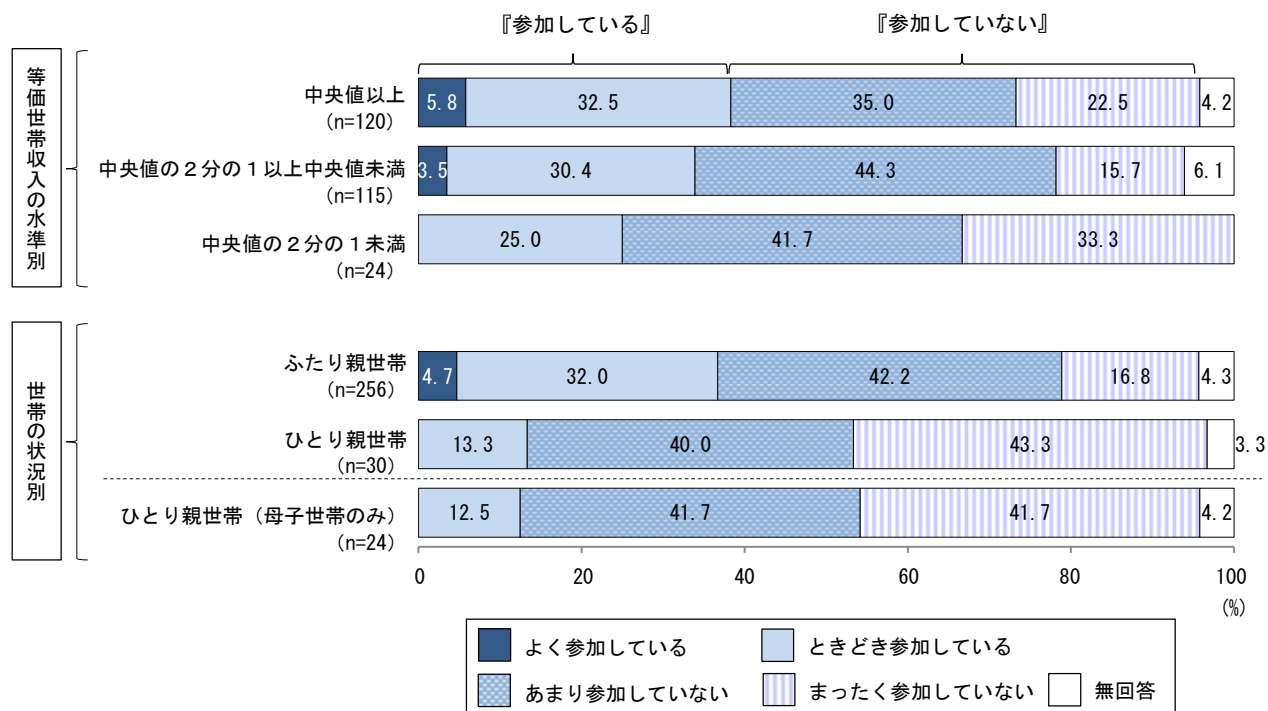
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では56.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では44.3%、「中央値の2分の1未満」では36.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では52.8%、「ひとり親世帯全体」では25.0%、「母子世帯のみ」では26.6%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



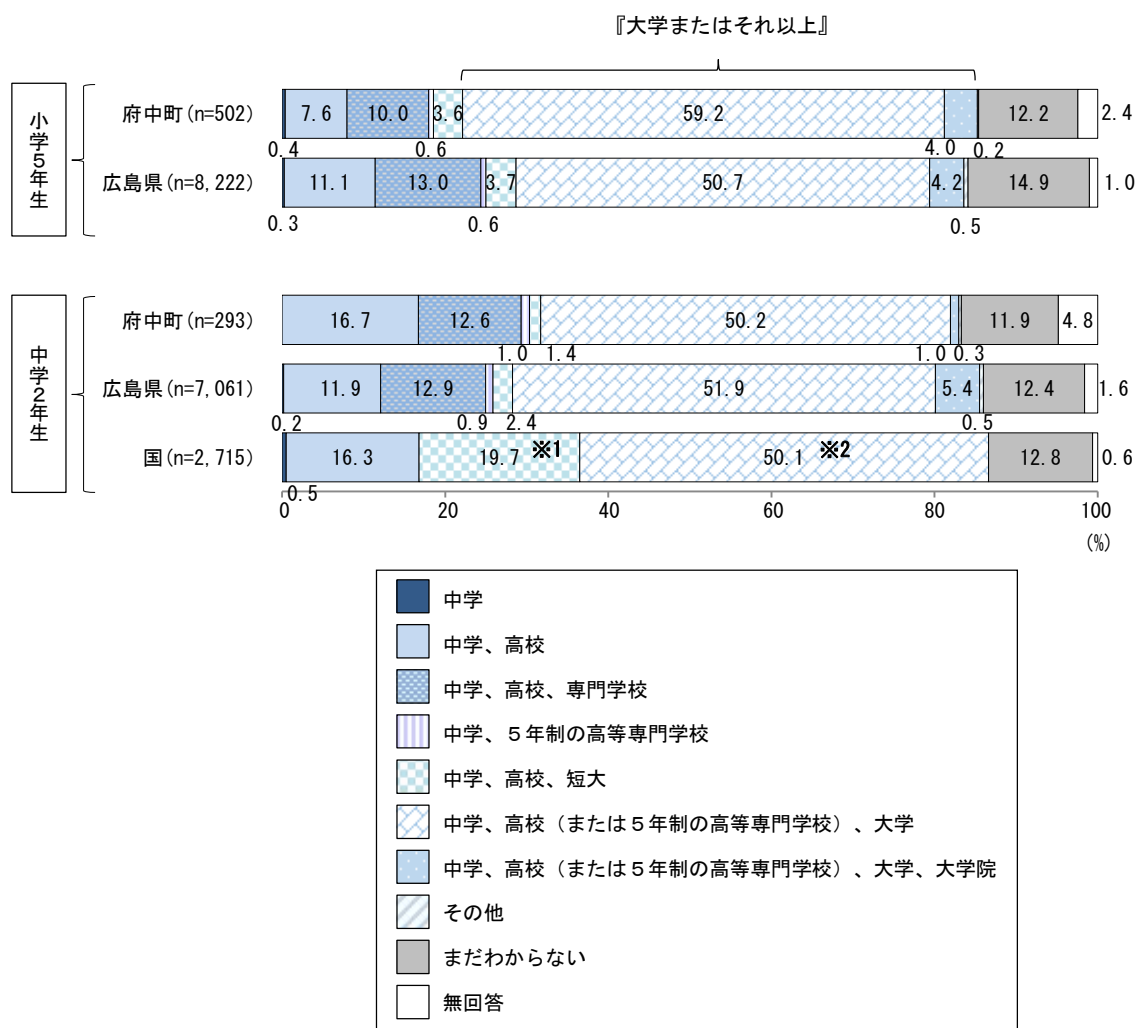
等価世帯収入の水準別にみると、『参加している』は、「中央値以上」では38.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では33.9%、「中央値の2分の1未満」では25.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『参加している』は、「ふたり親世帯」では36.7%、「ひとり親世帯全体」では13.3%、「母子世帯のみ」では12.5%となっている。

(6) 進学期待・展望

保護者票問 16. お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。(SA)

【全体】



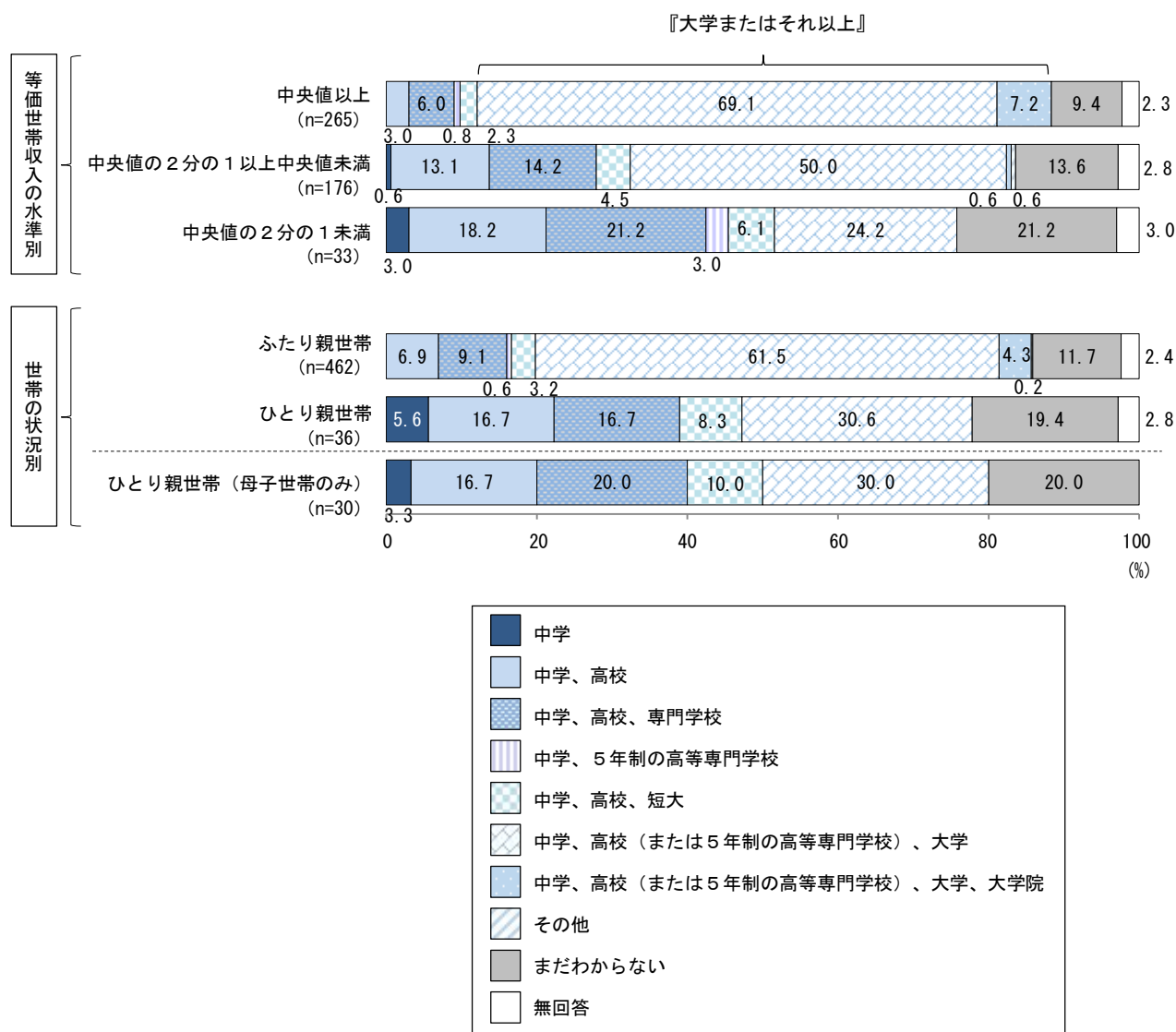
※1：国調査では「短大・高専・専門学校まで」という選択肢になっている

※2：国調査では「大学またはそれ以上」という選択肢になっている

子どもが将来どの学校に進学すると思うかについて、小学5年生の保護者では、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が59.2%と最も高く、次いで「まだわからない」が12.2%、「中学、高校、専門学校」が10.0%などの順となっている。広島県と比較すると、『大学またはそれ以上（「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」と「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院」を合わせた割合）』は、府中町（63.2%）が広島県（54.9%）を8.3ポイント上回っている。

中学2年生の保護者では、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が50.2%と最も高く、次いで「中学、高校」が16.7%、「中学、高校、専門学校」が12.6%などの順となっている。広島県と比較すると、『大学またはそれ以上』は、府中町（51.2%）が広島県（57.3%）を6.1ポイント下回っている。国と比較すると、大きな差はみられない。

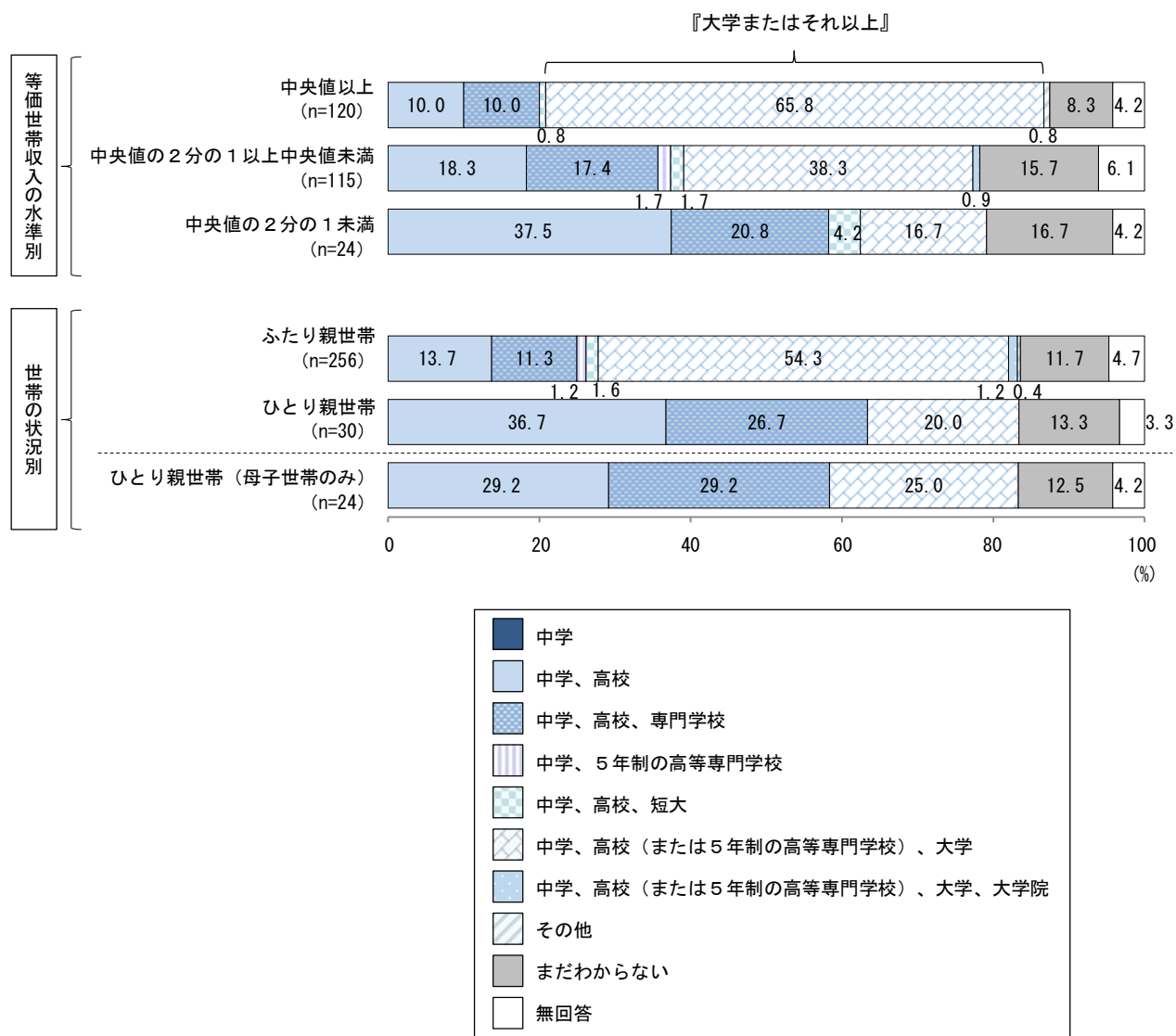
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『大学またはそれ以上』は、「中央値以上」では76.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では50.6%、「中央値の2分の1未満」では24.2%となっている。

世帯の状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「ふたり親世帯」では65.8%、「ひとり親世帯全体」では30.6%、「母子世帯のみ」では30.0%となっている。

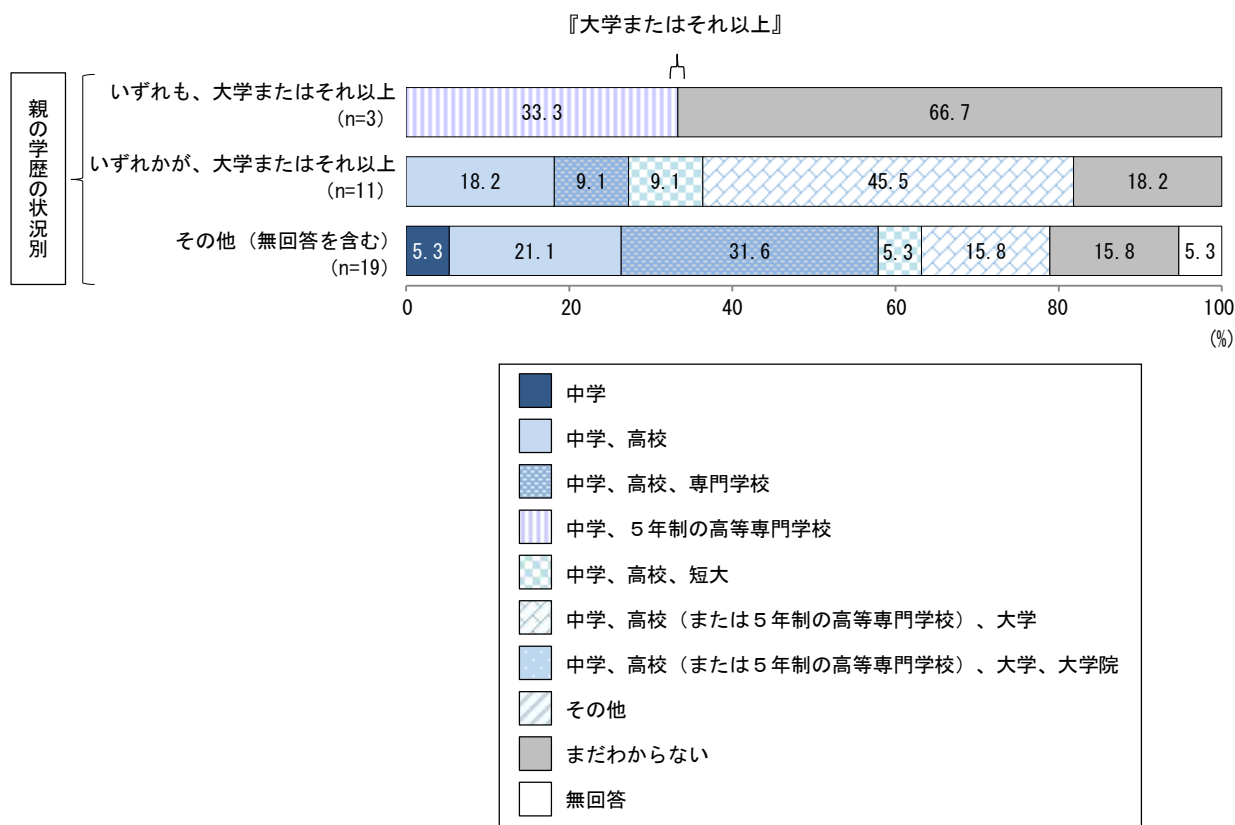
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『大学またはそれ以上』は、「中央値以上」では65.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では39.2%、「中央値の2分の1未満」では16.7%となっている。

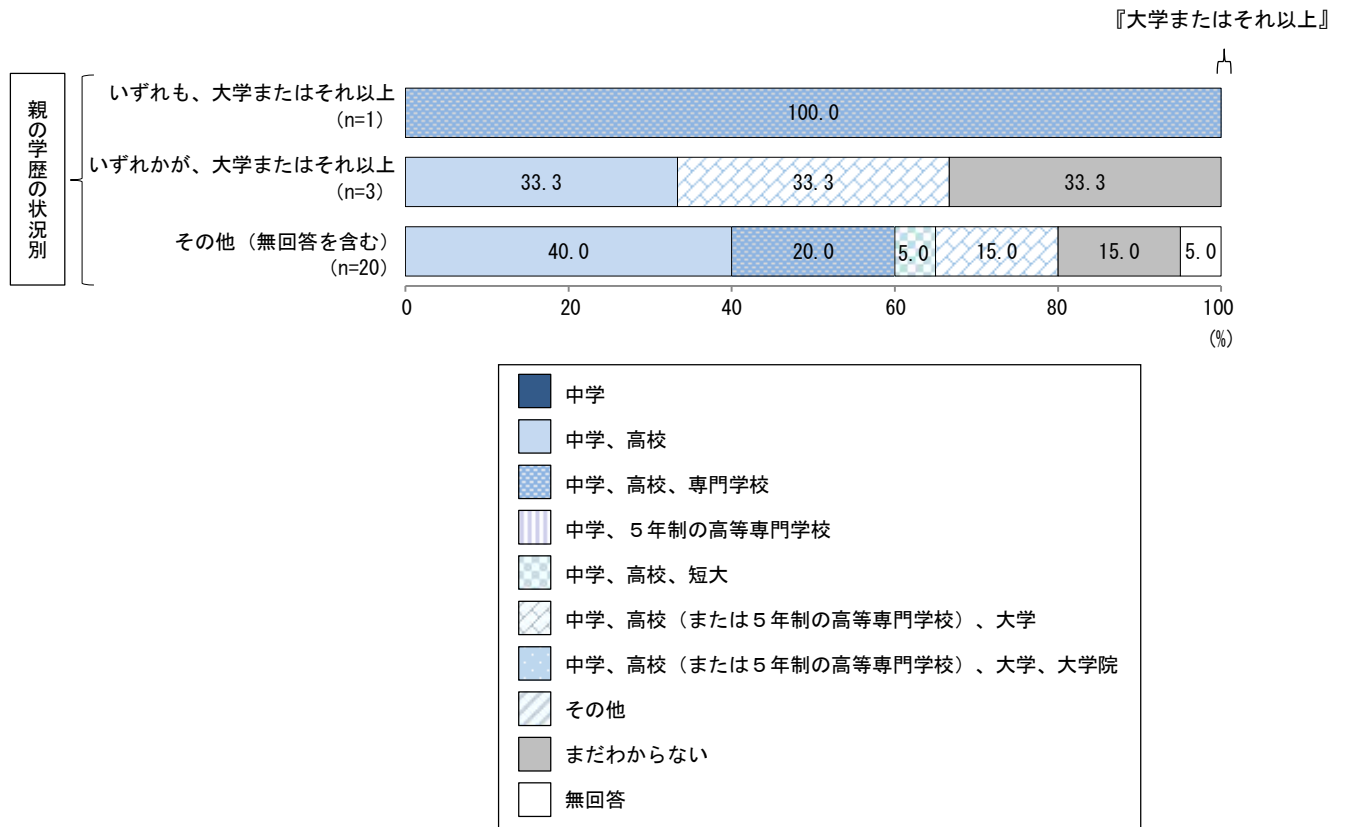
世帯の状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「ふたり親世帯」では55.5%、「ひとり親世帯全体」では20.0%、「母子世帯のみ」では25.0%となっている。

【親の学歴状況別（等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合）_小学5年生の保護者】



親の学歴状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「いずれかが、大学またはそれ以上」では45.5%となっている。

【親の学歴状況別（等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合）_中学2年生の保護者】

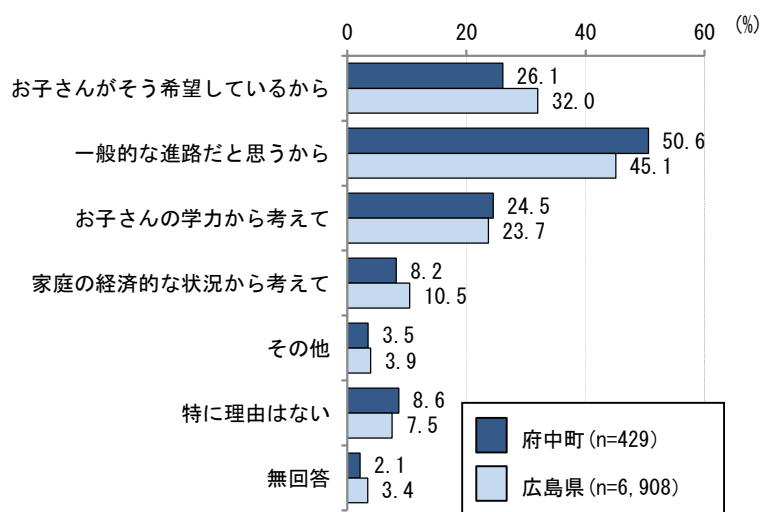


親の学歴状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「いずれかが、大学またはそれ以上」では33.3%となっている。

※問 16 で「1～8」と答えた方に

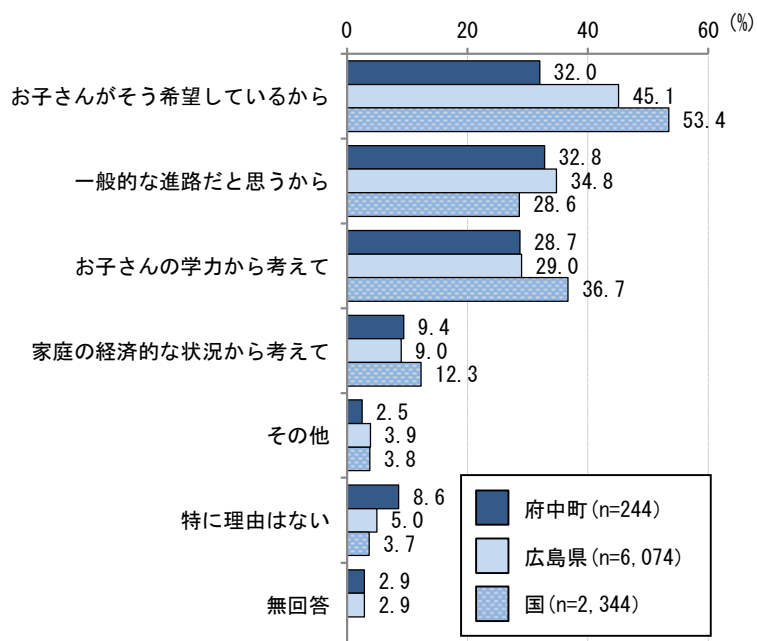
保護者票問 17. その理由は何ですか。(MA)

【小学5年生の保護者】



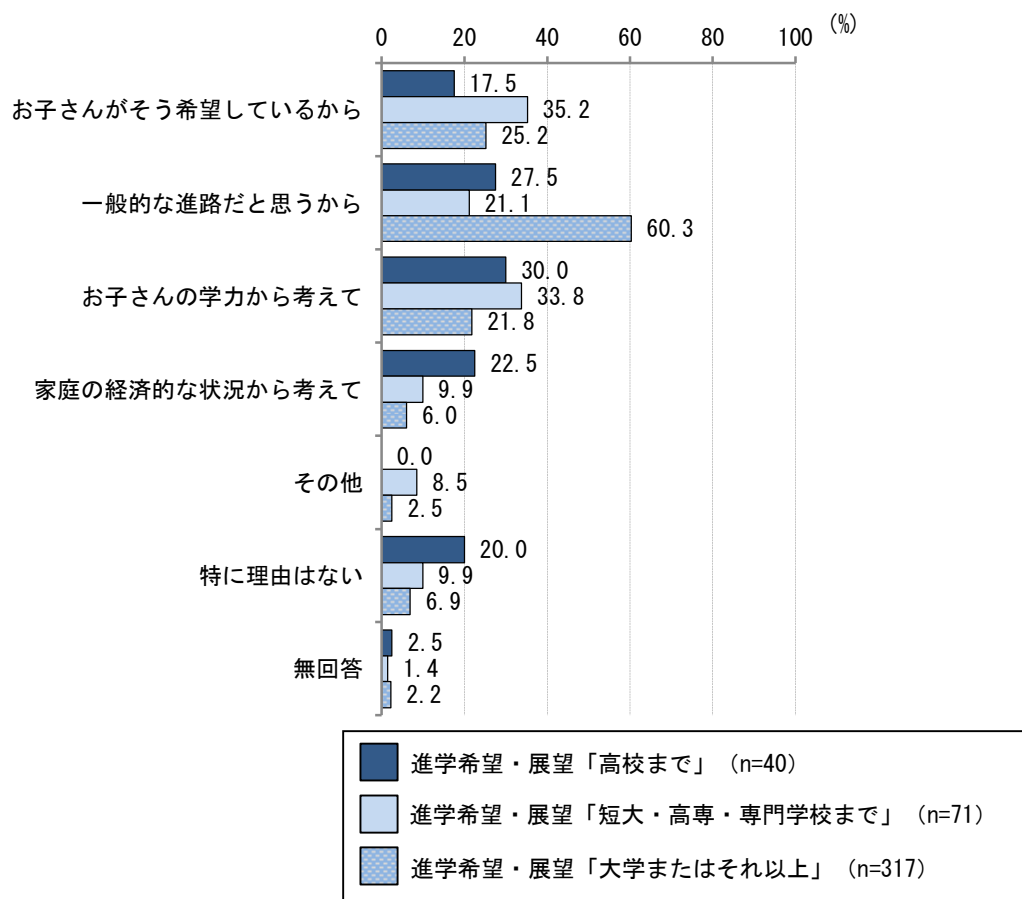
子どもの進学学校に関する希望・展望について保護者がそう考える理由について、小学5年生の保護者では、「一般的な進路だと思うから」が50.6%と最も高く、次いで「お子さんがそう希望しているから」が26.1%、「お子さんの学力から考えて」が24.5%などの順となっている。広島県と比較すると、「お子さんがそう希望しているから」は、府中町（26.1%）が広島県（32.0%）を5.9ポイント下回っており、「一般的な進路だと思うから」は、府中町（50.6%）が広島県（45.1%）を5.5ポイント上回っている。

【中学2年生の保護者】



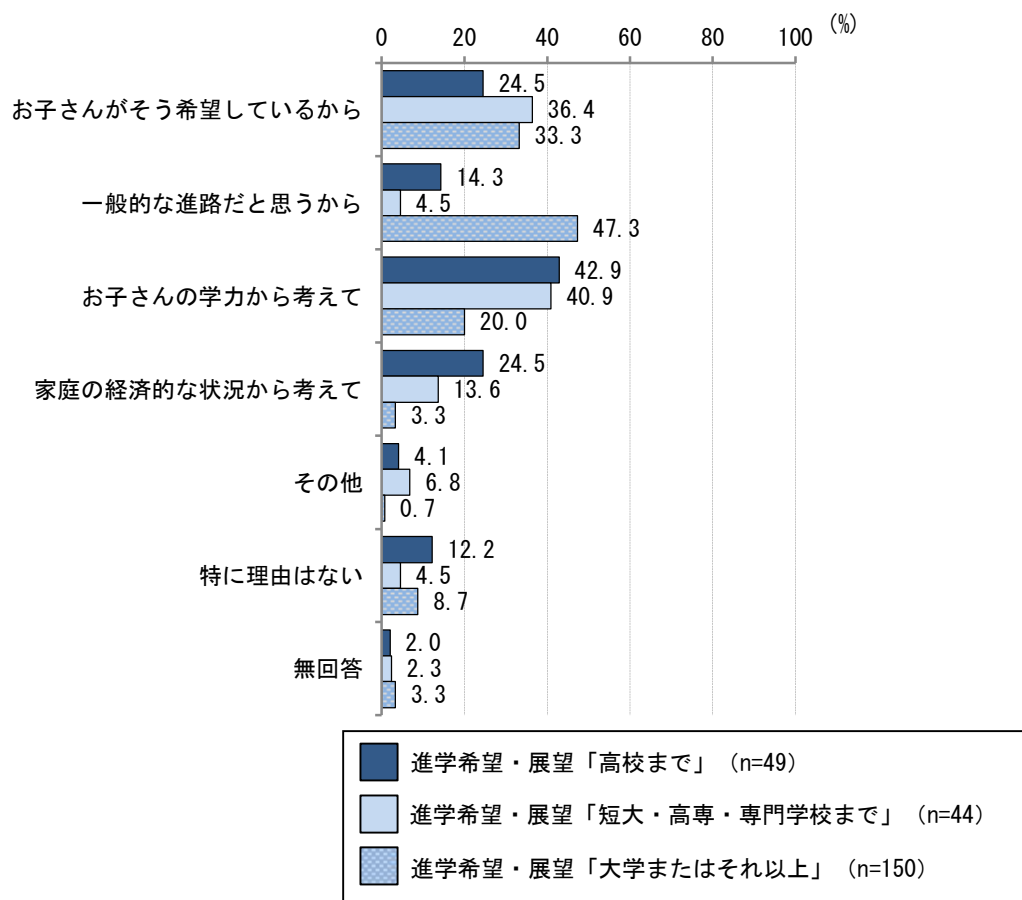
子どもの進学学校に関する希望・展望について保護者がそう考える理由について、中学2年生の保護者では、「一般的な進路だと思うから」が32.8%と最も高く、次いで「お子さんがそう希望しているから」が32.0%、「お子さんの学力から考えて」が28.7%などの順となっている。広島県と比較すると、「お子さんがそう希望しているから」は、府中町（32.0%）が広島県（45.1%）を13.1ポイント下回っている。国と比較すると、「お子さんがそう希望しているから」は、府中町（32.0%）が国（53.4%）を21.4ポイント、「お子さんの学力から考えて」は、府中町（28.7%）が国（36.7%）を8.0ポイント下回っている。

【子どもの進学学校に関する希望・展望の回答別_小学5年生の保護者】



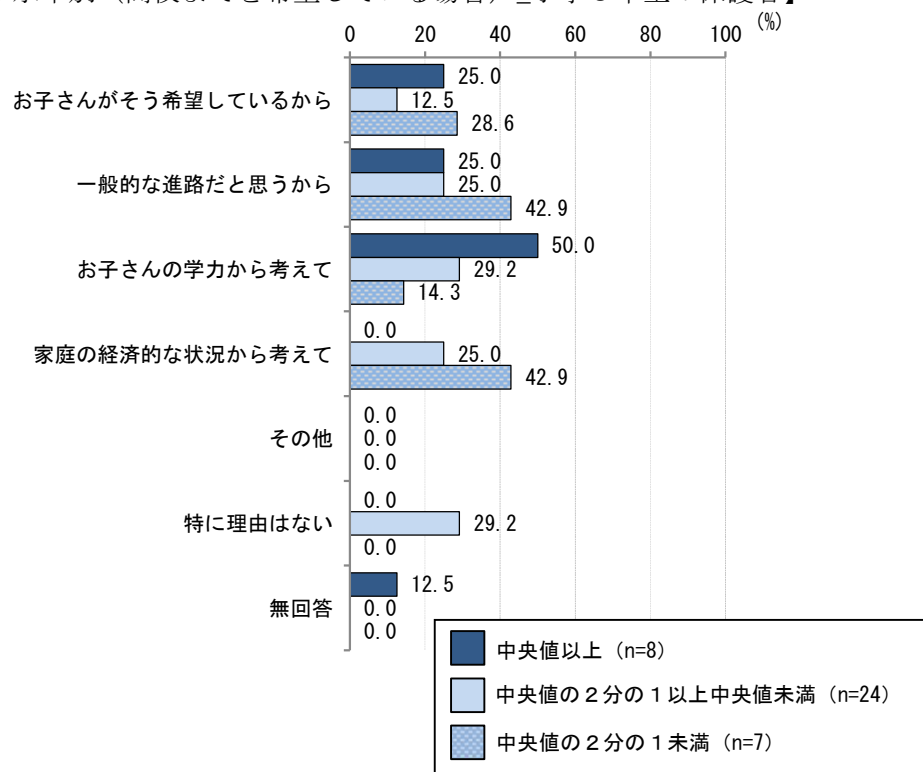
子どもの進学学校に関する希望・展望の回答別にみると、『高校まで』では、「家庭の経済的な状況から考えて」が22.5%となっており、『短大・高専・専門学校まで』や『大学またはそれ以上』と比べて高くなっている。

【子どもの進学学校に関する希望・展望の回答別_中学2年生の保護者】



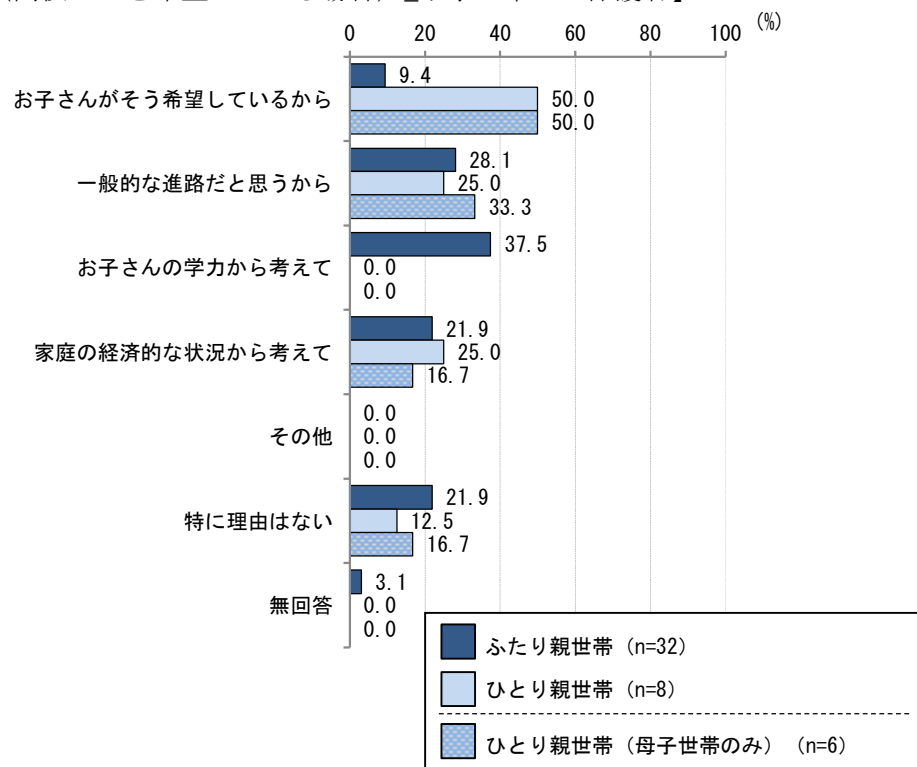
子どもの進学学校に関する希望・展望の回答別にみると、『高校まで』では、「お子さんの学力から考えて」が42.9%、「家庭の経済的な状況から考えて」が24.5%となっており、『短大・高専・専門学校まで』や『大学またはそれ以上』と比べて高くなっている。

【等価世帯収入の水準別（高校までを希望している場合）_小学5年生の保護者】



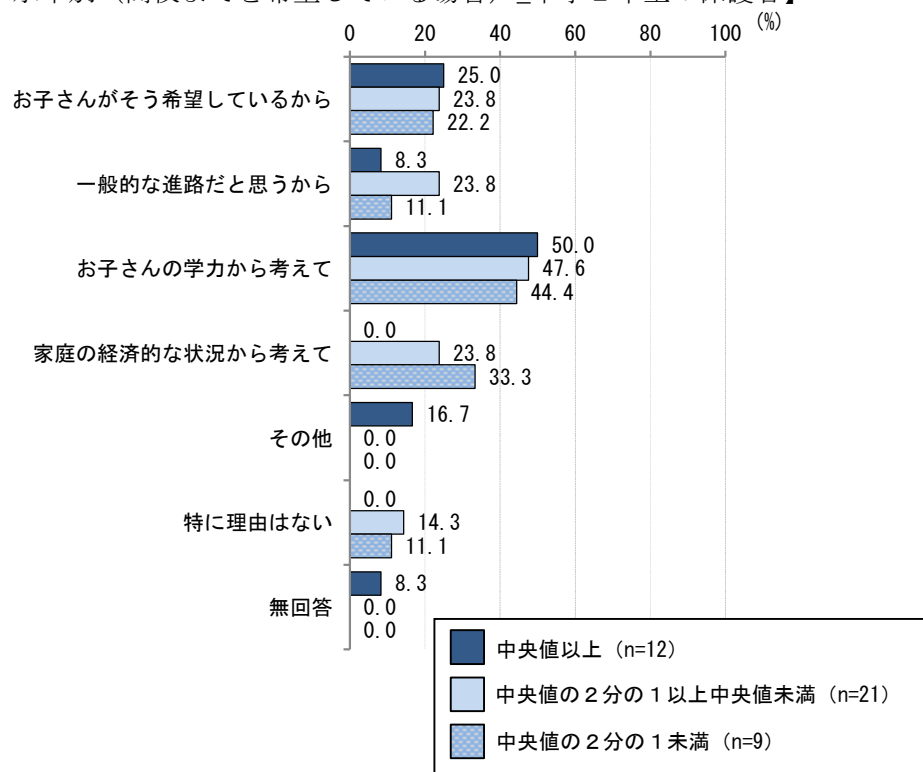
『高校まで』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「お子さんがそう希望しているから」が28.6%、「一般的な進路だと思うから」と「家庭の経済的な状況から考えて」がともに42.9%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別（高校までを希望している場合）_小学5年生の保護者】



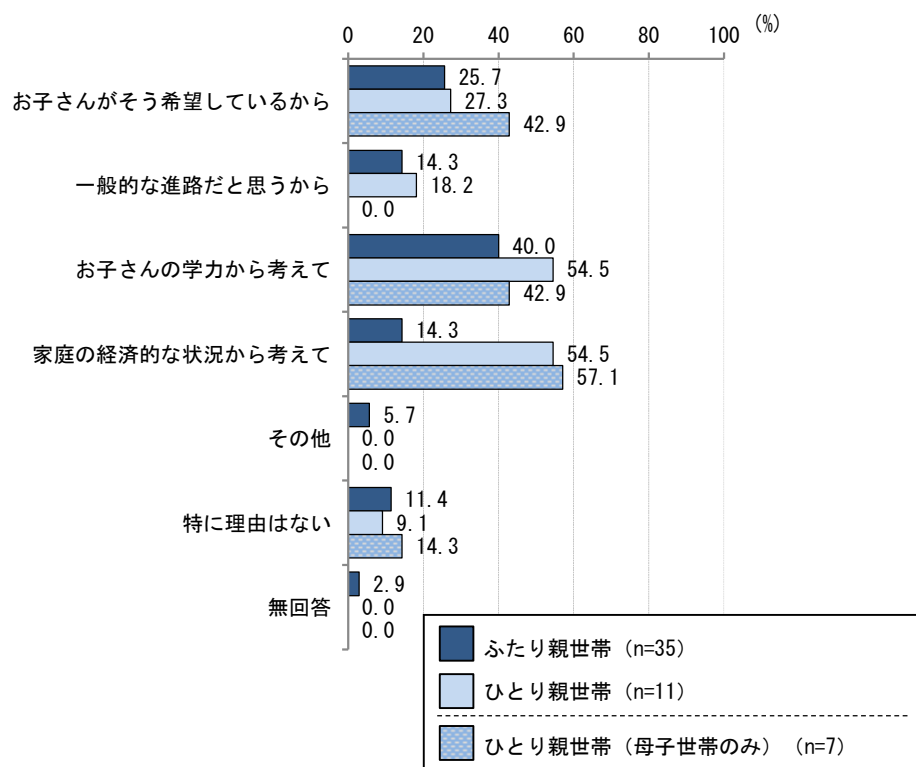
『高校まで』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「お子さんがそう希望しているから」が50.0%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別（高校までを希望している場合）_中学2年生の保護者】



『高校まで』と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「家庭の経済的な状況から考えて」が33.3%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別（高校までを希望している場合）_中学2年生の保護者】



『高校まで』と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「お子さんの学力から考えて」が54.5%、「家庭の経済的な状況から考えて」が54.5%と高くなっている。

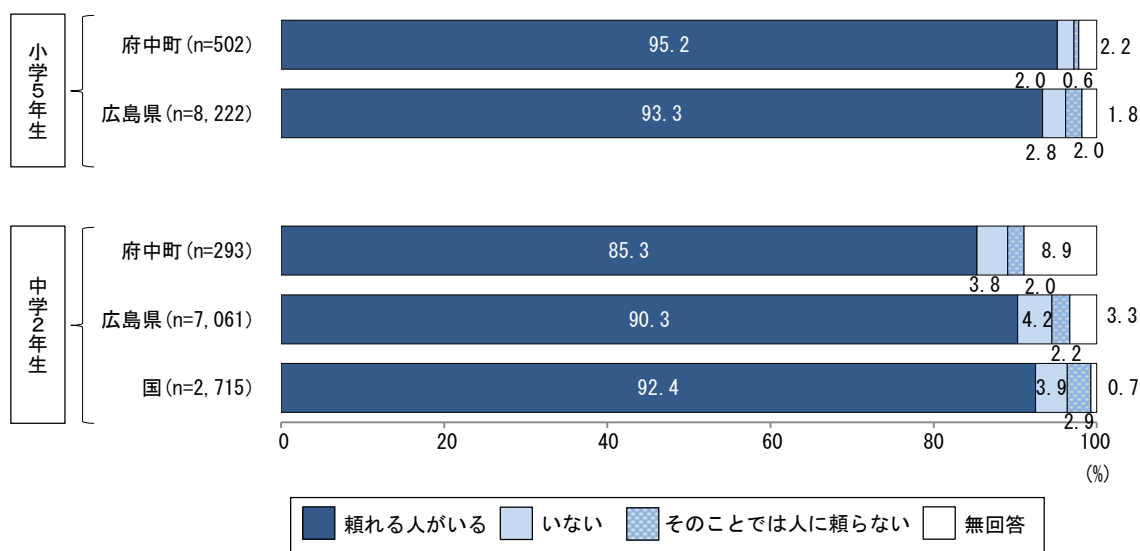
(7) 頼れる人の有無・相手

保護者票問 18. あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(SA)

また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(MA)

＝ 子育てに関する相談 ＝

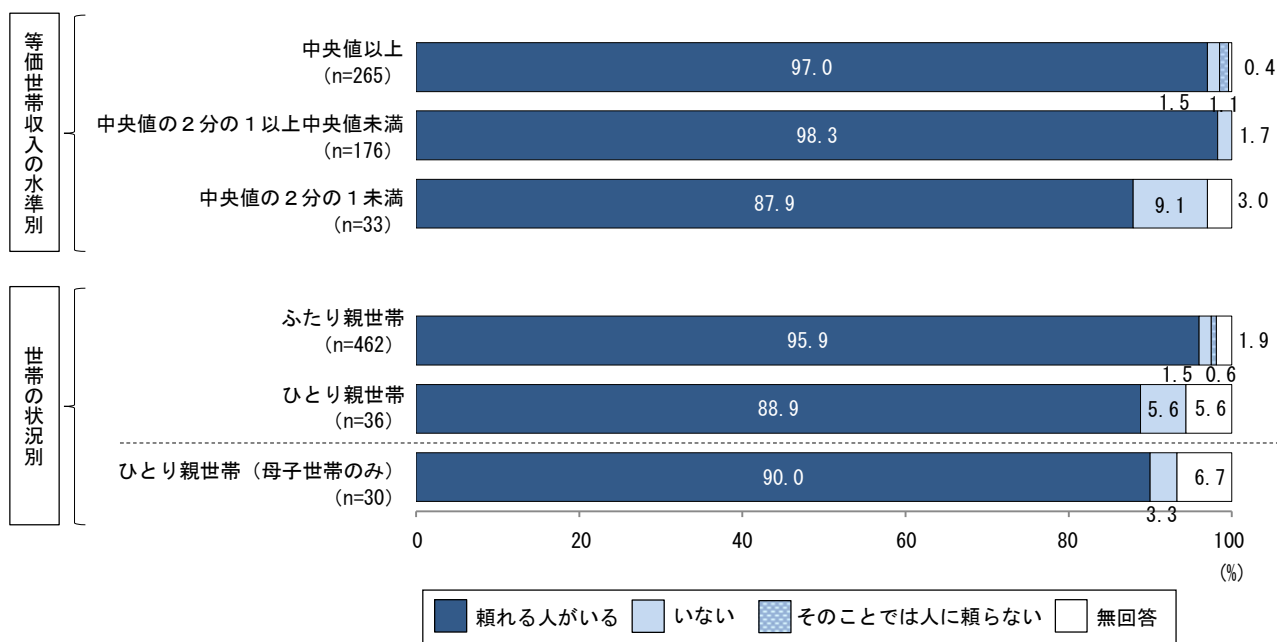
【全体】



子育てに関する相談について、小学5年生の保護者では、「頼れる人がいる」が95.2%、「いない」が2.0%、「そのことでは人に頼らない」が0.6%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「頼れる人がいる」が85.3%、「いない」が3.8%、「そのことでは人に頼らない」が2.0%となっている。広島県と比較すると、「頼れる人がいる」は、府中町（85.3%）が広島県（90.3%）を5.0ポイント下回っている。国と比較すると、「頼れる人がいる」は、府中町（85.3%）が国（92.4%）を7.1ポイント下回っている。

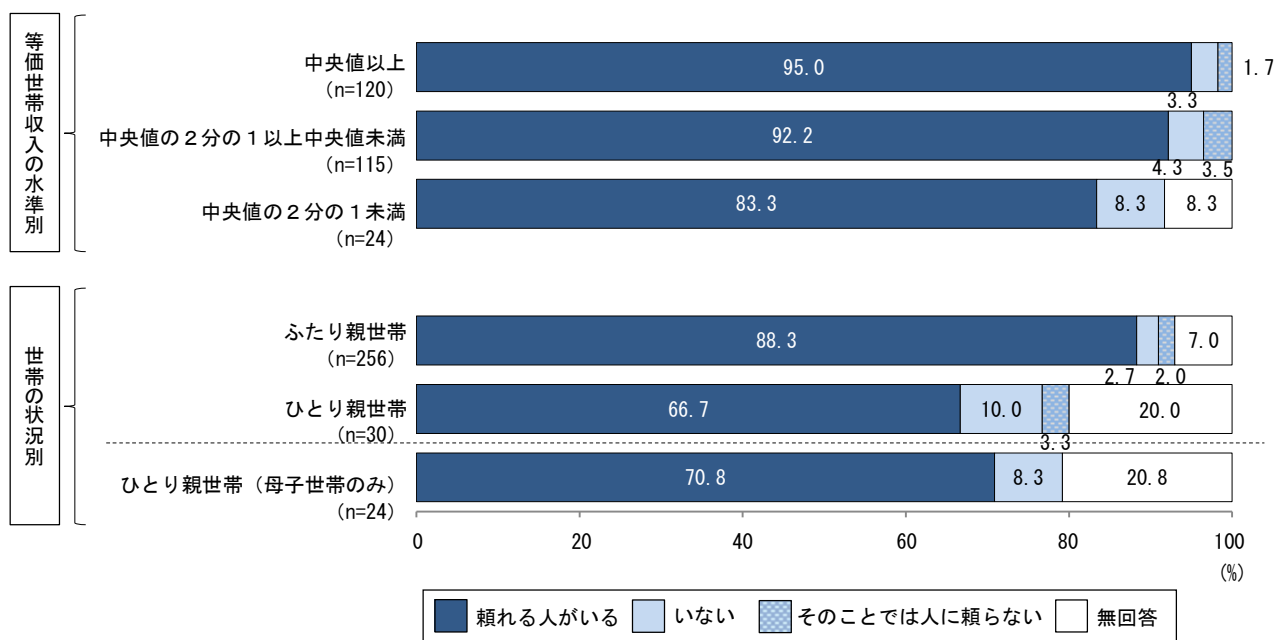
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では1.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では1.7%、「中央値の2分の1未満」では9.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では1.5%、「ひとり親世帯全体」では5.6%、「母子世帯のみ」では3.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

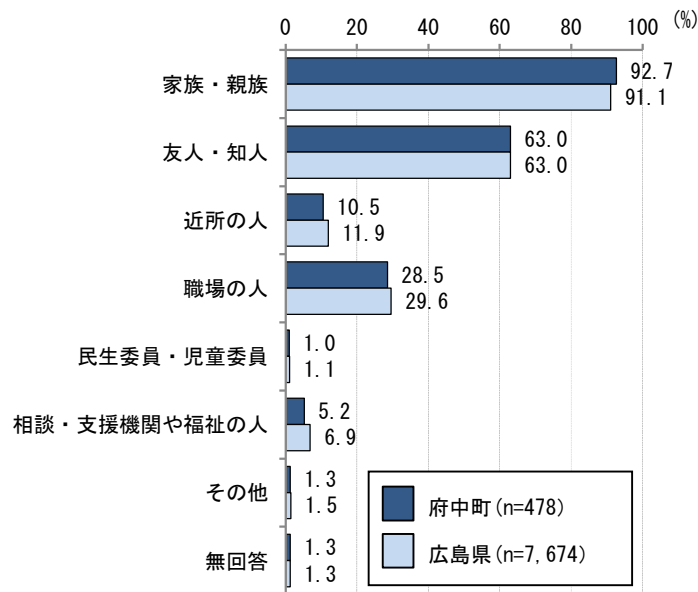


等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では3.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では4.3%、「中央値の2分の1未満」では8.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では2.7%、「ひとり親世帯全体」では10.0%、「母子世帯のみ」では8.3%となっている。

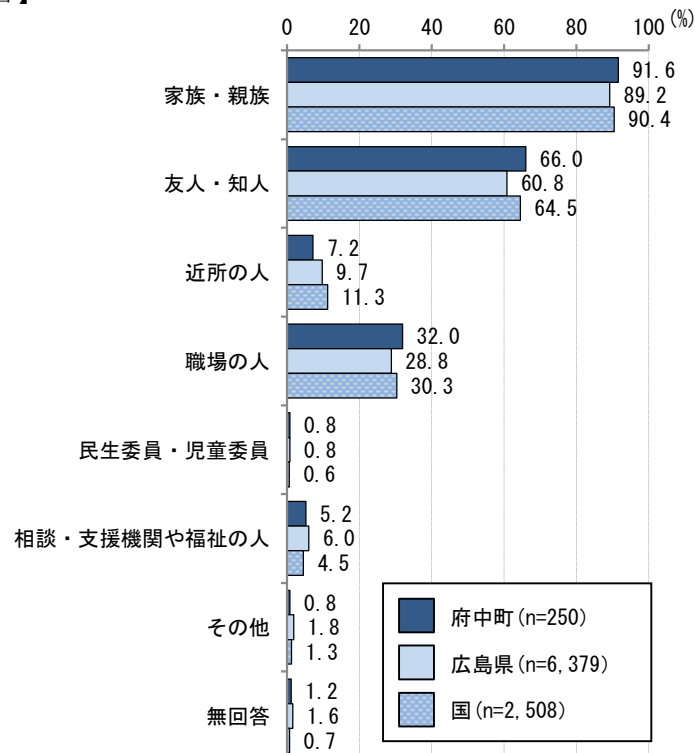
<「頼れる人がある」と回答した場合の相談相手>

【小学5年生の保護者】



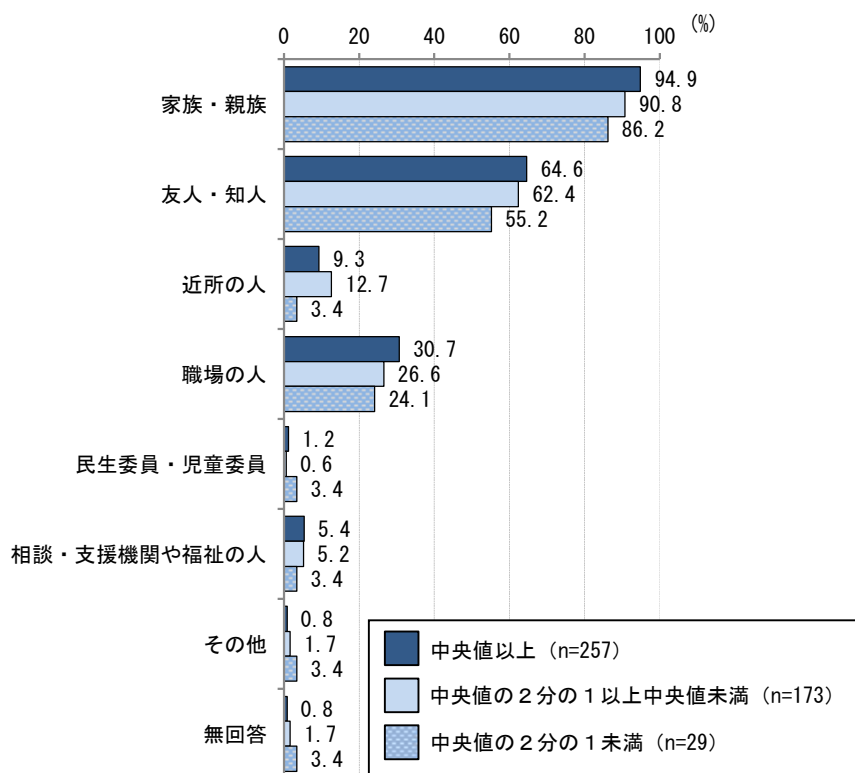
「頼れる人がある」と回答した場合の相談相手について、小学5年生の保護者では、「家族・親族」が92.7%と最も高く、次いで「友人・知人」が63.0%、「職場の人」が28.5%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【中学2年生の保護者】



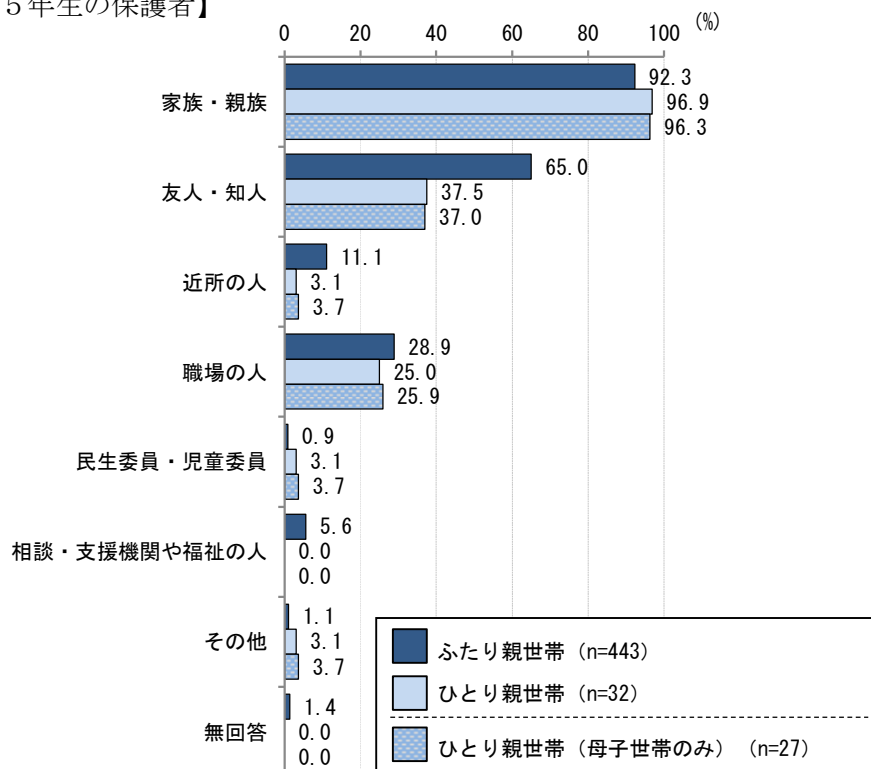
「頼れる人がある」と回答した場合の相談相手について、中学2年生の保護者では、「家族・親族」が91.6%と最も高く、次いで「友人・知人」が66.0%、「職場の人」が32.0%などの順となっている。広島県と比較すると、「友人・知人」は、府中町（66.0%）が広島県（60.8%）を5.2ポイント上回っている。国と比較すると、大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生の保護者】



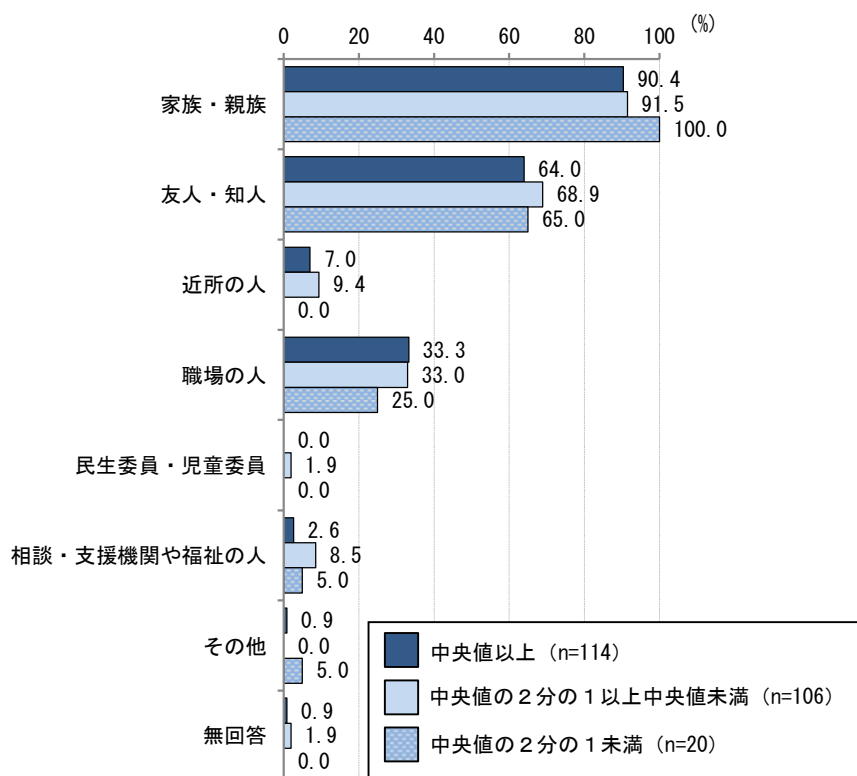
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「家族・親族」が86.2%、「友人・知人」が55.2%、「近所の人」が3.4%、「職場の人」が24.1%と他の世帯と比べて低くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生の保護者】



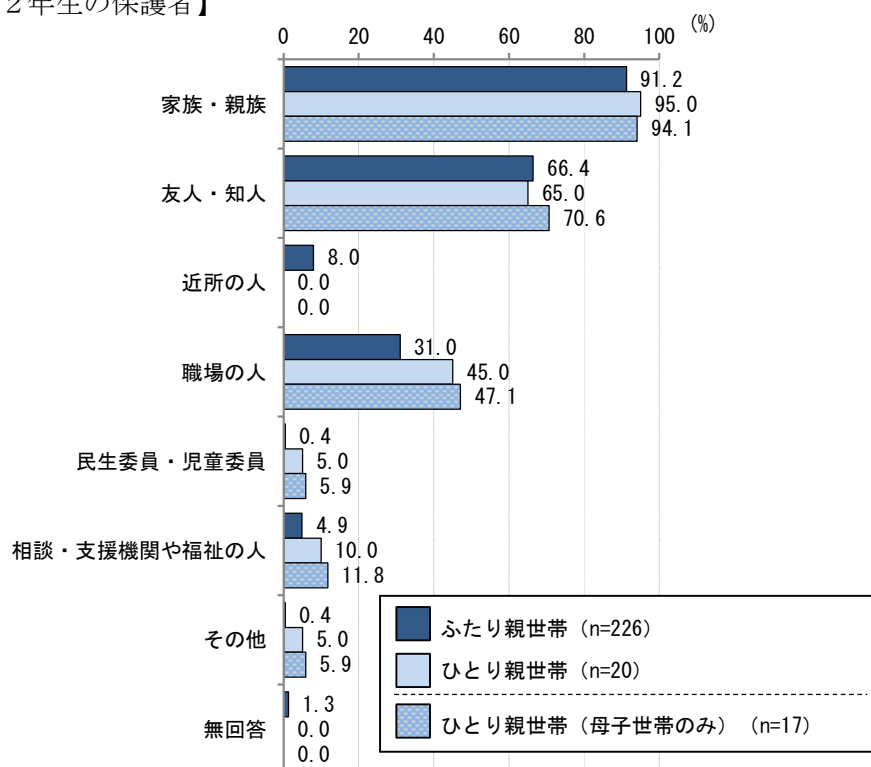
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「友人・知人」が37.5%、「近所の人」が3.1%と低くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生の保護者】



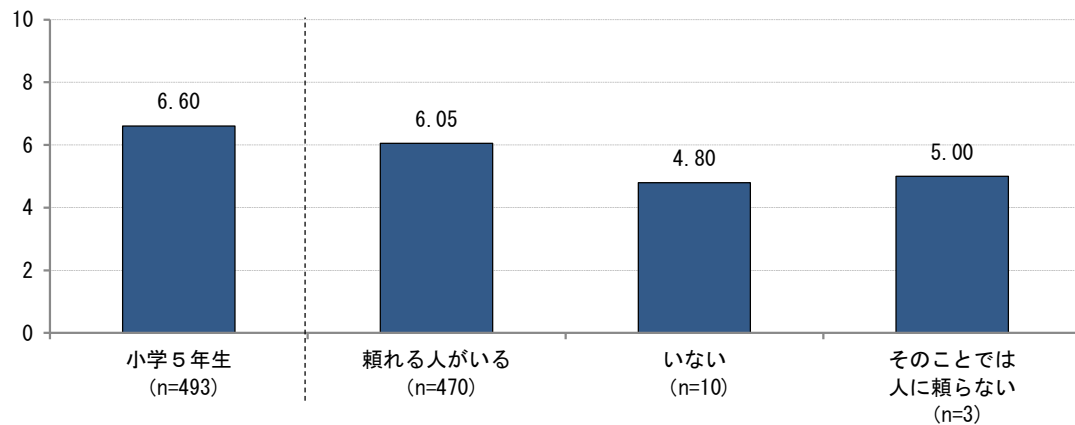
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「職場の人」が25.0%と他の世帯と比べて低くなっている。一方で、「家族・親族」は100%と高くなっている。

【世帯の状況別_中学2年生の保護者】



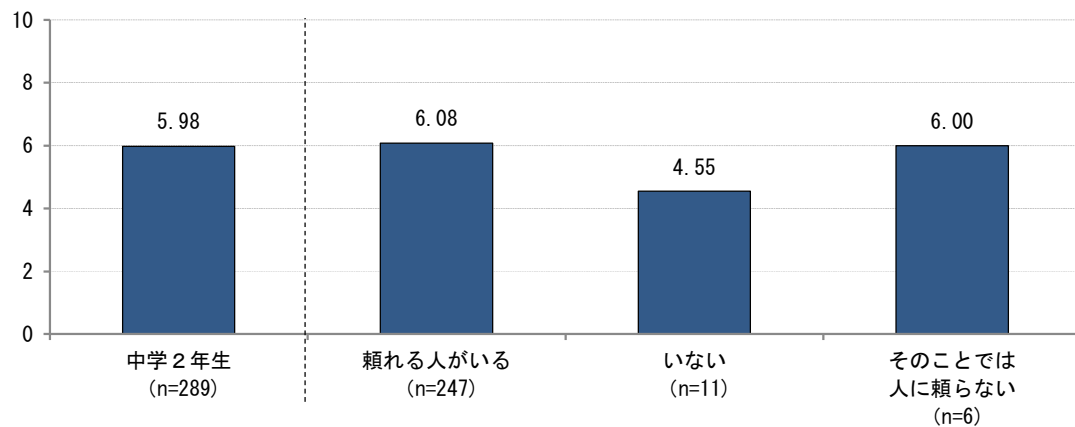
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて「職場の人」が45.0%、「相談・支援機関や福祉の人」が10.0%と高くなっている。

【子育てに関する相談をできる人の有無別 生活満足度_小学5年生の保護者】



子育てに関する相談をできる人の有無別にみると、保護者の生活の満足度の平均値は、「いない」(4.80)が「頼れる人がいる」(6.05)を1.25点下回っている。

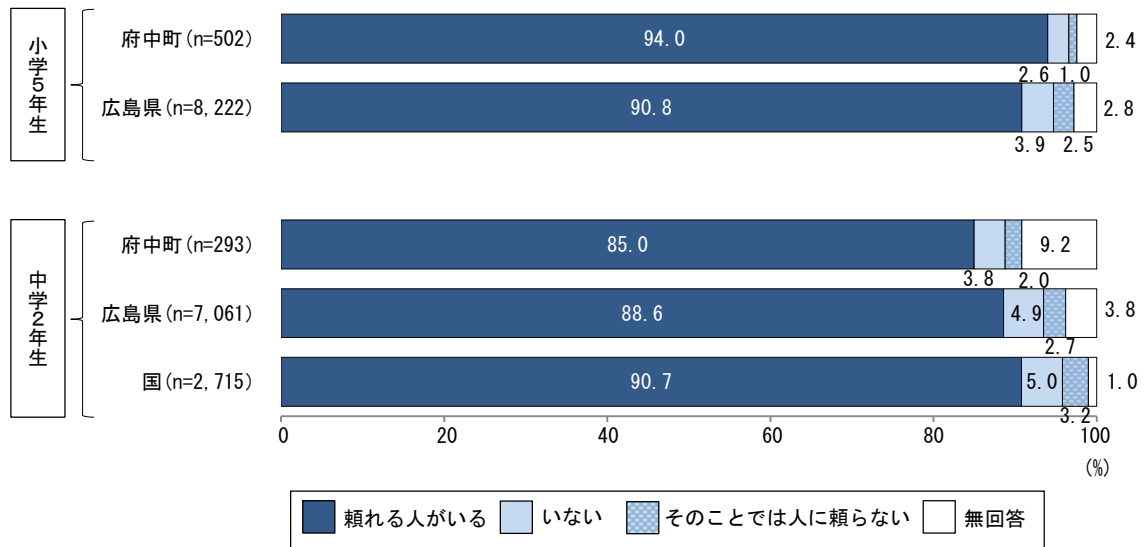
【子育てに関する相談をできる人の有無別 生活満足度_中学2年生の保護者】



子育てに関する相談をできる人の有無別にみると、保護者の生活の満足度の平均値は、「いない」(4.55)が「頼れる人がいる」(6.08)を1.53点下回っている。

= 重要な事柄の相談 =

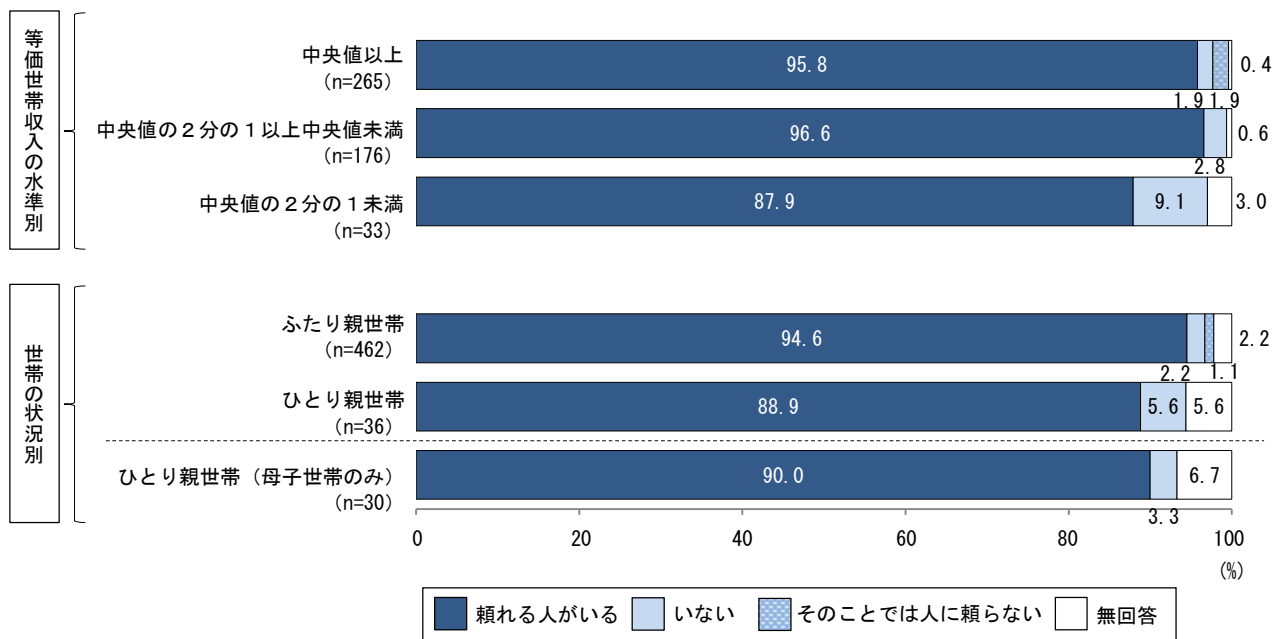
【全体】



重要な事柄の相談について、小学5年生の保護者では、「頼れる人がいる」が94.0%、「いない」が2.6%、「そのことでは人に頼らない」が1.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「頼れる人がいる」が85.0%、「いない」が3.8%、「そのことでは人に頼らない」が2.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「そのことでは人に頼らない」は、府中町（85.0%）が国（90.7%）を5.7ポイント下回っている。

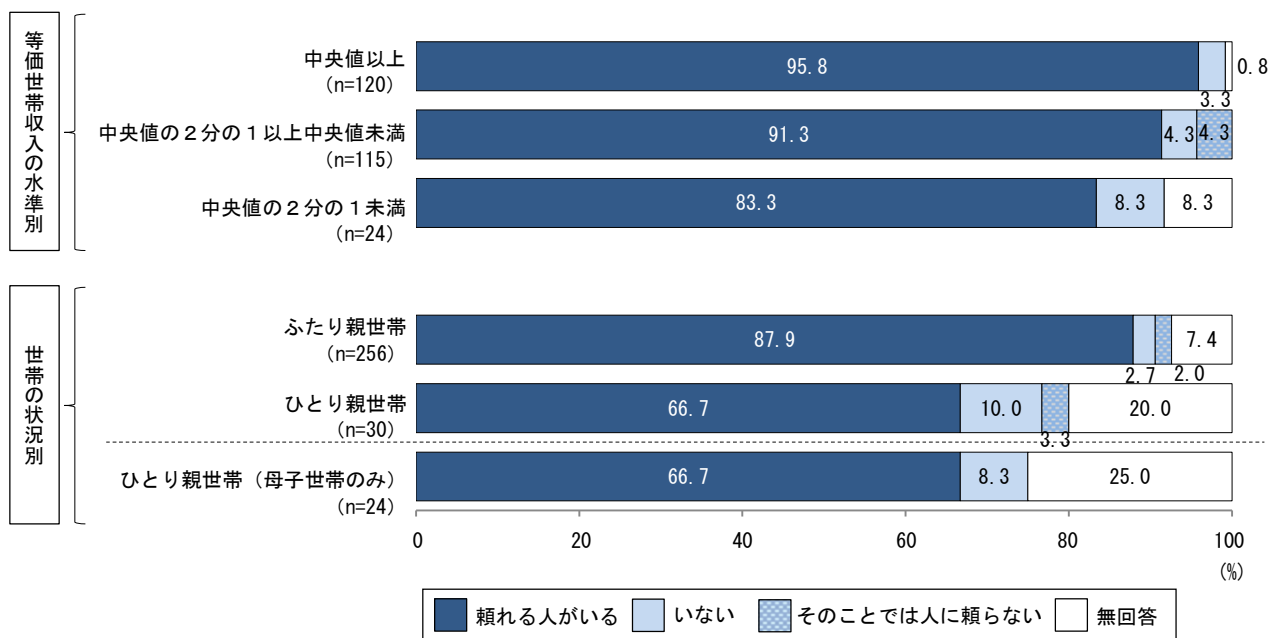
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では1.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では2.8%、「中央値の2分の1未満」では9.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では2.2%、「ひとり親世帯全体」では5.6%、「母子世帯のみ」では3.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

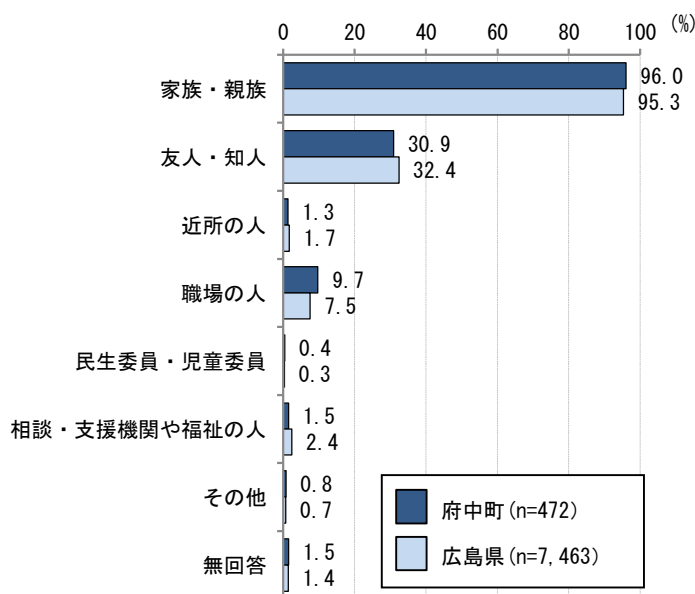


等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では3.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では4.3%、「中央値の2分の1未満」では8.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では2.7%、「ひとり親世帯全体」では10.0%、「母子世帯のみ」では8.3%となっている。

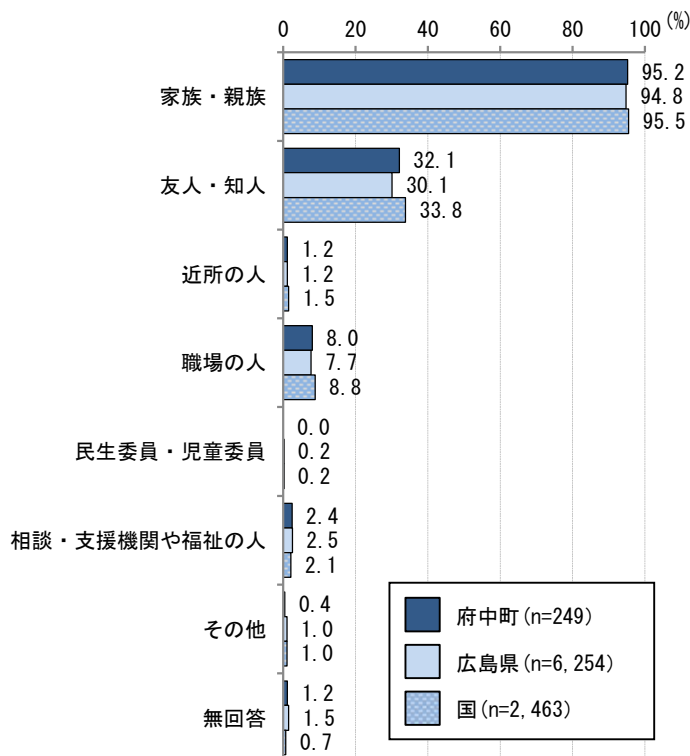
<「頼れる人がある」と回答した場合の相談相手>

【小学5年生の保護者】



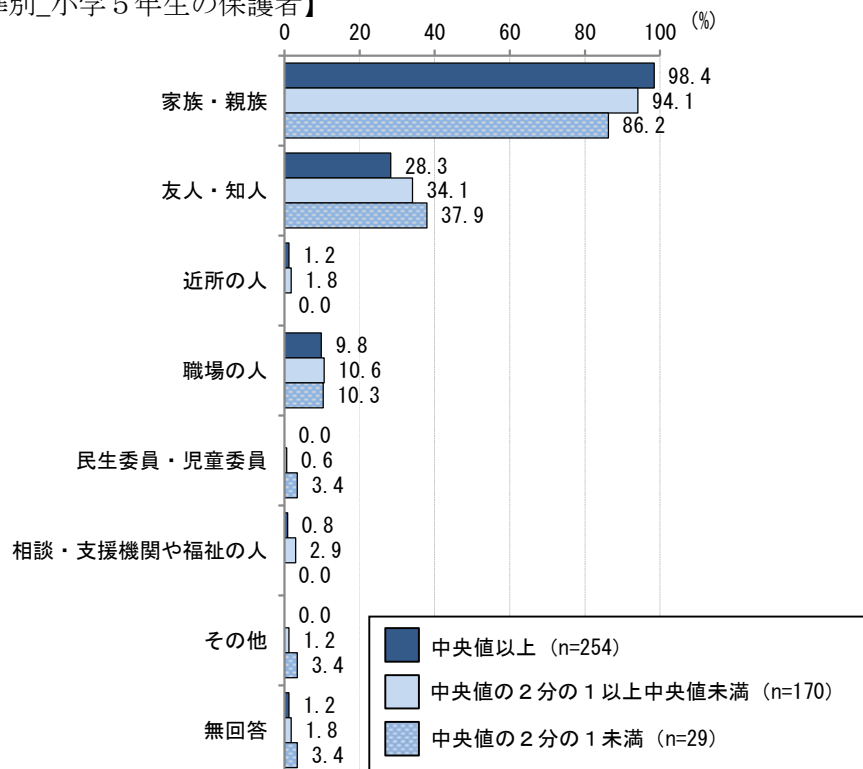
「頼れる人がある」と回答した場合の相談相手について、小学5年生の保護者では、「家族・親族」が96.0%と最も高く、次いで「友人・知人」が30.9%、「職場の人」が9.7%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【中学2年生の保護者】



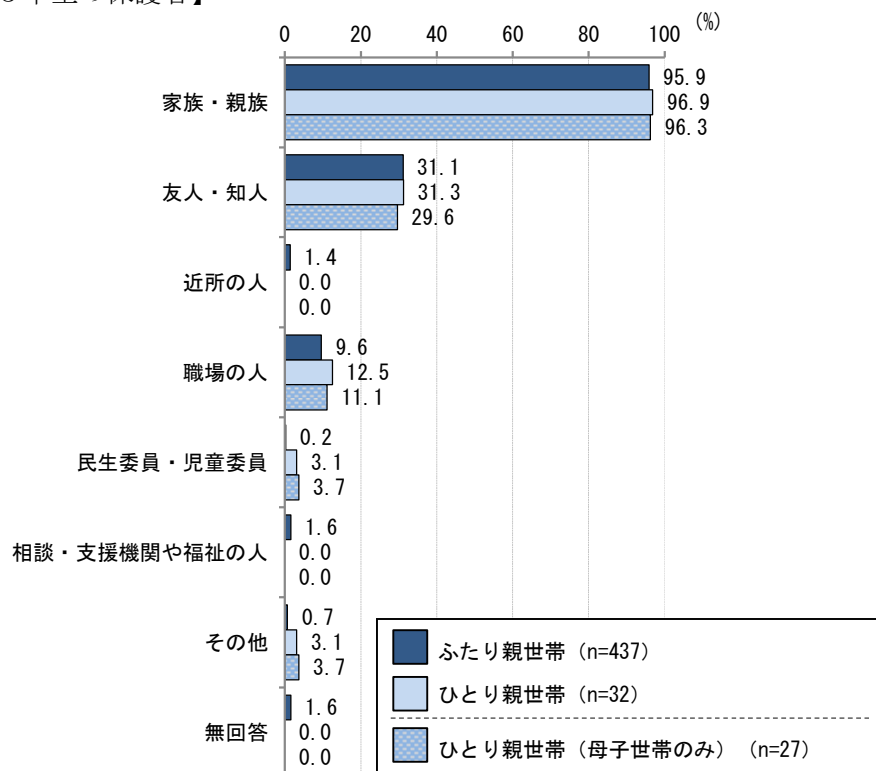
「頼れる人がある」と回答した場合の相談相手について、中学2年生の保護者では、「家族・親族」が95.2%と最も高く、次いで「友人・知人」が32.1%、「職場の人」が8.0%などの順となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生の保護者】



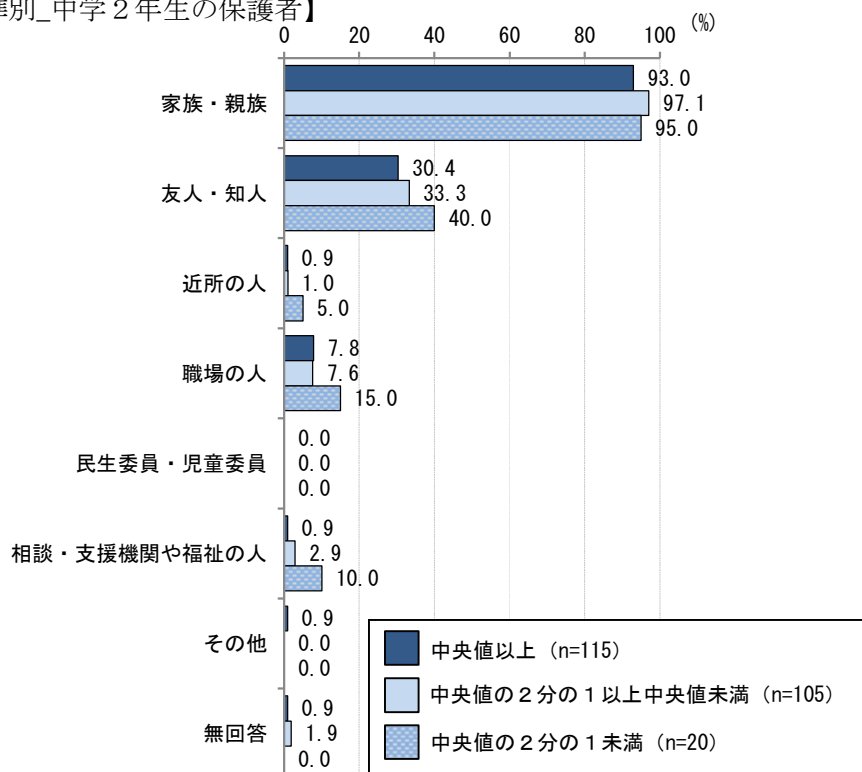
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「友人・知人」は37.9%と高くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生の保護者】



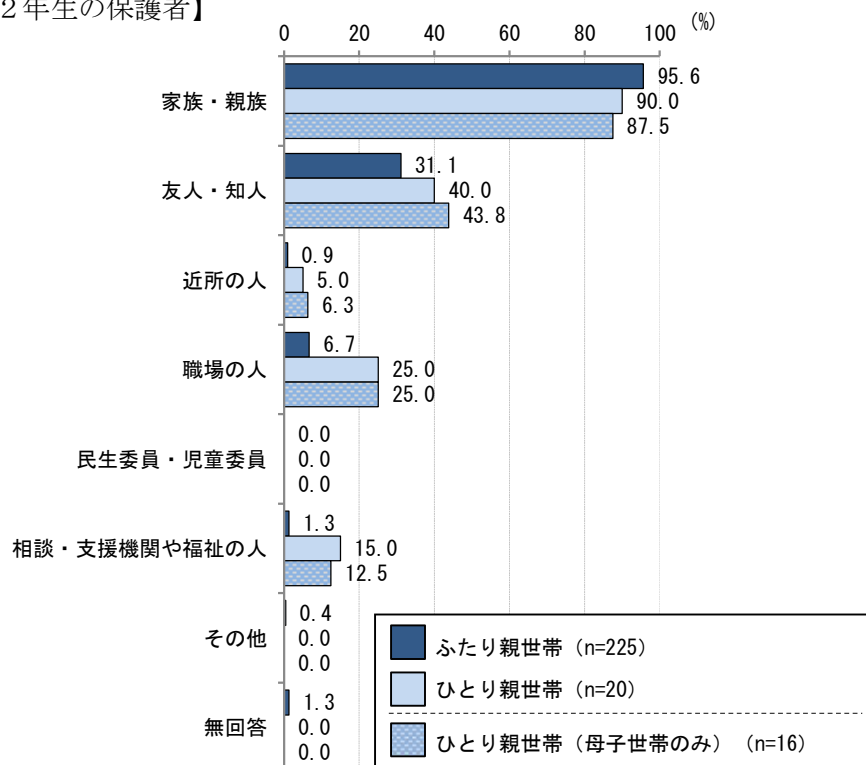
世帯の状況別にみると、「家族・親族」は、「ふたり親世帯」では95.9%、「ひとり親世帯全体」では96.9%、「母子世帯のみ」では96.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「友人・知人」が40.0%、「職場の人」が15.0%、「相談・支援機関や福祉の人」が10.0%と他の世帯と比べて高くなっている。

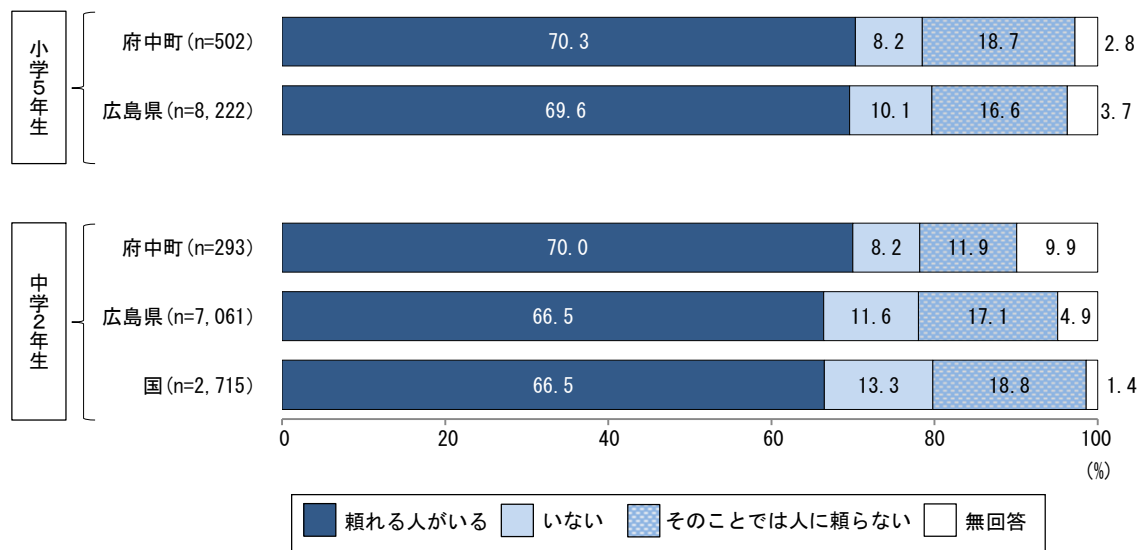
【世帯の状況別_中学2年生の保護者】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「家族・親族」が90.0%と低くなっている。一方で、「友人・知人」は40.0%、「職場の人」は25.0%、「相談・支援機関や福祉の人」は15.0%と高くなっている。

= いざという時のお金の援助 =

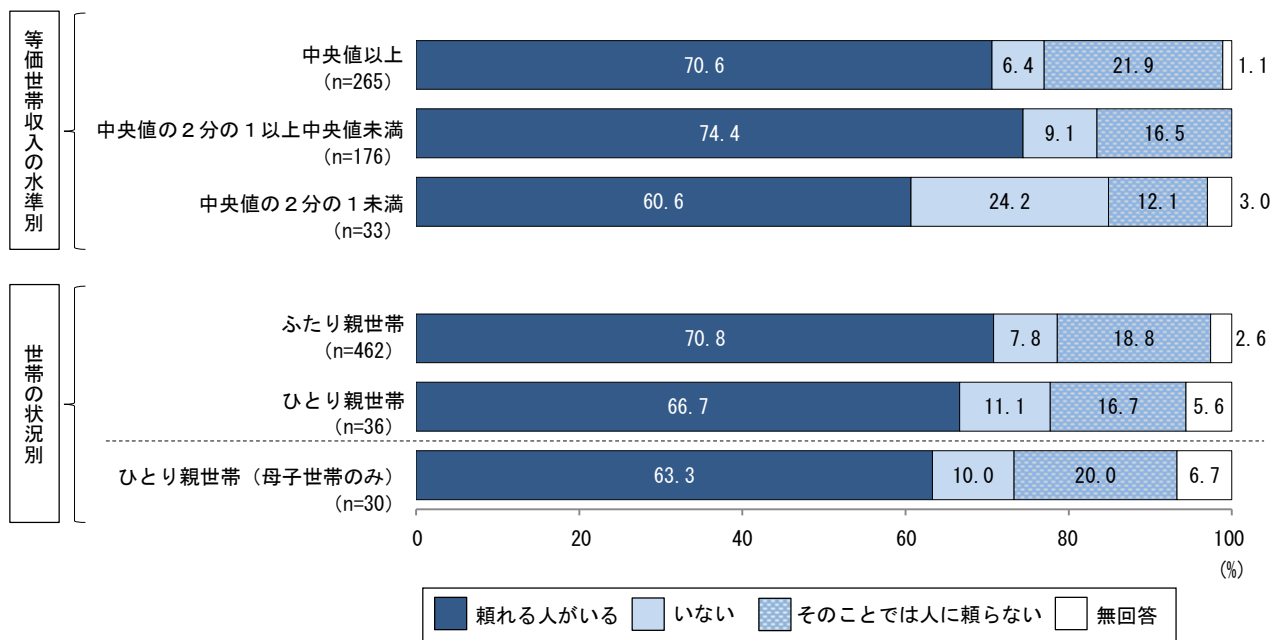
【全体】



いざという時のお金の援助について、小学5年生の保護者では、「頼れる人がいる」が70.3%、「いない」が8.2%、「そのことでは人に頼らない」が18.7%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「頼れる人がいる」が70.0%、「いない」が8.2%、「そのことでは人に頼らない」が11.9%となっている。広島県と比較すると、「そのことでは人に頼らない」は、府中町（11.9%）が広島県（17.1%）を5.2ポイント下回っている。国と比較すると、「いない」は、府中町（8.2%）が国（13.3%）を5.1ポイント、「そのことでは人に頼らない」は、府中町（11.9%）が国（18.8%）を6.9ポイント下回っている。

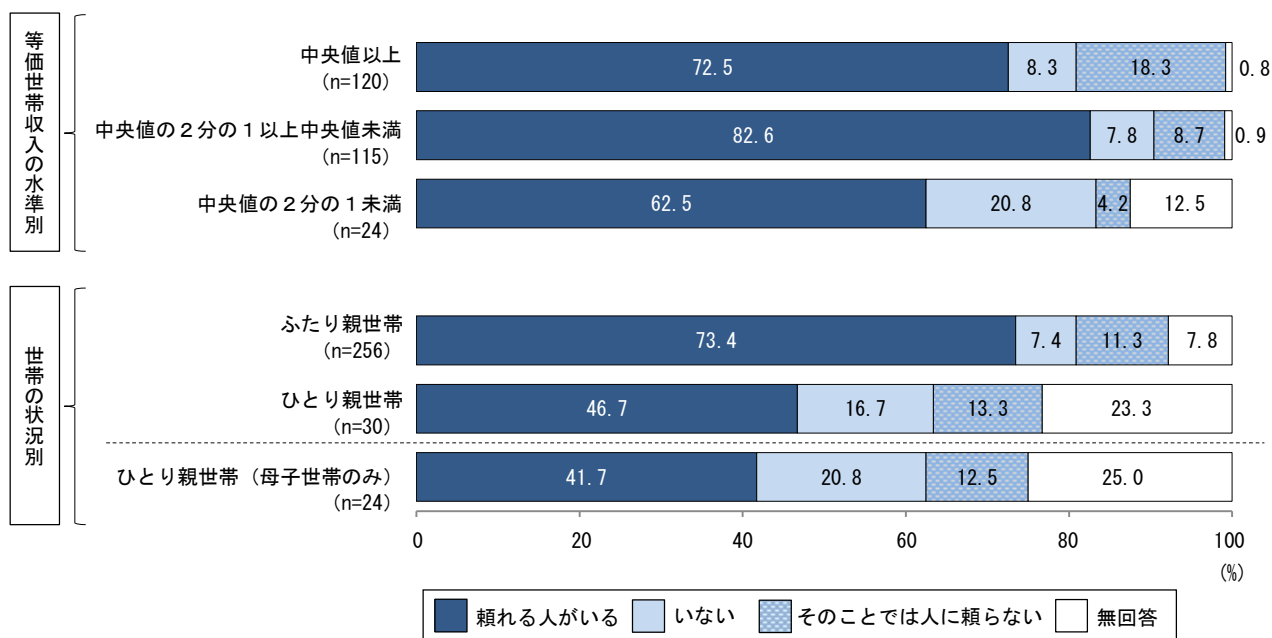
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では6.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では9.1%、「中央値の2分の1未満」では24.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では7.8%、「ひとり親世帯全体」では11.1%、「母子世帯のみ」では10.0%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

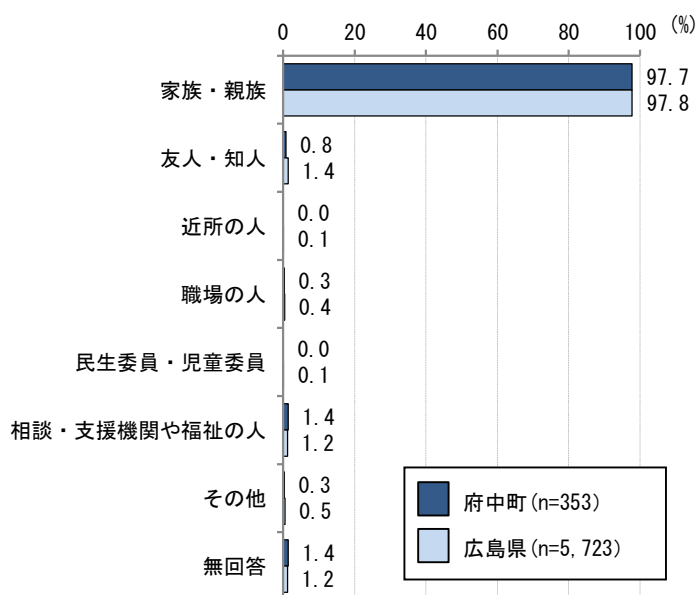


等価世帯収入の水準別にみると、「いない」は、「中央値以上」では8.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では7.8%、「中央値の2分の1未満」では20.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「いない」は、「ふたり親世帯」では7.4%、「ひとり親世帯全体」では16.7%、「母子世帯のみ」では20.8%となっている。

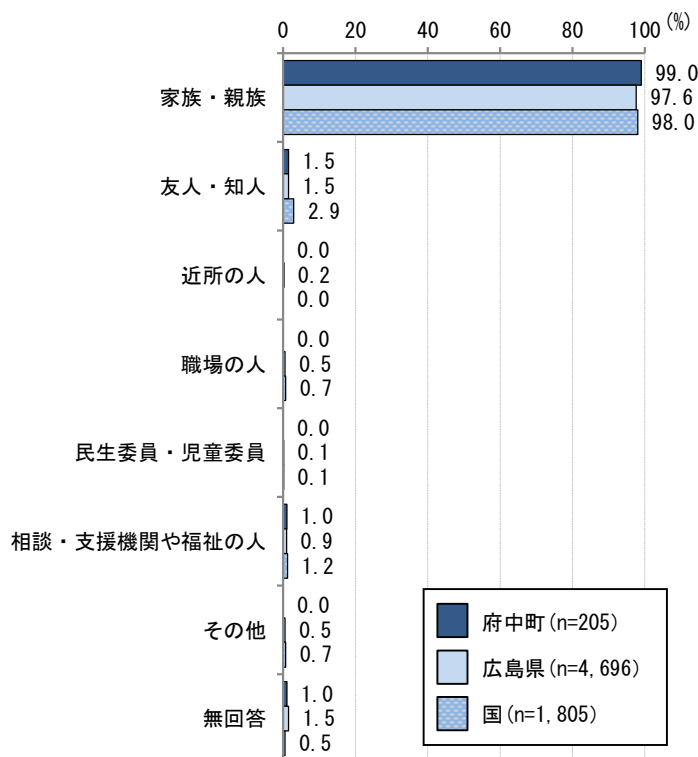
<「頼れる人がある」と回答した場合の相談相手>

【小学5年生の保護者】



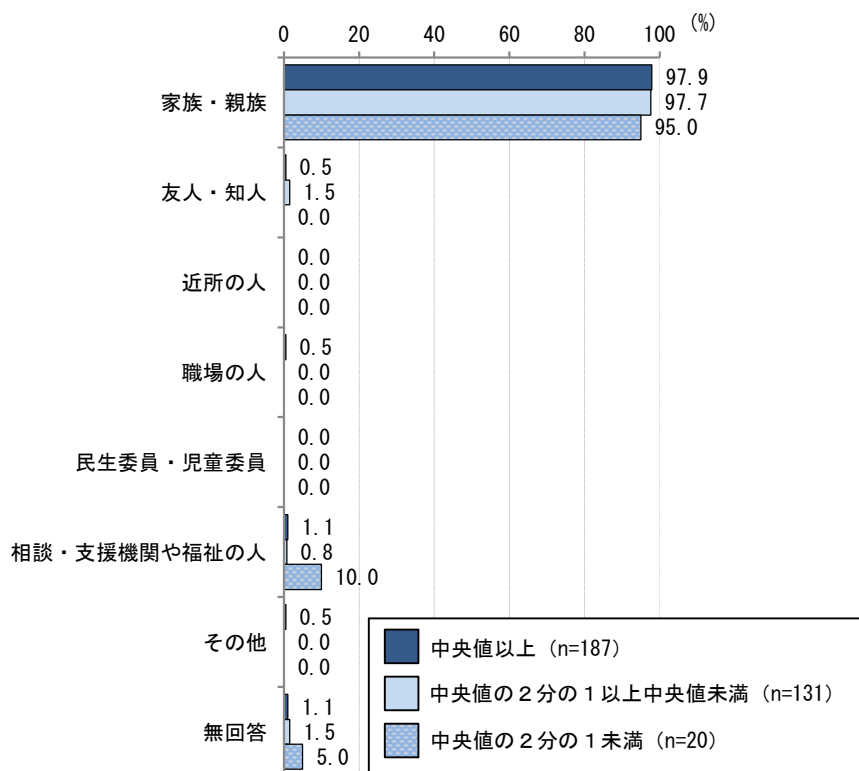
「頼れる人がある」と回答した場合の相談相手について、小学5年生の保護者では、「家族・親族」が97.7%と最も高く、次いで「相談・支援機関や福祉の人」が1.4%、「友人・知人」が0.8%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

【中学2年生の保護者】



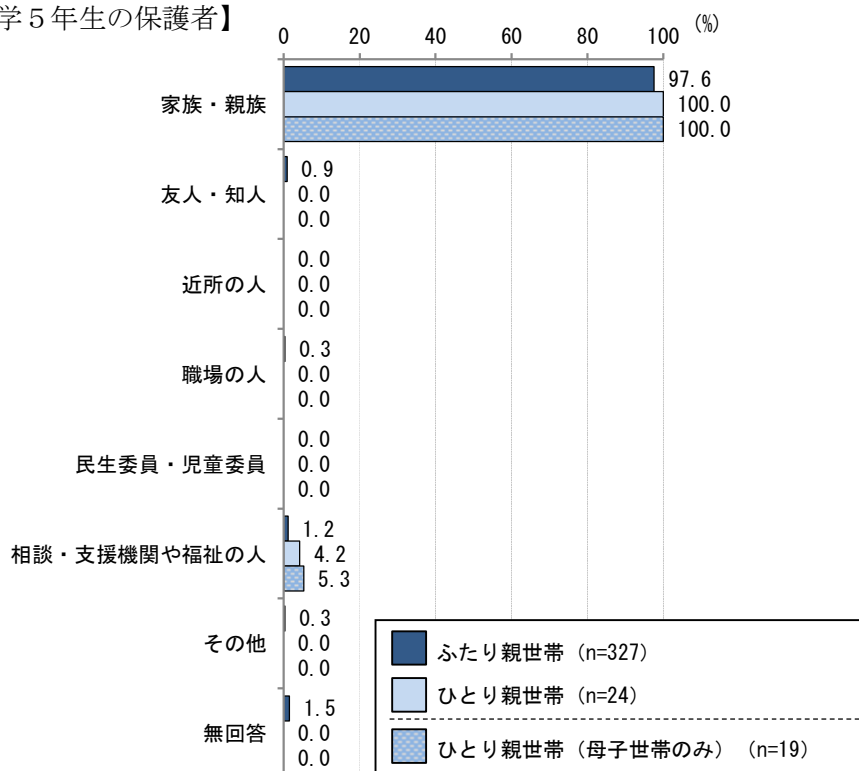
「頼れる人がある」と回答した場合の相談相手について、中学2年生の保護者では、「家族・親族」が99.0%と最も高く、次いで「友人・知人」が1.5%、「相談・支援機関や福祉の人」が1.0%などの順となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生の保護者】



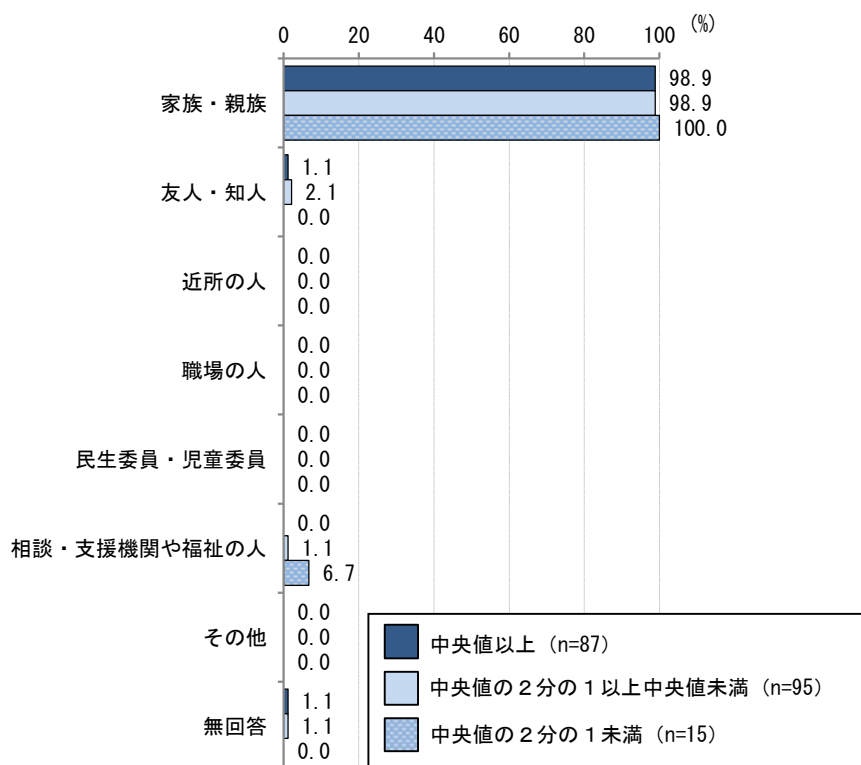
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「相談・支援機関や福祉の人」が10.0%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生の保護者】



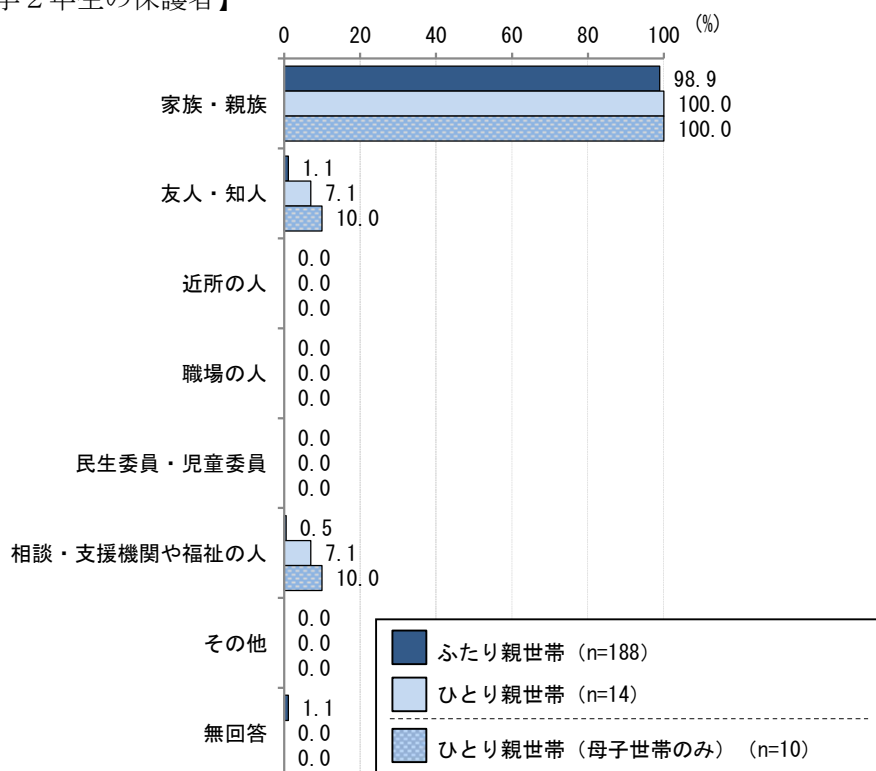
世帯の状況別にみると、「家族・親族」は、「ふたり親世帯」では97.6%、「ひとり親世帯全体」では100%、「母子世帯のみ」では100%となっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「相談・支援機関や福祉の人」が6.7%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_中学2年生の保護者】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「友人・知人」と「相談・支援機関や福祉の人」がともに7.1%と高くなっている。

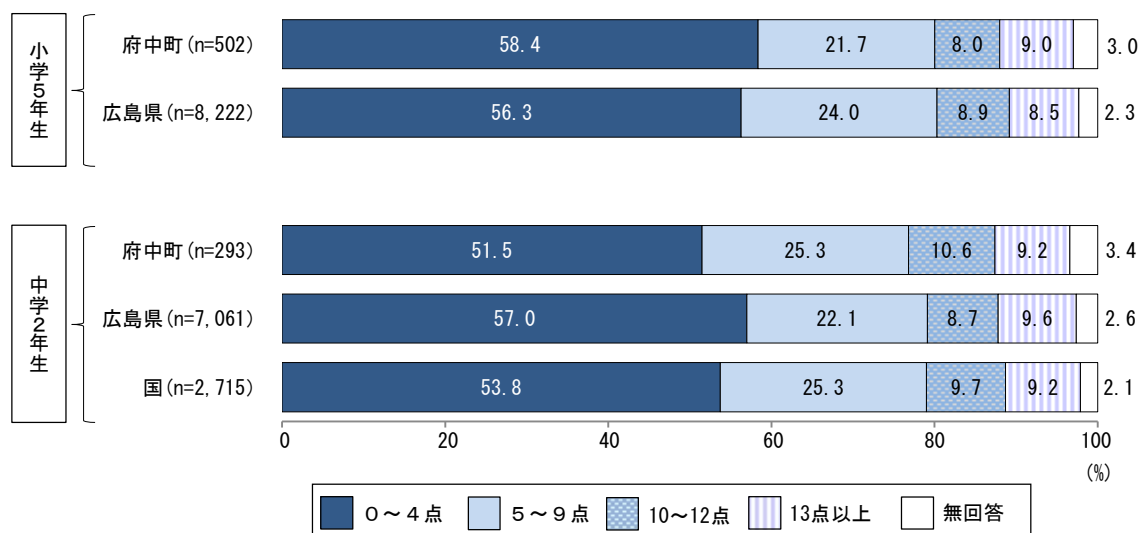
(8) 保護者の心理的な状態

保護者票問 24. 次の a～f の質問について、この 1 か月間のあなたの気持ちはどのようなでしたか。(SA)

- a. 神経過敏に感じた
- b. 絶望的だと感じた
- c. そわそわ、落ち着かなく感じた
- d. 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた
- e. 何をするのも面倒だと感じた
- f. 自分は価値のない人間だと感じた

「保護者の心理的な状態」に関して、本調査では「K6」と呼ばれる指標を把握するための 6 つの項目を設定した。採点方法は、1 つの質問ごとに 0 点（「5 まったくない」）から 4 点（「1 いつも」）を振り、0 点から 24 点で合計を計算した。高くなるほど抑うつ状態が強いことを示している。

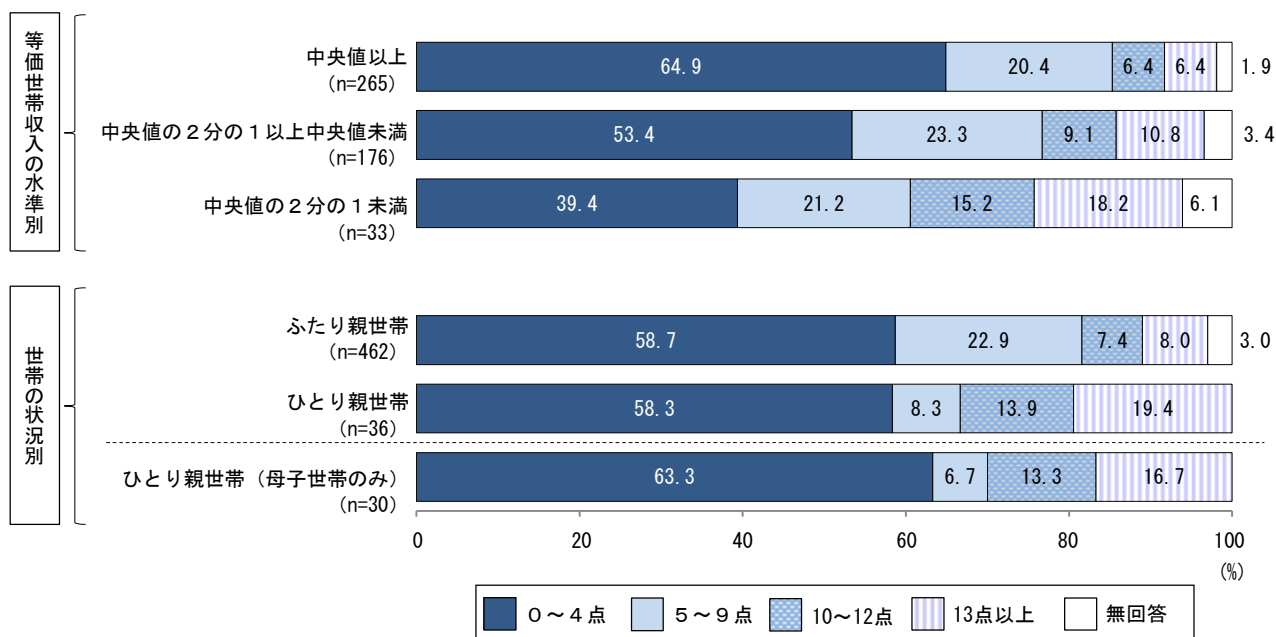
【全体】



K6 のスコアについて、小学 5 年生の保護者では、「うつ・不安障害相当」とされている「13 点以上」は 9.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学 2 年生の保護者では、「13 点以上」は 9.2%となっている。広島県、国と比較すると、「13 点以上」はどちらも大きな差はみられない。

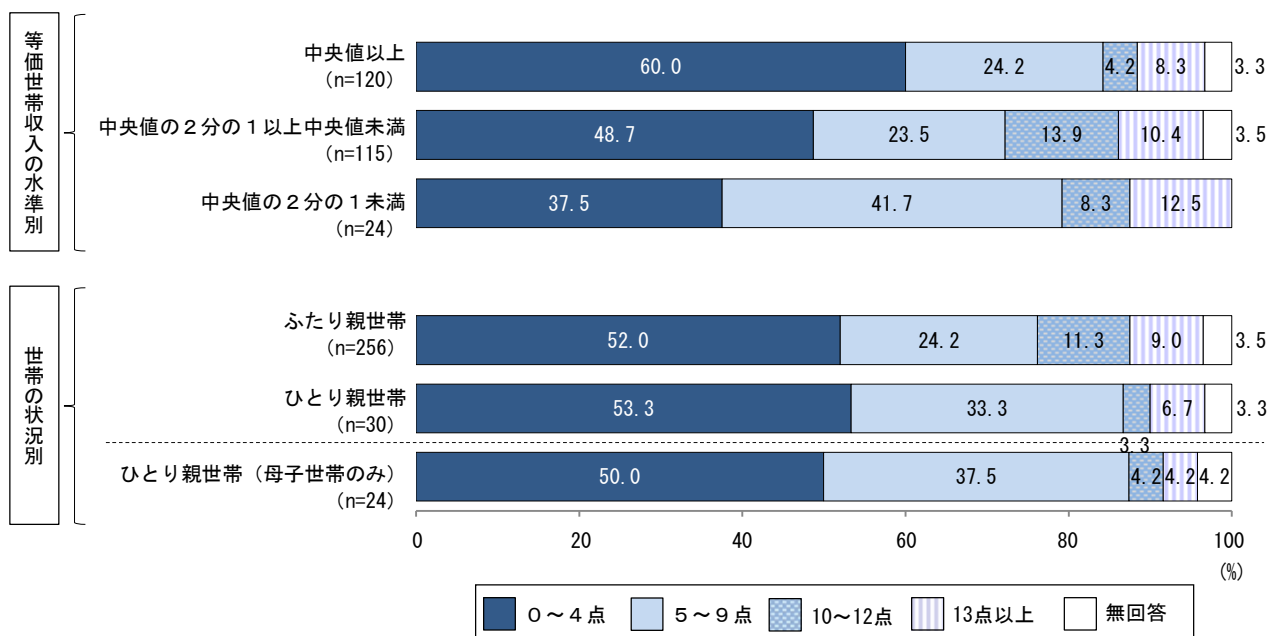
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「13点以上」は、「中央値以上」では6.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では10.8%、「中央値の2分の1未満」では18.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「13点以上」は、「ふたり親世帯」では8.0%、「ひとり親世帯全体」では19.4%、「母子世帯のみ」では16.7%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】

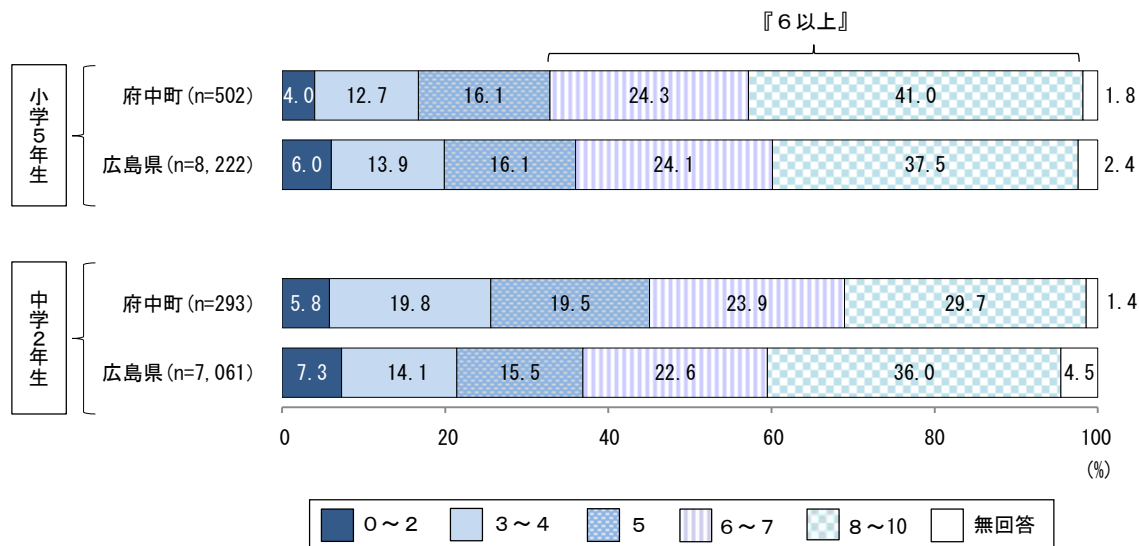


等価世帯収入の水準別にみると、「13点以上」は、「中央値以上」では8.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では10.4%、「中央値の2分の1未満」では12.5%となっている。

世帯の状況別にみると、「13点以上」は、「ふたり親世帯」では9.0%、「ひとり親世帯全体」では6.7%、「母子世帯のみ」では4.2%となっている。

保護者票問 25. 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。(SA)
「0」(まったく満足していない) から「10」(十分に満足している) の数字で答えてください。

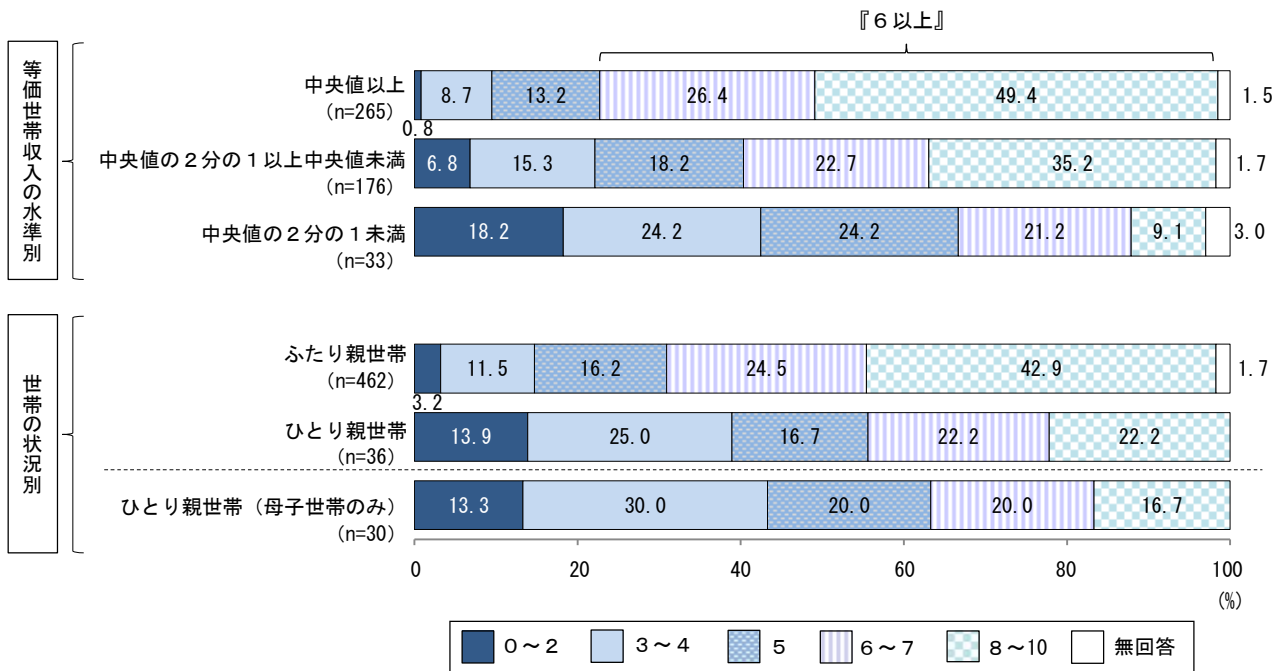
【全体】



最近の生活の満足度について、小学5年生の保護者では、「0~2」が4.0%、「3~4」が12.7%、「5」が16.1%、「6~7」が24.3%、「8~10」が41.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「0~2」が5.8%、「3~4」が19.8%、「5」が19.5%、「6~7」が23.9%、「8~10」が29.7%となっている。広島県と比較すると、「3~4」は、府中町(19.8%)が広島県(14.1%)を5.7ポイント上回っており、「8~10」は、府中町(29.7%)が広島県(36.0%)を6.3ポイント下回っている。

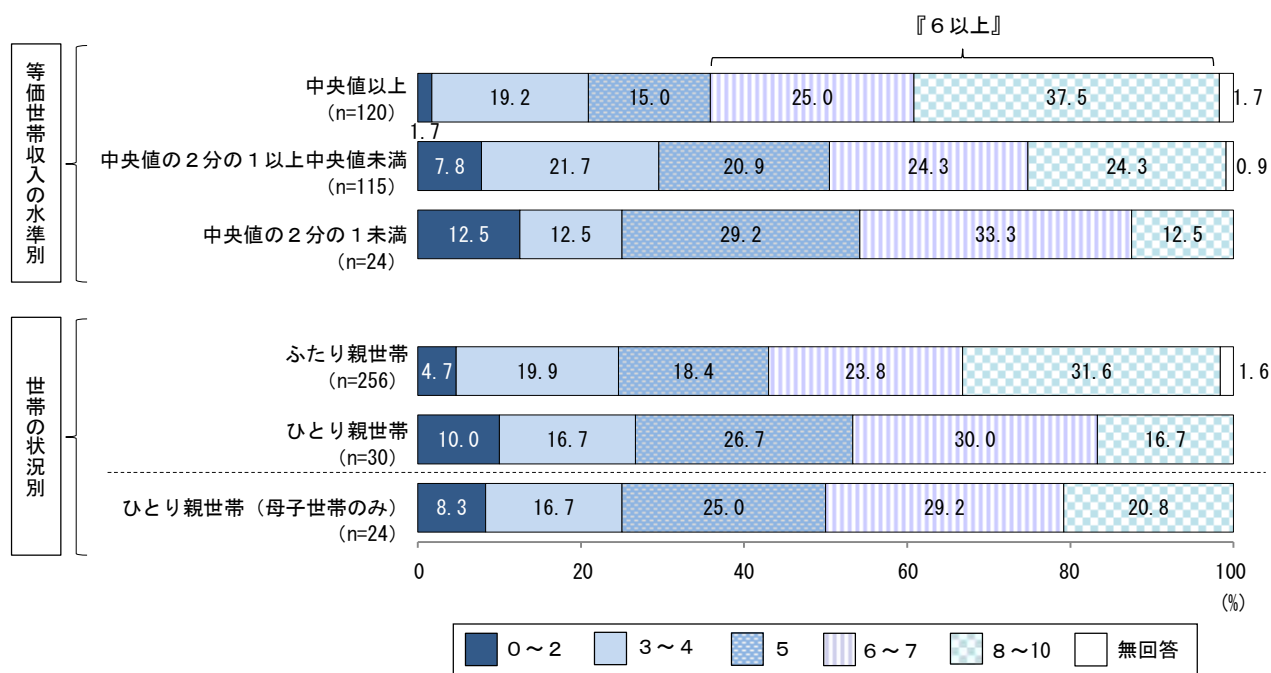
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、『6以上』は、「中央値以上」では75.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では57.9%、「中央値の2分の1未満」では30.3%となっている。

世帯の状況別にみると、『6以上』は、「ふたり親世帯」では67.4%、「ひとり親世帯全体」では44.4%、「母子世帯のみ」では36.7%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



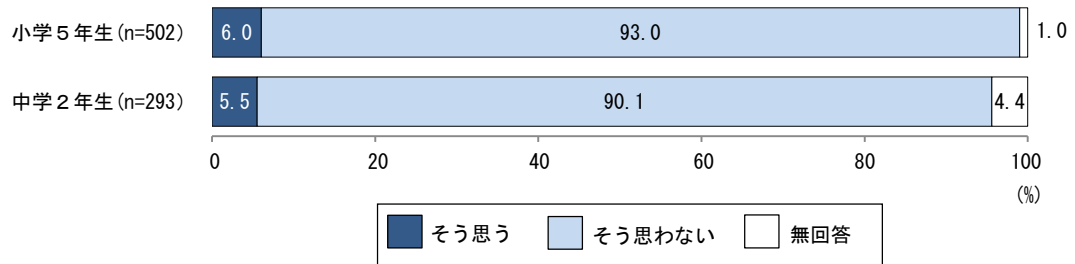
等価世帯収入の水準別にみると、『6以上』は、「中央値以上」では62.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では48.6%、「中央値の2分の1未満」では45.8%となっている。

世帯の状況別にみると、『6以上』は、「ふたり親世帯」では55.4%、「ひとり親世帯全体」では46.7%、「母子世帯のみ」では50.0%となっている。

(9) ヤングケアラーの意識

保護者票問 29. あなたは子どもの頃、自分自身がヤングケアラーであったと思いますか。(SA)

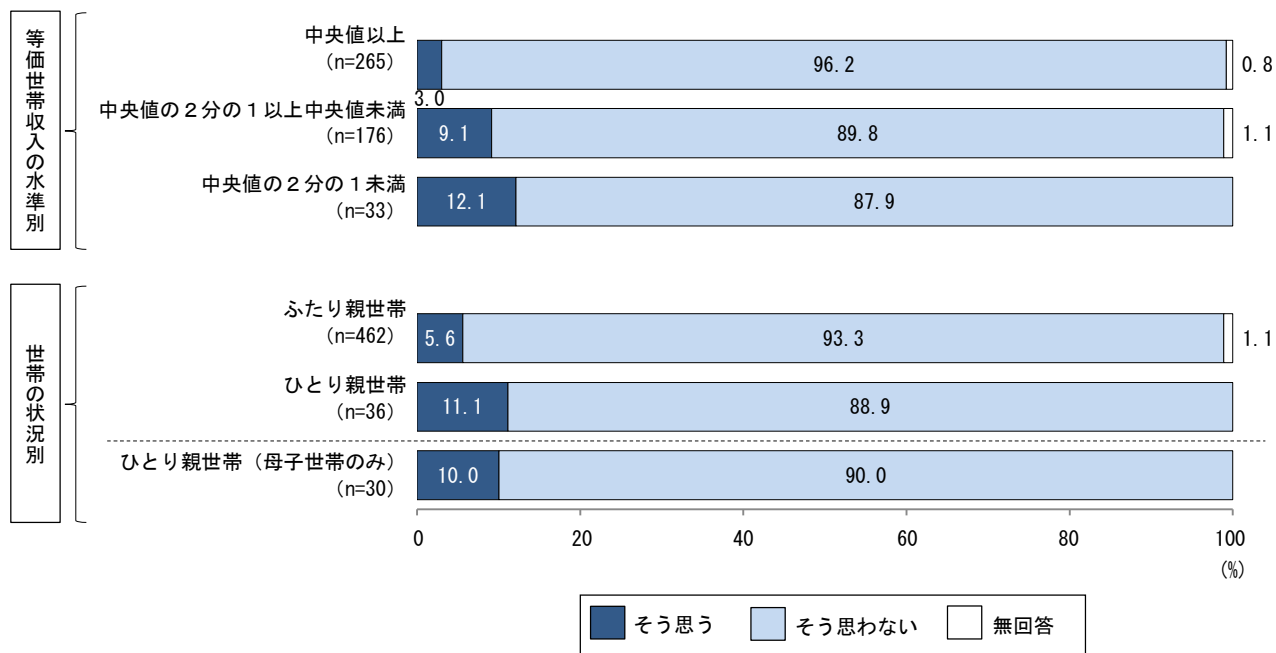
【全体】



子どもの頃、自分がヤングケアラーだったと思うかについて、小学5年生の保護者では、「そう思う」が6.0%、「そう思わない」が93.0%となっている。

中学2年生の保護者では、「そう思う」が5.5%、「そう思わない」が90.1%となっている。

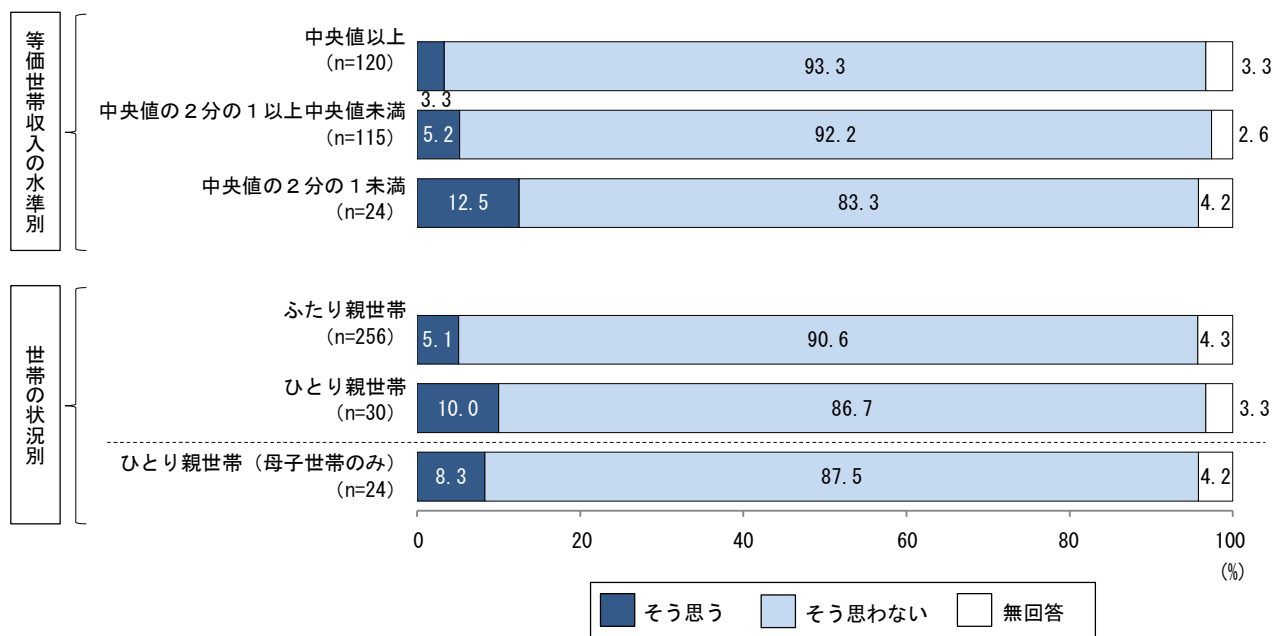
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「そう思う」は、「中央値以上」では3.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では9.1%、「中央値の2分の1未満」では12.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「そう思う」は、「ふたり親世帯」では5.6%、「ひとり親世帯全体」では11.1%、「母子世帯のみ」では10.0%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生の保護者】



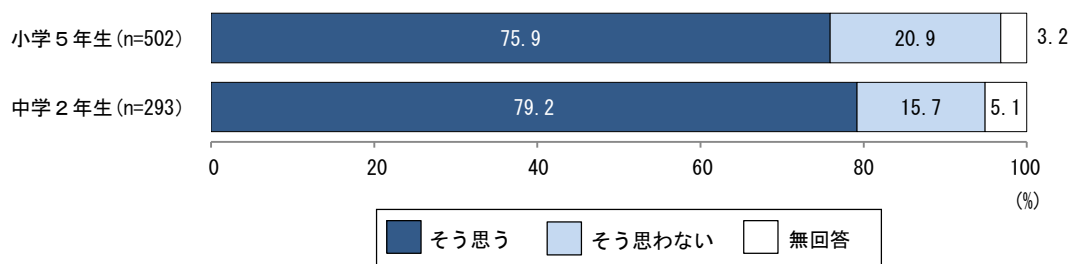
等価世帯収入の水準別にみると、「そう思う」は、「中央値以上」では3.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では5.2%、「中央値の2分の1未満」では12.5%となっている。

世帯の状況別にみると、「そう思う」は、「ふたり親世帯」では5.1%、「ひとり親世帯全体」では10.0%、「母子世帯のみ」では8.3%となっている。

保護者票問 30. ヤングケアラーについてご自身の考えにあてはまるものはありますか。(SA)

= 家事や家族の世話はできるようになったほうがいい =

【全体】

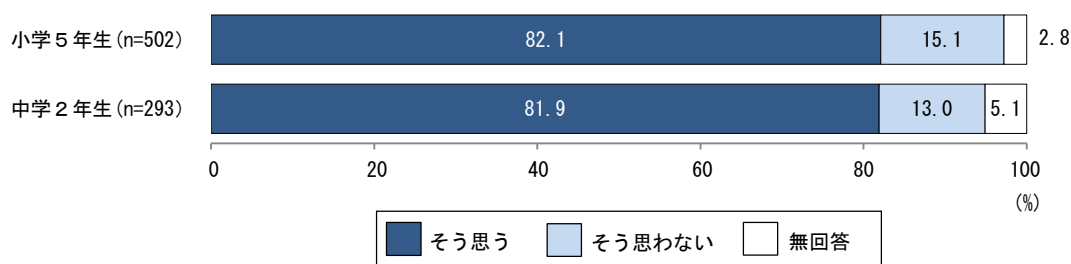


家事や家族の世話はできるようになったほうがいいについて、小学5年生の保護者では、「そう思う」が75.9%、「そう思わない」が20.9%となっている。

中学2年生の保護者では、「そう思う」が79.2%、「そう思わない」が15.7%となっている。

= 必要以上の家事を子どもにさせるのは申し訳ないと思う =

【全体】

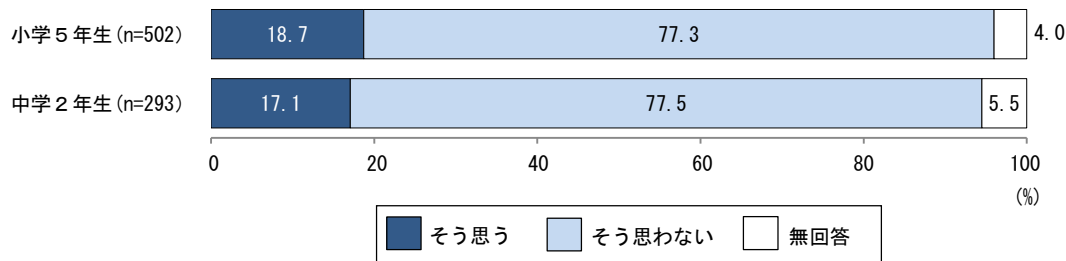


必要以上の家事を子どもにさせるのは申し訳ないと思うについて、小学5年生の保護者では、「そう思う」が82.1%、「そう思わない」が15.1%となっている。

中学2年生の保護者では、「そう思う」が81.9%、「そう思わない」が13.0%となっている。

= 兄弟の世話は子ども同士で行うほうがスムーズに行く =

【全体】

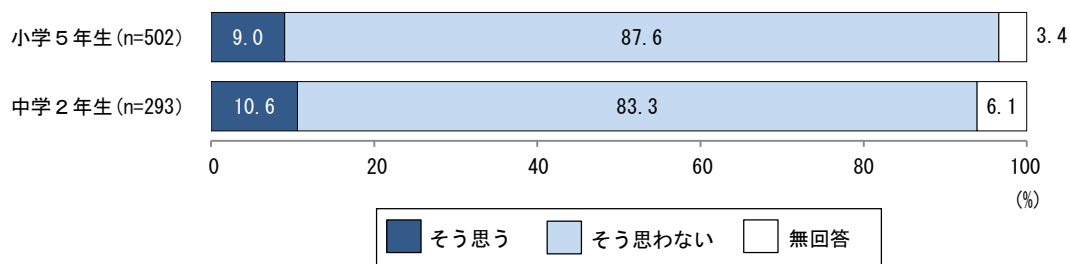


兄弟の世話は子ども同士で行うほうがスムーズに行くについて、小学5年生の保護者では、「そう思う」が18.7%、「そう思わない」が77.3%となっている。

中学2年生の保護者では、「そう思う」が17.1%、「そう思わない」が77.5%となっている。

= ふつう大人が行うような家事や家族の世話を子どもに義務付けている =

【全体】

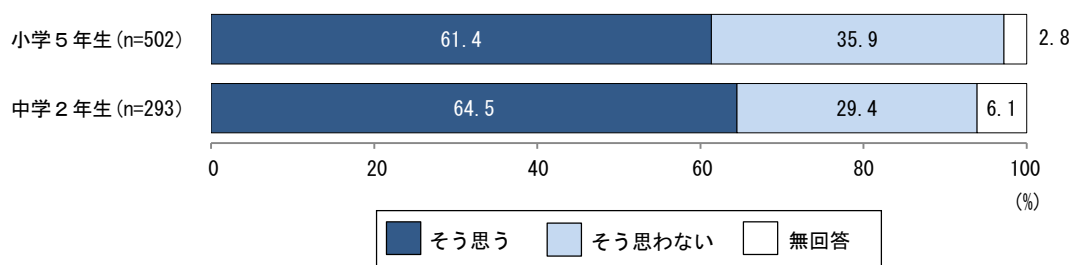


ふつう大人が行うような家事や家族の世話を子どもに義務付けているについて、小学5年生の保護者では、「そう思う」が9.0%、「そう思わない」が87.6%となっている。

中学2年生の保護者では、「そう思う」が10.6%、「そう思わない」が83.3%となっている。

= 子どもが家族の手伝いをすることは当然のことだと思う =

【全体】

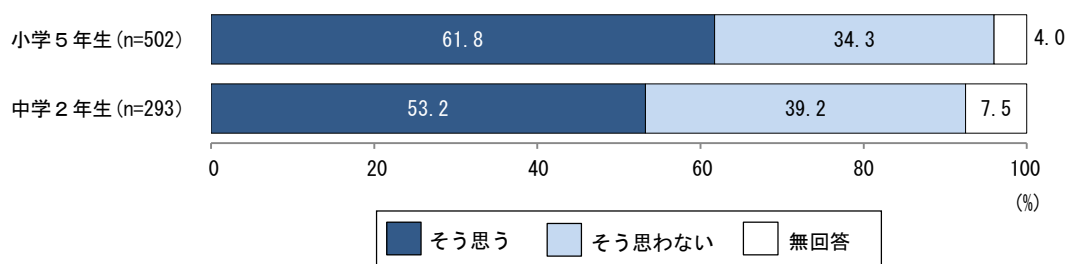


子どもが家族の手伝いをすることは当然のことだと思うについて、小学5年生の保護者では、「そう思う」が61.4%、「そう思わない」が35.9%となっている。

中学2年生の保護者では、「そう思う」が64.5%、「そう思わない」が29.4%となっている。

= 家事や家族の世話は、大人がすることが望ましいと思う =

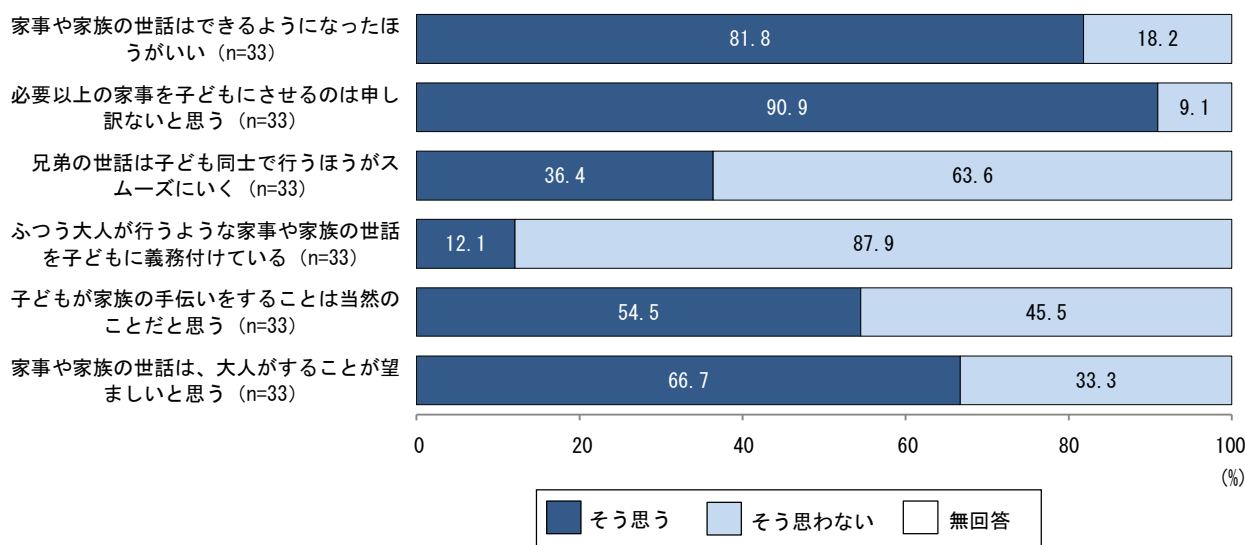
【全体】



家事や家族の世話は、大人がすることが望ましいと思うについて、小学5年生の保護者では、「そう思う」が61.8%、「そう思わない」が34.3%となっている。

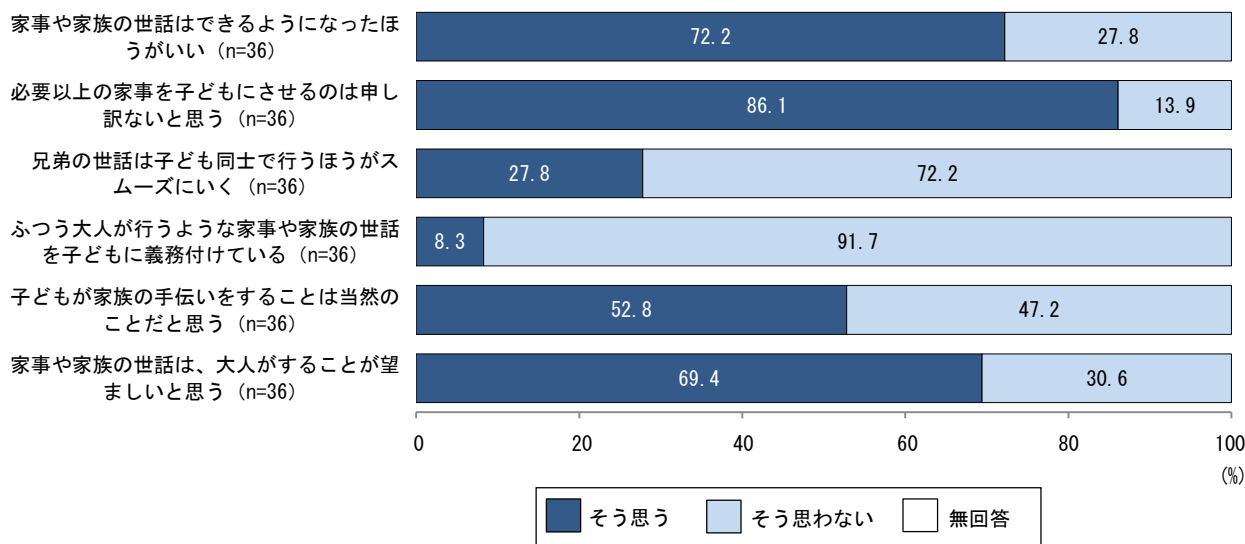
中学2年生の保護者では、「そう思う」が53.2%、「そう思わない」が39.2%となっている。

【等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の場合_小学5年生の保護者】



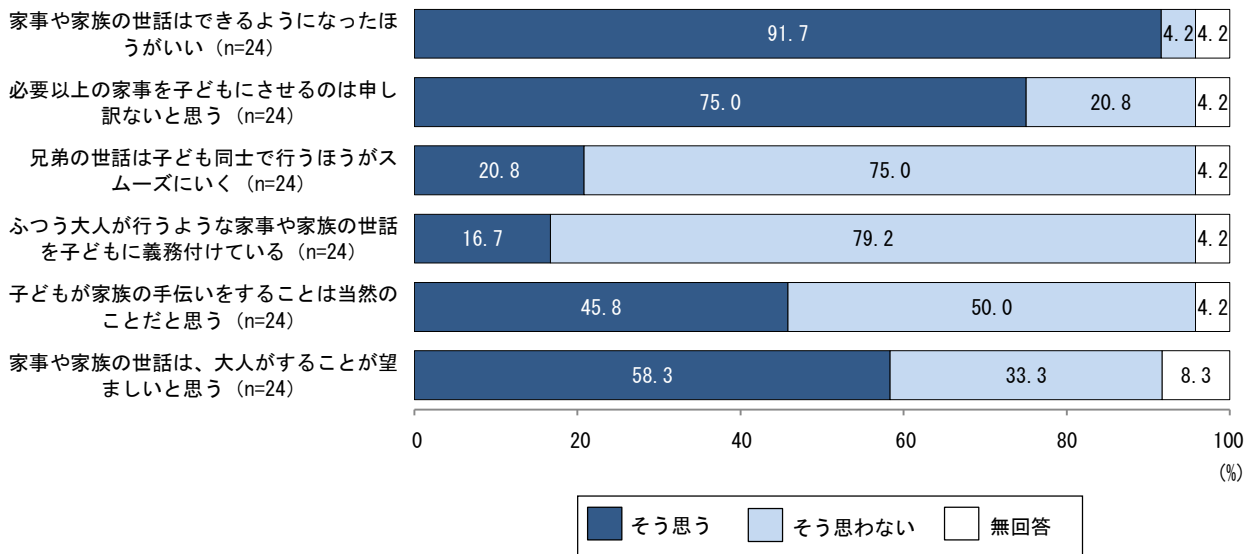
等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、「そう思う」は、「兄弟の世話は子ども同士で行うほうがスムーズにいく」で36.4%となっている。

【世帯の状況が「ひとり親世帯」の場合_小学5年生の保護者】



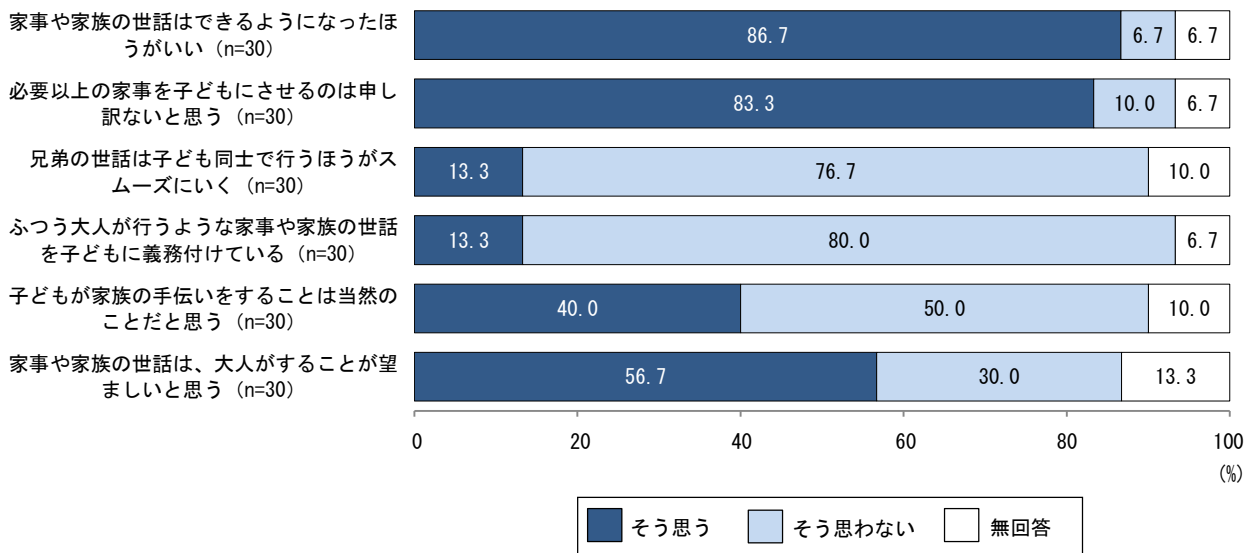
「ひとり親世帯」に限って集計すると、「そう思う」は、「兄弟の世話は子ども同士で行うほうがスムーズにいく」で27.8%となっている。

【等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の場合_中学2年生の保護者】



等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、「そう思わない」は、「子どもが家族の手伝いをすることは当然のことだと思う」で50.0%となっている。

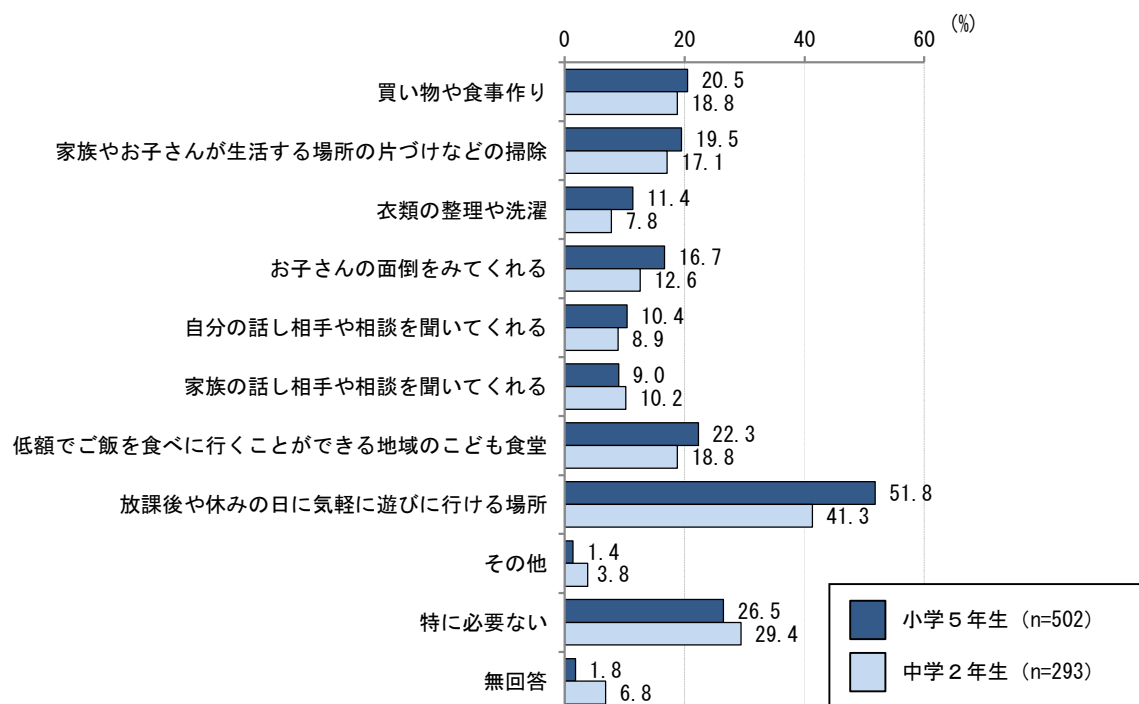
【世帯の状況が「ひとり親世帯」の場合_中学2年生の保護者】



「ひとり親世帯」に限って集計すると、「そう思わない」は、「子どもが家族の手伝いをすることは当然のことだと思う」で50.0%となっている。

保護者票問 31. あなたの家庭にどんなお手伝いや支援があると良いと思いますか。(MA)

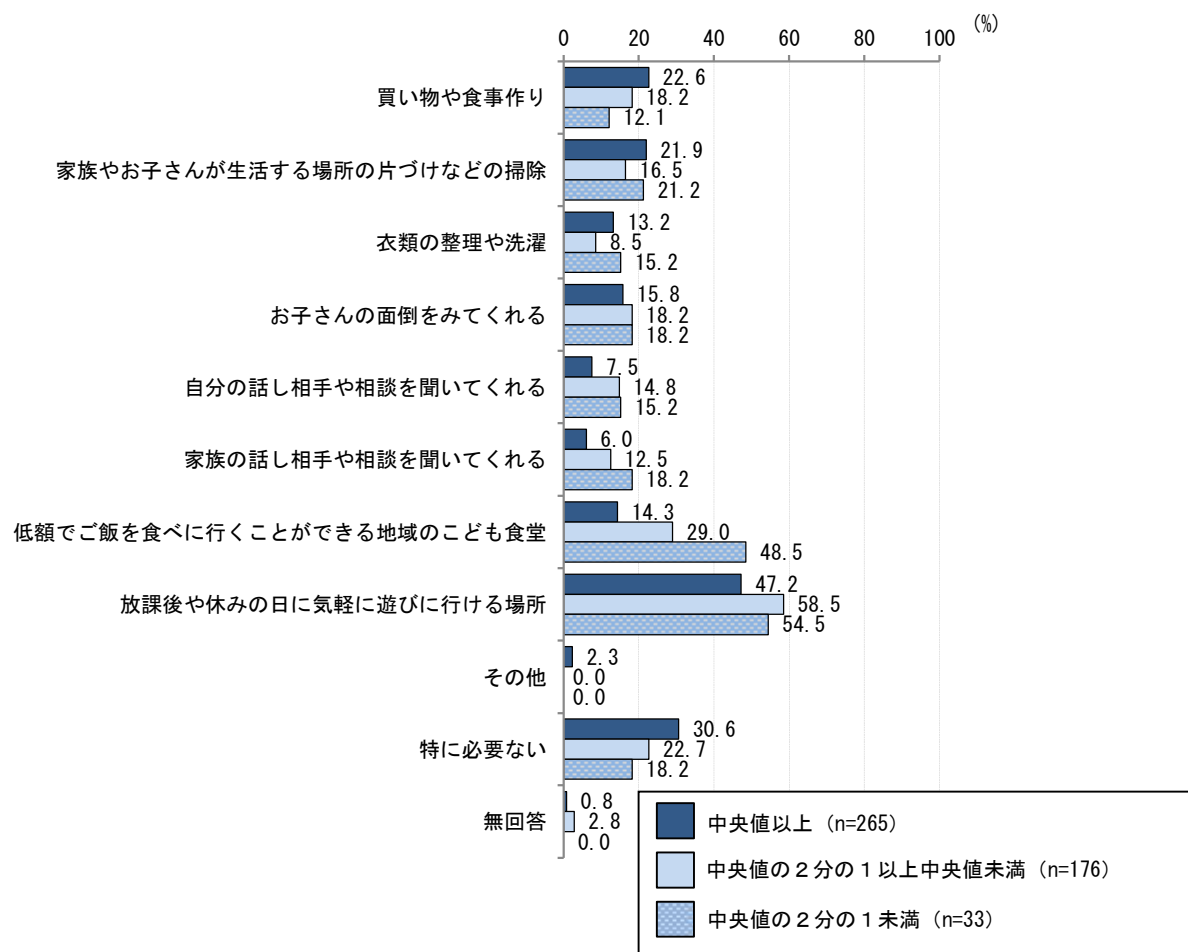
【全体】



自身や家族が望むお手伝いや支援について、小学5年生の保護者では、「放課後や休みの日に気軽に遊びに行ける場所」が51.8%と最も高く、次いで「低額でご飯を食べに行くことができる地域のこども食堂」が22.3%、「買い物や食事作り」が20.5%などの順となっている。また、「特に必要ない」は26.5%となっている。

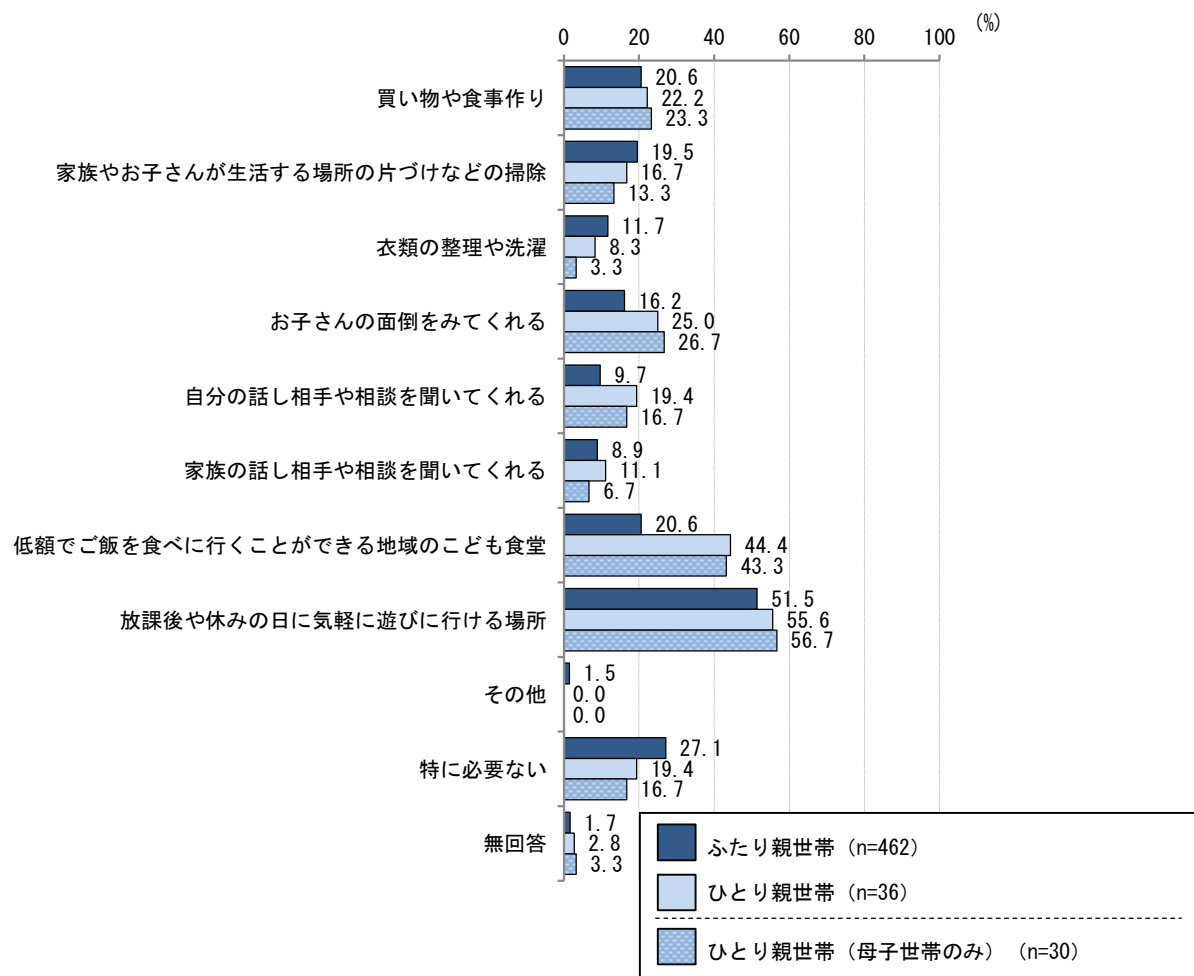
中学2年生の保護者では、「放課後や休みの日に気軽に遊びに行ける場所」が41.3%と最も高く、次いで「買い物や食事作り」、「低額でご飯を食べに行くことができる地域のこども食堂」がともに18.8%、「家族やお子さんが生活する場所の片づけなどの掃除」が17.1%などの順となっている。また、「特に必要ない」は29.4%となっている。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生の保護者】



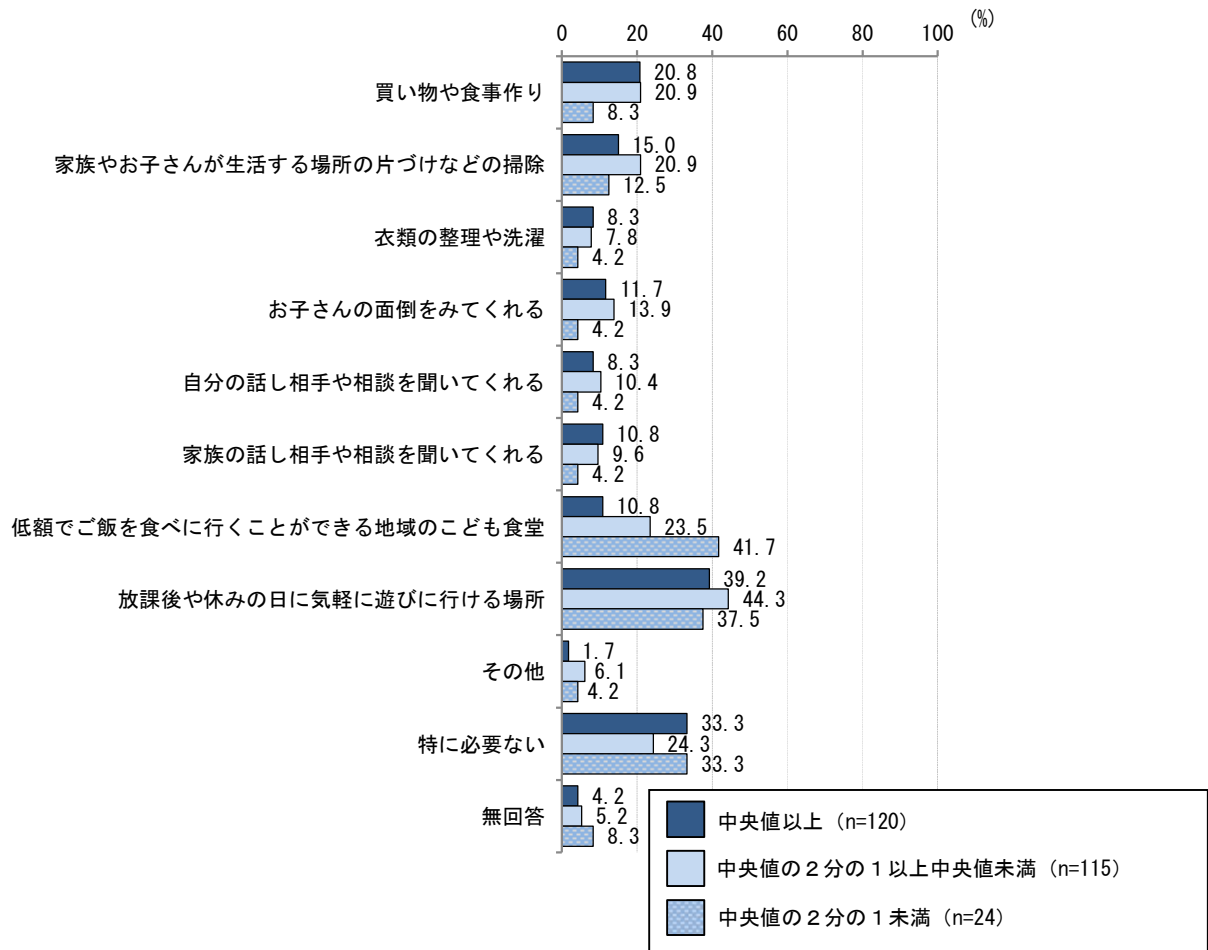
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「衣類の整理や洗濯」が15.2%、「自分の話し相手や相談を聞いてくれる」が15.2%、「家族の話し相手や相談を聞いてくれる」が18.2%、「低額でご飯を食べに行くことができる地域のこども食堂」が48.5%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生の保護者】



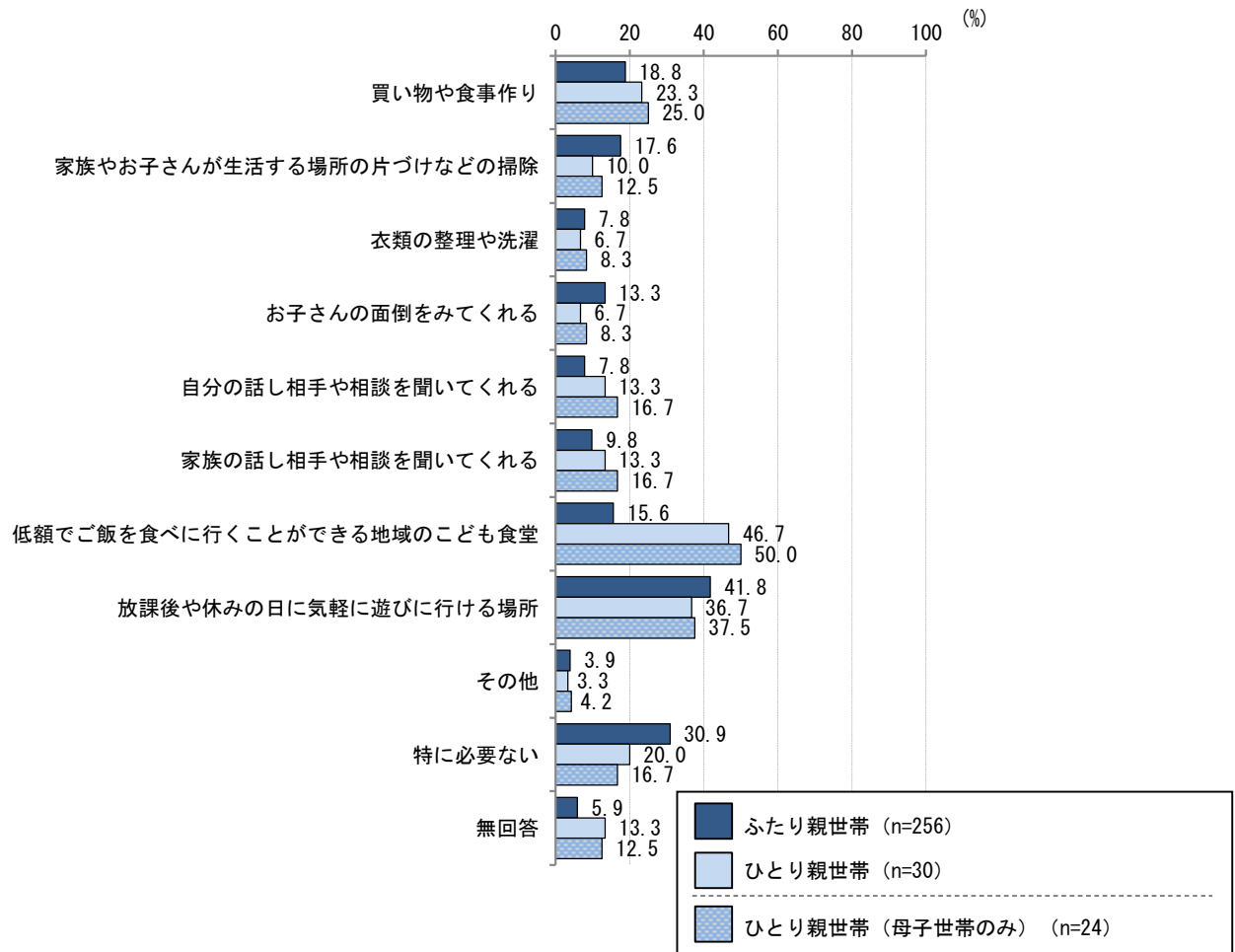
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「お子さんの面倒をみてる」が25.0%、「自分の話し相手や相談を聞いてくれる」が19.4%、「低額でご飯を食べに行ける地域のこども食堂」が44.4%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「低額でご飯を食べに行けることができる地域のこども食堂」が41.7%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_中学2年生の保護者】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「自分の話し相手や相談を聞いてくれる」が13.3%、「低額でご飯を食べに行ける地域のかども食堂」が46.7%と高くなっている。